

平成29年度
広島県立美術館年報

平成29年度
広島県立美術館年報



目 次

I	沿革	2
II	展覧会	
	展覧会一覧	5
	特別展	
	1 英国 ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	6
	2 アードマン・アニメーションズ設立40周年記念 ひつじのショーン展	10
	3 レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展	14
	4 ブータン しあわせに生きるためのヒント	18
	5 くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	22
	6 第64回日本伝統工芸展広島展	25
	所蔵作品展	30
III	普及活動	
	1 第5回新県美展（第69回広島県美術展）	44
	2 第6回広島県ジュニア美術展	45
	3 復活 そして未来へ -いのちを守るために私たちにできること	47
	4 博物館実習	48
	5 学校・地域との連携事業 「美術作品鑑賞教室・出張講座」	49
	6 新規作成ワークシート・リスト	51
	7 学校等による利用状況	52
	8 県民ギャラリー利用状況	54
	9 友の会事業報告	57
IV	事業実施状況	60
V	業務一覧	65
VI	入館者数一覧	74
VII	美術品等収集状況	76
VIII	美術品等の貸出し	82
IX	関係法規	83
X	名簿	94

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年 広島県教育委員会規則第2号)
昭和38年 4月	調査費計上	昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和39年 4月	設計委託料計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品 集」発刊
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付 内定	4月	定宗一宏館長(非常勤)任命 広島県立美術館条例一部改正(昭和55年広 島県条例第19号)施設使用料
12月	建設募金委員会発足	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和55年 広島県教育委員会規則第10号)
昭和42年 1月	起工式挙行	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和56年 広島県教育委員会規則第5号)課 の名称変更・入館料の免除 広島県立美術館美術品等取得基金条例施 行(昭和56年 広島県条例第5号 基金額1 億円)
昭和43年 3月	旧館竣工	10月	広島県美術品等取得基金運用規定制定 美術品等収集委員会設置要領制定
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年 広島 県条例第20号) 広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43 年 広島県教育委員会規則第1号) 加藤豊館長(常勤)任命	昭和57年 3月	定宗館長辞職
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年 広島県条例第38号)	4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年広 島県条例第10号)入館料・施設使用料 阿川静明館長(非常勤)任命
7月	広島県立美術館協力を結成	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和43年 広島県教育委員会規則第13号)分 掌事務	昭和60年 3月	阿川館長辞職
21日	落成式挙行	4月	赤木博典館長(常勤)任命
22日	旧館開館	昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検 討会議を設置
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想 案をまとめる 赤木館長辞職
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和44年 広島県教育委員会規則第2号) 職員の職・職員の職務 館藏品常設展開設	4月	吉岡典威館長(兼務)任命
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命	11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想 検討委員会を設置、委員8名を委嘱
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足	昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命 広島県立美術館条例一部改正(昭和63年広 島県条例第7号)入館料・施設使用料 広島県立美術館美術品等取得基金、1億円 を増額(基金額2億円)
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整 備構想をまとめ県教育委員会に答申
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	平成元年 3月	さとこ文庫開設
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和47年 広島県教育委員会規則第11号)職 員の職 羽白幸雄館長(非常勤)任命	5月	広島県立美術館整備基本計画検討委員会 を設置、委員18名を委嘱(座長 橋口収県 商工会議所連合会会長)
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品 集」発刊	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会 を設置、委員6名を委嘱
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年広 島県条例第30号) 広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和48年 広島県教育委員会規則第14号)補 助職員の職及び職務	平成2年 3月	「広島県立美術館所蔵作品図録」発刊
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和48年 広島県教育委員会規則第19号)職 員の職等	4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億 円を増額(基金額7億円)
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭 和49年 広島県教育委員会規則第4号)そ の他の職員の職		
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年広 島県条例第25号)施設使用料		
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年広 島県条例第9号)入館料		

12月 知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁

平成3年 2月 知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案

3月 県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決
広島県立美術館整備基本計画をまとめる

4月 美術品等特別収集に着手
広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)

平成4年 7月 施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室

9月 閉館記念式典挙行

10月 事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする
旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)

平成5年 3月 解体工事、整地完了
新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手

4月 久保信保館長(兼務)任命

12月 寺脇研館長(兼務)任命
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)

平成6年 5月 事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2幟会館(2階)に移転
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)

平成7年 4月 常廣泰登館長(専任)任命
広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)

12月 新館竣工
新館鍵引渡し式を挙行

平成8年 1月 事務所を新館に移転

4月 1日 木曾功館長(兼務)就任

7月 1日 平山郁夫名誉館長就任

5日 広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料

22日 広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料

10月 1日 「広島県立美術館コレクション選」発刊

5日 新館開館記念式挙行

6日 新館開館
広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)

平成9年 3月 26日 広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料

4月 1日 広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定

平成10年 3月 24日 広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付
広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)

7月 1日 辰野裕一館長(兼務)就任

平成12年 2月 1日 広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正

平成13年 3月 26日 広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止

29日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免

7月 10日 常盤豊館長(兼務)就任

10月 22日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免

12月 20日 平山郁夫名誉館長辞任

平成14年 3月 25日 広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化

4月 1日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更

平成16年 7月 1日 関靖直館長(兼務)就任

平成17年 12月 20日 広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限
広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正

平成19年 4月 1日 榎田好一館長(兼務)就任

6月 18日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正

12月 25日 広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正

平成20年 4月 1日 指定管理者制度導入

平成21年 4月 1日 所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行
広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)
広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
藤田雄山館長(兼務)就任

平成21年 12月 1日 平田光章館長(兼務)就任

平成22年 4月 1日 抹香尊文館長(兼務)就任

平成22年 6月 1日 広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)

平成22年 6月 28日 広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正

平成23年 4月 1日 越智裕二郎館長就任

平成23年 6月 29日 広島県立美術館評価委員会設置

平成23年 7月 11日 広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入

平成24年 4月 1日 広島県立美術館の入特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24 広島県規則第38号)

平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更	平成28年 3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、所蔵作品展の利用料金の範囲
平成25年 3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成25年 広島県規則第13号)広島県立美術館条例一部改正に伴う改正	平成28年10月12日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第47号)指定管理による管理、入館料の納付等、利用料金の納付等、入館料の減免、利用料金の減免、利用料金の収入
平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間	平成29年 3月23日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成29年 教育委員会規則第1号)利用料金の減免、利用料金の減免の申請
平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免	平成29年 4月 1日	広島県立美術館の入館料に関する規則一部改正(平成29年 広島県規則第16号)入館券の購入等、入館料の免除
平成27年 4月 1日	千足伸行館長就任		

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展 覧 会 名	会 期
1	英国 ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	平成29年 4月1日(土)～5月28日(日)
2	アードマン・アニメーションズ設立40周年記念 ひつじのショーン展	平成29年 7月15日(土)～8月27日(日)
3	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展	平成29年 9月5日(火)～10月22日(日)
4	ブータン しあわせに生きるためのヒント	平成29年11月2日(木)～12月24日(日)
5	くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	平成30年 1月5日(金)～2月12日(月)
6	第64回日本伝統工芸展広島展	平成30年 2月23日(金)～3月11日(日)

所蔵作品展

	展 覧 会 名	会 期
第1期	彫刻展示スペース バーナード・リーチの仕事	平成29年 4月19日(水)～7月2日(日)
	第1室 シュルレアリスムと抽象美術の時代	
	第2室 【小特集】小林和作 自然美の輝く風景画	
	第3室 小林和作特集に寄せて	
	第4室 赤の工芸	
第2期	彫刻展示スペース	平成29年 7月5日(水)～9月10日(日)
	第1室	
	第2室 サマーミュージアム 動物たちをさがそう	
	第3室	
	第4室	
第3期	彫刻展示スペース カタチに託された“こころ”をもとめて	平成29年 9月13日(水)～12月24日(日)
	第1室 1920-30年代の芸術運動	
	第2室 所蔵品でたどる日本の洋画	
	第3室 【小特集】児玉希望 伝統と革新の日本画	
	第4室 インドの古更紗	
第4期	彫刻展示スペース 菅井汲 - 創作の秘密	平成30年 1月2日(火)～4月15日(日)
	第1室 西洋美術に見る人物表現	
	第2室 戦後日本画の断面 日本洋画 - 小林千古・鬨光 -	
	第3室 新収蔵品紹介	
	第4室 【小特集】六角紫水 広島から飛翔した 漆工のパイオニア	

1 英国 ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ

会 期／平成29(2017)年4月1日(土)～5月28日(日)
主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、中国放送、中国新聞社
後 援／ブリティッシュ・カウンシル、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、
FM東広島89.7MHz

協 賛／広島県信用組合

企画協力／ホワイトインターナショナル

入 館 料／一 般 1,300(1,100)円

高・大学生 900(700)円

小・中学生 500(300)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／25,435人(58日間)



1907年に設立された歴史ある英国ウェールズ国立美術館。同館のコレクションより、19世紀から20世紀初頭にかけて英仏で活躍した画家たちによる70点余りの珠玉の作品を展覧した。

モネは印象派としての作風を確立する数年前、イギリスを代表する画家ターナーの作品に接し、その風景表現に感嘆したといわれている。本展ではターナーをはじめ、ミレーやクールベなど写実主義の画家や、モネら印象派の巨匠、印象派以後の画家の作品等を一堂に紹介することで、綿々と続いていく絵画史の流れを辿った。
(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

- (1) 記念講演会「風景が輝く時：ターナーからモネへ」
日 時：4月1日(土) 14:00～15:30
講 師：千足伸行(本展監修者・当館館長)
会 場：地階講堂
参加者：195人
- (2) 記念講演会「技法を読み解く－ターナーからモネへ」
日 時：5月13日(土) 13:30～15:00
講 師：森直義(森絵画保存修復工房代表)
会 場：地階講堂
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：102人
- (3) ワークショップ「水辺の風景を描こう」
日 時：4月22日(土) 13:30～16:00
講 師：難波平人(広島大学名誉教授)
会 場：縮景園
対 象：全年齢



参加者：21人

(4) 美術講座「光の表現－ターナーからモネへ－」

日 時：5月20日(土) 13:30～14:30

講 師：山下寿水(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：73人

(5) ギャラリートーク

日 時：4月7日・4月28日・5月12日・5月26日(金)各日11:00～、18:00～

講 師：山下寿水(当館学芸員)

会 場：3階企画展示室

参加者：計207人

(6) ウェブレポーター大募集

日 時：4月14日(金) 17:00～

会 場：3階企画展示室

対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方

参加者：22人

主要関連番組

(1) テレビ

4/1 中国放送ニュース ※出演

4/5 NHK広島放送局 昼ニュース

4/13 TSS 昼ニュース

4/16 NHK「日曜美術館」(「アートシーン」)

4/26 NHK広島放送局「お好みワイド」(「お仕事紹介!」)※出演

4/28 RCC昼ニュース

4/28 NHK広島放送局 昼ニュース

(2) ラジオ

3/20 RCCラジオ「田口麻衣のらじぼん」※出演

3/31 FMふくやま「GO! GO! Bびんご～」※出演

4/13 FMはつかいち「いきいきFactory」※出演

4/26 エフエム尾道「You Gotta Radio」※出演

主要関連記事・広告

(1) 中国新聞

1/31 社会面 社告

3/24 千足館長寄稿[上]

3/25 千足館長寄稿[下]

3/29 特集紙面

4/2 開幕記事

4/5 主催行事紹介

4/16 ミュージアムで会いましょう

4/17 シリーズ①英国の美

- 4/21 週YOUガイド(展覧会紹介)
- 4/21 林シニア・キュレーター寄稿[上]
- 4/22 シリーズ②光の競演
- 4/23 ワークショップ紹介
- 4/26 山下学芸員寄稿
- 4/28 林シニア・キュレーター寄稿[下]
- 4/29 「ターナーからモネへ」1万人
- 5/1 シリーズ③表現の妙
- 5/20 印象派の底力



(2) 日本経済新聞

4/5 カルチャーガイド

(3) 産経新聞

4/13 展覧会紹介

(4) 読売新聞

4/21 ギャラリー(展覧会紹介)

(5) 毎日新聞

4/21 街人情報

4/27 山下学芸員寄稿

(6) 雑誌等掲載

『月刊 経済春秋』3月号、5月号 春秋社

『ぐらんふぁーま』2017年3月号、中国情報出版

『The Weekly Pressnet』2017年3月18日号、プレスネット

『Cue備後』2017年3月24日号、中国新聞社・メディア中国

『リビングふくやま』2017年3月25日号、福山リビング新聞社

『arch』2017年4月号、アートコレクションハウス

『くれえばん』2017年4月号、クレ・マスメディア・スタジオ

『ぶれすしーど』2017年4月号、プレスシード

『GetHiroshima』2017年春号、GetHiroshima

『まいんど』2017年4月号、日本フルハップ

『CHIC』2017年春号、トマトコーポレーション

『TJ Hiroshima』2017年4月号、アドプレックス

『JAF MATE』2017年4月号、JAFメディアワークス

『JAF PLUS』2017年4月号、JAFメディアワークス

『広島交響楽団第369回定期演奏会プログラム』2017年4月、広島交響楽協会

『つくりびと』2017年4月号、国民みらい出版

『to you』2017年4月号、広島市文化財団

『ウェンディ広島』2017年4月号、合人社グループ

『Cue』2017年4月7日号、中国新聞社・メディア中国

『ビジネス朝日』2017年4月20日号、広島朝日広告社

『Wink』2017年5月号、アスコン

『フローリスト』2017年5月号、誠文堂新光社

『AIR DO機内誌 ラポラ』2017年5月号、AIR DO

『不動産ニュース』2017年5月号、せとうち文化出版

『美術の窓』2017年5月号、生活の友社

『フラワーフェスティバル公式ガイド』2017年5月、中国新聞社

(7) ウェブ

「広島県立美術館メールマガジン」、「広島県立美術館Facebook」、「ブンカッキーネットひろしま」
ひろしま文化振興財団、「チラシミュージアム」イープラス、「ひろしまナビゲーター」広島観光コ
ンベンションビューロー、「まいぷれ広島」システムフレンド、「ホルベインアーティストナビ」ホル
ベイン工業

カタログ内容

ごあいさつ

はじめに

「ウェールズに芸術をもたらす：国家のための収集」(ウェールズ国立美術館シニア・キュレーター
アン・プリチャード)

「イギリスとフランス：響きあう絵画」(広島県立美術館長 千足伸行)

1章. ロマン主義

2章. リアリズム

3章. パリのサロンとロンドンのロイヤル・アカデミー

4章. 印象派

5章. ポスト印象派とその後

「モネのロンドン－光は海峡を越えて」(熊本県立美術館学芸課長 村上哲)

作品リスト

展覧会巡回先

愛媛県美術館 平成29(2017)年6月7日～7月23日

熊本県立美術館 平成29(2017)年7月29日～9月10日

岡崎市美術博物館 平成29(2017)年9月23日～11月12日

静岡市美術館 平成29(2017)年11月23日～平成30(2018)年1月28日

福井県立美術館 平成30(2018)年4月7日～5月27日



2 アードマン・アニメーションズ設立40周年記念 ひつじのショーン展

会 期／平成29(2017)年7月15日(土)～8月27日(日)
主 催／広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、
東映、中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、
FM東広島89.7MHz
協 賛／広島県信用組合
入 館 料／一 般 1,200(1,000)円
高・大学生 1,000(800)円
小・中学生 600(400)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／59,940人(44日間)



英国ブリストルに拠点を構える阿德曼・アニメーションズは、4度のアカデミー賞受賞歴を持つ、世界有数のクレイ・アニメーションの制作スタジオとして知られている。

本展は、スタジオの設立40周年を記念して開催するもので、日本でもNHK Eテレで放送されている代表作「ひつじのショーン」シリーズをはじめ、「ウォレスとグルミット」シリーズや『チキンラン』、『おすすめ生活』などの代表作の数々を、巨大なセットやパペット、映像やカラースケッチなど、ほとんどが日本初公開となる約250点により展観。緻密できめ細やかな創作の過程から生み出された、楽しくユーモアに満ちた作品の世界観を紹介した。(本展担当者：藤崎 綾)

関連事業

- (1) ひつじのショーンとの握手会
日 時：7月22日(土)・23日(日)
①9：30 ②12：00 ③15：00
参加者：300組(各回定員50組)
- (2) 上映会
日 時：8月4日(金)
①11：00 ②13：30 ③16：00
上映作品：「映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～」(85分)
参加者：計580人(①200名・②200名・③180名)
- (3) ウェブレポーター
日 時：7月21日(金) 17：00～
参加者：14人
- (4) ひつじのショーンのステッカープレゼント
日 時：会期中の各金曜日 17：00～19：30
内 容：各日先着150名に広島会場のオリジナルステッカーをプレゼント

主要関連番組

(1) テレビ

ホームテレビ 『ひろしま深堀ライブ フロントドア』(7月22日)
昼ニュース(7月15日・開幕、8月3日・3万人セレモニー、8月18日・5万人
セレモニー)、HOME Jチャンネル(8月3日・3万人セレモニー)
『ぼるぼるエンタ』(6月3日・9日・10日・16日・30日、7月7日・28日・29日)
『情報ランド』(7月6日)
『ココ!ブランニュー』(7月22日)
『エンタメランド』(6月24日～8月26日 計31回)
15秒スポットCM(5月27日～8月26日 458本)
30秒スポットCM(5月27日～8月26日 7本)
NHK 『ひるまえ直送便』(上映会告知 8月3日)

(2) ラジオ

NHKラジオ 「県内催し物コーナー」(7月下旬～8月)
エフエムふくやま 「すてきにティータイム」『おはようときめきタイム』(6月26日)
エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(7月19日)
広島エフエム 『柏村武昭のだんRUNラジオ』(8月11日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 記事: 5月15日(社告)、7月13日(特集面「手作りの、ぬくもり ひつじのショーン
展 広島県立美術館15日開幕」)、7月16日(社会面「アニメや絵本の世界へようこそ
ひつじのショーン展 林明子原画展」)、7月22日(文化面「『ひつじのショーン展』
舞台裏に見る手仕事の神髄」)、7月25日(「イベントナビ」中国新聞セレクト)、7月
28日(「イベントナビ 手作り人形 愛嬌たっぷり『ショーン展』来月27日まで広
島)、8月1日(「イベントナビ」中国新聞セレクト)、8月4日(社会面「『ショーン展』
3万人 広島県立美術館」)

中国新聞 広告: 6月10日(半3段)、14日(半5段)、15日(全3段)、18日(全3段)、19日(半5段)、
21日(半3段)、22日(全3段)、24日(半5段)、26日(全3段)、29日(半3段)、30日(半
3段・半5段)、7月3日(半3段)、5日(全3段)、7日(半5段)、8日(半3段・
半5段)、9日(半3段)、10日(半5段・全3段)、14日(半3段)、21日(半3段・半
5段)、22日(「ミュージアムで会いましょう」)、23日(半5段)、26日(半5段)、27日(全
3段)、30日(半5段)、8月1日(半5段)、3日(半3段・半5段)、5日(半3段)、
10日(半3段・全3段)、13日(半5段)、16日(半3段・半5段)、17日(半5段)、18
日(半5段)、19日(全3段)、25日(全3段)、26日(半5段)

山陰中央新聞・日本海新聞 広告: 7月20日

朝日新聞 広告: 7月21日

毎日新聞 記事: 8月10日(「毎日美術館 ひつじのショーン展 魅力 セットやパペットで」)

産経新聞 記事: 8月14日(「ひつじのショーン紹介 県立美術館で250点展示」)

(2) 雑誌等

『7ぴあ 中国四国九州』(6月号・8月号)、『CHIC夏号』(配布期間6月15日～9月14日)、『西広
島タイムス』(6月16日)、『ビジネス朝日』(6月号)、『ふれすしーど』(6月号)、『arch』(6月号)、

『フリーペーパー ワーキン』（6月27日・7月10日・7月11日）、『Cue備後』（6月30日）、『GetHiroshima』（2017夏号）、『Cue』（7月7日・7月14日・7月21日）、『ウエンディ広島』（188号・7月1日）、『リビングひろしま』、『リビングふくやま』（vol. 791）、『広島交響楽団プログラム』（7月7日・広告）、『TJ Hiroshima』（7月号）、『to you』（7月号）、『色絵馬（広島県立美術館友の会会報）』80号（7月10日）、『ママンペール』（39号）、『経済春秋』（7月号）、『アートコレクターズ』（7月号）、『Wink』（7月号）、『あさみん』（7月号・安佐南区の幼稚園・保育園配布）、『ママンペール』（no. 39・7月号）、『プレスネット』（7月27日・竹原市・東広島市）、『ホームテレビ季刊タイムテーブル』（7～9月号）、『ホットペッパー』（8月号）、『FunFUNFun』（8月号）、『JAF』（8月号）、『えんじいな』（8月号・県内の私立幼稚園・保育園配布）

(3) WEB・SNS

広島ホームテレビ 公式サイト(特設サイト)、フェスブック、ツイッター、『ぼるぼる倶楽部メルマガ』（6月30日）、『ぼるぼるLIVE』（「子育てエジプト人の広島」7月23日・「あっちゃんのフライデーNO. 1」8月4日）

『Walkerplus』（6月初旬）、『インターネットミュージアム』（6月初旬）、『GetHiroshima』（6月初旬）、『ホルベインアーティストナビ』（6月初旬）、『チラシミュージアム』（6月初旬）、『美術館・博物館情報サイト アートアジェンダ』（6月下旬）、『ブンカッキーネットひろしま（ひろしま文化振興財団）』（6月下旬）、『ぴあポイントサイト』（7月初旬）、『まいふれ』（7月初旬）、『ひろたび』（広島市広域観光情報サイト・7月中旬）、『広島県立美術館メールマガジン』（ウェブレポーター報告：7月28日・8月4日・8月9日）、『kodomoe』（白泉社）

(4) 街頭ビジョン

NAVIA（6月17日～8月26日 3,550本）

カタログ内容

アードマンからのメッセージ

Aardman Animations 40年の軌跡に乾杯☆☆☆ 伊藤有壱

01 ひつじのショーン

ショーンの誕生／「ひつじのショーン」に登場する仲間たち

ひつじのショーン TVシリーズ／こひつじのティミー

映画 ひつじのショーン ～バック・トゥ・ザ・ホーム～

ひつじのショーン スペシャル ～いたずらラマがやってきた！～

アードマン・アニメーションズ

アードマン・アニメーションズの歴史／作品ができるまで

02 アードマン作品

モーフの冒険／快適な生活／ウォレスとグルミット チーズ・ホリデー

ウォレスとグルミット ペンギンに気をつけろ！／ウォレスとグルミット 危機一髪！

チキンラン／ウォレスとグルミットのおすすめ生活

ウォレスとグルミット 野菜畑で大ピンチ！／ウォレスとグルミット ベーカリー街の悪夢

アードマン・アニメーションズ 歴史

展覧会巡回先

松屋銀座店 平成28(2016)年8月3日～8月22日

あべのハルカス近鉄本店 平成28(2016)年12月26日～平成29(2017)年1月17日

松坂屋美術館

平成29(2017)年3月10日～4月9日

愛媛県美術館

平成29(2017)年9月12日～10月22日

みやざきアートセンター

平成29(2017)年12月9日～平成30(2018)年1月28日

岡山シティミュージアム

平成30(2018)年3月21日～5月6日



3 レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

会 期／平成29(2017)年9月5日(火)～10月22日(日)
主 催／広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ、中国新聞社
特別後援／イタリア共和国大統領
後 援／外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、
イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、
中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz、
ちゅピCOMひろしま、ちゅピCOMふれあい、
ちゅピCOMおのみち
協 賛／広島県信用組合
特別協力／イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、
ウフィツィ美術館
協 力／NHKエデュケーショナル、アリタリアーイタリア航空、日本航空、アルテリア、
ヤマトロジスティクス
企画協力／東京富士美術館
入 館 料／一 般 1,300(1,100)円
高・大学生 900(700)円
小・中学生 600(400)円
()内：前売・20名以上の団体料金。
入館者数 91,163人(48日間)



フィレンツェのシニョリーア宮殿(現ヴェッキオ宮殿)を飾るために16世紀初頭に発注された大壁画《アンギアーリの戦い》。この装飾計画はレオナルドとミケランジェロが競演したことで知られている。未完成で終わったこれらの壁画は1560年代に、ジョルジョ・ヴァザーリの新たな壁画で覆われてしまったが、部分的に描かれていたレオナルドの壁画は半世紀以上も人々の目に触れ、その迫力ある表現は、戦闘画の新基準として、続く世代の芸術家たちに大きな影響を与えた。

本展では、レオナルドによる壁画の「軍旗争奪」の場面を模写した16世紀の有名な油彩画《タヴォラ・ドーリア(ドーリア家の板絵)》(日本初公開)。また、ミケランジェロが構想した壁画の大下絵を模写した、16世紀の板絵《カッシナの戦い》(同じく日本初公開)を合わせて展示し、部分的とはいえ、かつて実現するはずだった夢の競演を再現した。さらに、レオナルドの構図に基づく模写や派生作品、壁画に関連する歴史人物の肖像などを通して、レオナルドが試みた視覚の革命を検証し、イタリア美術史上の一大エピソードである失われた壁画の謎と魅力を紹介した。(本展担当者：角田 新)

関連事業

- (1) 講演会(広島県立美術館友の会共催)
日 時：10月1日(日) 13:30～15:00
講 師：五木田聡(東京富士美術館館長)

演 題：「タヴォラ・ドーリアとの対話」

会 場：地階講堂

参加者：191人

(2) ギャラリー・トーク

日 時：9月8日(金)、9月22日(金)

各18：00～

担 当：広島県立美術館 学芸員

参加者：9／8 55人、9／22 53人 計108人



(3) スライド・トーク

日 時：9月8日(金)、9月22日(金)、10月6日(金)、10月20日(金)

各11：00～

担 当：広島県立美術館 学芸員

参加者：9／8 105人、9／22 61人、10／6 60人、10／20 60人 計286人

(4) ウェブレポーター大募集

日 時：9月8日(金) 17：00～18：30

参加者：13人

主要関連番組

(1) テレビ

広島テレビ『テレビ派』生中継(9月4日)

広島テレビ『ひろてれ』(9月20日)

広島テレビ『てっぺん』(9月29日)

(2) ラジオ

エフエムふくやま「すてきにティータイム」『レディオBINGO 77.7MH』(9月5日)

エフエムはつかいち『昼はまるごと！761』(9月19日)

エフエムおのみち「よっちゃんのちょっといい話」『You Gotta Radio』(10月3日)

主要関連記事

(1) 新聞

毎日新聞『毎日美術館』9／13

中国新聞 記事：7月26日(社告)、8月12日「万能人の夢をたどる」(上杉記者)、8月28日特集「ルネサンス 巨匠競演 レオナルド・ダヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 広島県立美術館9月5日開幕」(上杉記者)、8月24日「アンギアーリの戦い」展に寄せて(池田大作 東京富士美術館創立者)、8月26日「ダヴィンチの謎」(広島テレビ番組紹介)、9月1日「巨匠競演 幻の大壁画」(イベントナビ)、9月2日「アンギアーリ展 展示作業始まる」(上杉記者)、9月5日「レオナルド・ダヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 本日開幕」、9月5日「アンギアーリ展きょう開幕 大型懸垂幕が登場」(上杉記者)、天才のキセキ(ちゅーぴー子供新聞9月-1)、9月6日「アンギアーリ展 時空超える」(上杉記者)、9月7日「大壁画の謎」上(上杉記者)、9月8日「大壁画の謎」中(上杉記者)、9月9日「大壁画の謎」下(上杉記者)、9月11日「アンギアーリ展1万人」(上杉記者)、9月14日「私も見てきました」(緒方かな子)、9月15日「ダヴィンチのロマン」1(里田記者)、9月21日レオナルド 心惹きつける魅力(角田新)、9月21日「私も見てきました」(馬場のぶえ)、9月22日「ダヴィンチのロマン」2(里田記者)、9月28日「アンギアーリ展3万人」(鈴

木記者)、9月28日「私も見てきました」(竹内泰彦)、9月29日「ダヴィンチのロマン」3(里田記者)、10月3日「戦闘画の粹」上(上杉記者)、10月4日「戦闘画の粹」中(上杉記者)、10月5日「戦闘画の粹」下(上杉記者)、10月6日「ダヴィンチのロマン」3(里田記者)、10月12日レオナルド 独走と天才性 東京富士美術館 五木田館長講演(上杉記者)、10月13日「ダヴィンチのロマン」5(里田記者)、10月14日「ダヴィンチ展5万人突破」(鈴木記者)

(2) 雑誌等

JAF(10月号)

つくりびと(8月1日発行)

やさしいミュージアムガイド(9月1日)

ウェンディ広島(9月号)

マツダ労働組合誌(9月号)

ホットベッパー(8月25日発行)

ウイング(9月号)

TJHiroshima

おでかけガイド(中国新聞)(9月号)

旨い!広島宮島(9月号)

to-you(9月号)

Cue(9月8日号)

Cue備後(9月8日号)

新美術新聞(9月号)

ビジネス朝日(9月21日発行)

エクспリメ(しんきん)(秋号)

arch(9月号)

経済春秋(9月号)

トライアングル(9月号 8月28日発行)

春秋(8月25日発行)

灯台(9月号 8月28日発行)

エクспリメ(秋号)

(3) WEB・SNS

広島テレビ 公式サイト

まいぷれ(8月下旬～)

アートジェンダ(8月下旬～)

ひろたび(8月下旬～)

地方共済組合(8月下旬～)

マイフェバリット瀬戸内(8月下旬～)

ホルベイアーチナビ(8月下旬～)

ブンカッキー(8月下旬～)

ぴあ(8月下旬～)

GetHiroshima(8月下旬～)

(4) その他

広島交響楽団 定期演奏会プログラム(9月8日)



カタログ内容

日本における《タヴォラ・ドーリア》 アントニア・パスクワ・レッキア／マリカ・メルカッリ
レオナルド・ダ・ヴィンチの「最も野獣的な狂気」《アンギアーリの戦い》の制作過程 マーティン・
ケンプ

「模写画」の品格 アントニオ・ナターリ

《タヴォラ・ドーリア》の制作年代と作者推定 シンポジウム後の若干の再考察について ピエトロ・
C. マラーニ

《タヴォラ・ドーリア》-《アンギアーリの戦い》を記録した最重要絵画作品 アレッサンドロ・ヴェッ
ツォージ

ルネサンスの傭兵隊長 越川倫明

カタログ

1章 歴史的背景

2章 失われた傑作

3章 競演の舞台～アンギアーリとカッシナ、ミケランジェロとの対決

4章 視覚革命～《アンギアーリの戦い》によるバロック時代への遺産

関連年表

関連地図

参考文献一覧

出品作品リスト

イタリア語と英語によるテキスト

展覧会巡回先

東京富士美術館	平成27(2015)年5月26日～8月9日
京都文化博物館	平成27(2015)年8月22日～11月23日
宮城県美術館	平成28(2016)年3月19日～5月29日
北海道立近代美術館	平成29(2017)年6月22日～8月15日
愛媛県美術館	平成29(2017)年11月2日～12月24日
名古屋市博物館	平成30(2018)年1月13日～3月25日
福岡市博物館	平成30(2018)年4月6日～6月3日

4 ブータン しあわせに生きるためのヒント

会 期／平成29(2017)年11月2日(木)～12月24日(日)
主 催／広島県立美術館、テレビ新広島、東映、中国新聞社
後 援／外務省、ブータン王国内務文化省、ブータン政府観光局、
中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

特別協力／ブータン王国国立博物館、ブータン王立織物博物館、
ブータン王立テキスタイルアカデミー

協 力／一般財団法人進化生物学研究所、ブータン エアラインズ、
BSフジ、Galaxy

協 賛／広島県信用組合

企 画／フジテレビジョン、東映

入 館 料／一 般 1,300(1,100)円
高・大学生 900(700)円
小・中学生 600(400)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

※一般ペア2,000円(電子チケットを除く前売限定販売)

入館者数／17,989人(53日間)



ブータン王国は、南にインド、北に中国といった大国に挟まれた、ヒマラヤ南斜面に位置する国家である。2011年11月、第五代国王ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク陛下とジェツン・ペマ王妃の日本訪問を受けて、日本では一躍ブータンブームが巻き起こり、GNH(国民総幸福量)を提唱する「幸せの国」として注目を集めた。日本・ブータン外交関係樹立30周年を記念した本展では、ブータン王国から日本へはじめて出品される作品約140点により、ブータンの伝統や文化、ブータン人の世界観や価値観を紹介した。(本展担当者：隅川 明宏)

主要関連事業

(1) 講演会「ブータンと50年」

日 時 11月5日(日) 13:30～

場 所 地階講堂

講 師 西岡里子

共 催 広島県立美術館友の会

参加者 90人

(2) 美術講座「マクロとミクロでみるブータンの工芸」

日 時 11月23日(木・祝) 13:30～

場 所 地階講堂

講 師 福田浩子(当館学芸課長)

参加者 63人

- (3) 美術講座「ブータンの片面縫取織の秘密」
 日 時 12月2日(土) 13:30～
 場 所 3階企画展示室内
 講 師 工藤いづみ(手織作家)
 参加者 100人
- (4) 美術講座「ブータンの民族衣装とヒマラヤの暮らし」
 日 時 12月16日(土) 13:30～15:00
 場 所 地階講堂
 講 師 久保淳子(ヤクランド)
 参加者 141人
- (5) ワークショップ「ほほえみの花」
 日 時 11月11日(土) 13:30～
 場 所 地階講堂
 講 師 松尾真由美(美術家)
 協 力 公益財団法人泉美術館
 参加者 15人
- (6) 学芸員によるギャラリートーク
 日 時 金曜日 11:00～(11/3、11/17、12/1、12/15)
 18:00～(11/10、11/24、12/8、12/22、12/23、12/24)
 場 所 3階企画展示室
 参加者 計218人
- (7) ウェブレポーター大募集！
 日 時 11月3日(金・祝) 17:00～18:30
 場 所 3階ロビー
 参加者 16人

主要関連番組・広告・記事

- テレビ テレビ新広島「開幕」(11/2)、「会場中継」(11/10)
- ラジオ FMふくやま(10/23)、FMはつかいち(11/6)、尾道エフエム放送(11/7)、広島FM(11/24)
- 新聞 中国新聞「社告」(9/2)
- 〃 「半5段広告」(10/24島根、10/25、10/26呉・山口・島根、11/1、11/10山口・島根、11/15島根、11/18、11/22、11/25島根、11/29山口・島根、12/3呉・島根、12/8島根、12/14島根、11/16島根、11/19島根・呉)
 - 〃 「半3段広告」(10/29山口、11/9、11/12呉・東広島、11/16、11/19、11/24、12/4、12/6、12/9、12/16呉・東広島・山口、12/20)
 - 〃 「特集」(10/30)
 - 〃 「全3段広告」(11/6、11/12、11/14、11/20、11/23)
 - 〃 都市圏面「段原小で幸せの国PR」(11/1)
 - 〃 開幕記事「幸せのヒント ブータン展」、産経新聞開幕記事(11/3)
 - 〃 解説委員論説「幸せとは何か」(11/16)

- ＊ 連載「ブータンあれこれ」全3回(11/17、11/24、12/1 学芸課長寄稿)
- ＊ 文化面「幸せを彩る民族衣装」(11/23学芸課長寄稿)

毎日新聞備後版「毎日美術館」(11/30学芸員寄稿)

中国新聞「1万人セレモニー」、産経新聞(12/2)

- 雑誌 『日本フルハップ』11月号、『つくりびと』64号、『ウエンディ』11月号、『ウイंक』12月号、『月刊ミュウミュウ』11月号、『to-you』11月号、『TJ-hiroshima』11月号、『くれえばん』11月号、『三井生命情報誌 大樹』11月号、『Cue』11月号、『Cue 備後』11月号、『ホットペッパー』11月24日発行、『美連協ニュース』136号、『リビングひろしま』11月18日号、『リビングおかやま』11月11日号、『りびんぐくらしき』11月11日号、『Spring』11月号、『トライアングル』12月号、『旨い広島宮島』冬号、『Hiroshima Exsite』11月7日発行、『マツダ労働組合月刊誌』11月号
- WEB (以下9月～)共済組合、まいふれ、ひろたび、Walkplus、(以下10月～)アートジェンダ、ブンカッキー、マイフェバ瀬戸内、ホルバインアーチナビ、ぴあ、(以下11月～)、インターネットミュージアム、JRおでかけネット、じゃらんネット、yahoo ロコ、ART NAVI、チラシミュージアム
- その他 『ゆめカード明細』裏面(11月～)、『かわらばん』11月号

カタログ内容

主催者「ごあいさつ」

ブータン王国内務文化省大臣ダワ・ギャルツェン「メッセージ」

平山修一「ブータン王国とは」

平山修一「ブータンに流れる時間」

【愛されるブータン王室】

ケンポ・プンツォク・タシ／福田浩子「ブータン王室コレクション」

【ブータンの生活様式】

ケンポ・プンツォク・タシ／福田浩子「ブータンの生活様式」

ケンポ・プンツォク・タシ／福田浩子「民族衣装の流れ」

福田浩子「ブータンテキスタイルコラム①②③」

生駒直美「松尾たい子さんが描く《光と風のブータン紀行》」

【ブータン仏教と信仰】

ケンポ・プンツォク・タシ／岩田侑利子「ブータン仏教と信仰」

岩田侑利子「仏画と仏像」

ケンポ・プンツォク・タシ／岩田侑利子「祈りの時間」

ケンポ・プンツォク・タシ「聖なる踊り《チャム》」

ケンポ・プンツォク・タシ「ブータンの歴史」

出品目録／作品解説

参考文献

展覧会巡回先

上野の森美術館

平成28(2016)年5月21日～7月18日

愛媛県美術館

平成28(2016)年7月30日～9月19日

岩手県民会館

平成29(2017)年1月28日～3月5日

山梨県立博物館

平成29(2017)年3月18日～5月15日

兵庫県立美術館ギャラリー棟

平成29(2017)年7月1日～9月3日

5 くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！

会 期／平成30(2018)年1月5日(金)～2月12日(月・振休)

主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社、
広島ホームテレビ

後 援／中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協 賛／広島県信用組合

特別協力／公文教育研究会

企画協力／青幻舎プロモーション

入 館 料／一 般 1,200(1,000)円

高・大学生 800(600)円

小・中学生 500(300)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／12,809人(39日間)



江戸時代の江戸時代の文化を生き生きと表現した浮世絵には、役者絵や美人画だけでなく、子どもが
主役といえる作品が数多く存在する。

本展では、子どもの生活を描いた「子ども絵」をはじめ、親子の情愛を伝える風俗画や物語絵、子ども
が鑑賞や遊びに用いる「おもちゃ絵」などを、鈴木春信や喜多川歌麿、歌川広重、歌川国芳、歌川芳
藤らの作品により紹介。子どもを慈しむあたたかな眼差しや、元気に^{はつらつ}遊ぶ子どもの姿が表現され
た浮世絵、さらには、画中に登場する遊具や絵巻、屏風を含めた約170点を展示。新春にふさわしい「福」
や「笑い」を呼ぶ作品など、日本人の美意識を支える「遊び」の要素に注目し、大人も子どもも楽しめる
浮世絵の世界を紹介した。(本展担当者：藤崎 綾)

関連事業

- (1) 講演会(広島県立美術館友の会共催)

日 時：1月5日(金) 13:30～15:00

講 師：藤澤紫(本展監修者、國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事)

演 題：「遊べる浮世絵－こんなに楽しい江戸文化－」

参加者：110人

- (2) ギャラリートーク

日 時：1月12日、1月19日、1月26日(金)各日11:00～

1月19日、2月2日、2月9日(金)各日18:00～

参加者：計124人

- (3) ウェブレポーター

日 時：1月12日(金) 17:00～

参加者：8人

主要関連番組

- (1) テレビ
ホームテレビ 昼ニュース(1月5日・開幕、2月9日・1万人セレモニー)
NHK「アートシーン」『日曜美術館』(1月14日)
テレビ新広島『満点ママ』(1月18日)
- (2) ラジオ
NHK「イベント情報」(12月27日～1月6日)
エフエムふくやま「すてきにティータイム」『おはようときめきタイム』(1月1日)
エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(1月17日)
広島エフエム『SOLATO あした、どこ行く?』(1月19日)
- (3) WEB
広島ホームテレビ『ぼるぼるLIVE』(「あっちゃんのフライデーNO. 1」1月26日)

主要関連記事

- (1) 新聞
中国新聞 記事：11月10日(社告)、1月5日(特集「浮世絵 遊び心満載 きょうから広島県立美術館」)、1月6日(「江戸の遊び 生き生き 広島県立美術館で浮世絵展」)、1月19日(「浮世絵 比べて遊んで じっくり 来月12日まで広島の2か所展覧会」)、2月1日(ひととき 浮世絵は情報ツール 国学院大教授 藤澤紫さん)、2月9日(「浮世絵展に1万人」)
中国新聞 広告：12月28日(半5段)、30日(半5段)、31日(半3段・半5段)、1月3日(半5段)、4日(半5段)、5日(半3段)、14日(半5段)、17日(半3段)、18日(全3段)、21日(半3段・全3段)、23日(半5段)、24日(半3段)、25日(半3段・半5段)、28日(半3段・半5段・全3段)、31日(半3段・半5段)、2月6日(半5段)、9日(半5段)、11日(半5段)
毎日新聞 12月22日(街人情報)
朝日新聞 12月30日(新春ガイド)
産経新聞 12月30日(イベントガイド)
山口新聞 1月9日(プレゼント情報)
日経新聞 1月10日(カルチャーガイド)
- (2) 雑誌等
『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』82号、『Cue備後』(12月8日号)、『ホットペッパー』(12月22日号)、『ふるハップ』(冬号)、『旨い広島宮島』(冬号)、『リビングひろしま』(新春号)、『経済春秋』(1月号)、『ひととき』(JR東海PR誌・1月号)、『Wink』(1月号)、『Lmi』(1月号)、蔦屋家電(イベントカレンダー1月号)、『JAF』(1月号)、『FunFUNFun』(1月号)、『ウエンディ広島』(1月1日号)、『to you』(1月号)、『月刊ミュウミュウ』(1月号)、『TJ Hiroshima』(1月号)、『Cue』(1月5日号)、『プレスネット』(1月11日号)、『アートコレクターズ』(2月号)、『「今見られる浮世絵展覧会」月刊アートコレクターズ』(2月号)、『婦人公論』
- (3) WEB・SNSほか
『地方職員共済組合HP』(11月28日～)、『Walker plus』(11月29日～)、『まいぶれ』(12月1日～)、『ブンカッキーネットひろしま(ひろしま文化振興財団)』(12月5日～)、『美術館・博物館情報サイト アートアジェンダ』(12月15日～)、『マイフェバ』(12月18日～)、『Yahoo おでかけ情報』(12

月22日～)、『JR西日本 おでかけ情報』(12月22日～)、『じゃらん おでかけ情報』(12月22日～)、
『ぴあポイントサイト』(12月22日～)、『広島県立美術館メールマガジン』(12月28日・1月10日・
1月20日・2月1日・2月9日)、『ジャパントイム』(1月3日～)、『ひろたび』(広島市広域観光
情報サイト・1月10日～)、『インターネットミュージアム』(1月12日～)、『ホルベインアーティストナビ』
(1月17日～)、『ミニナルアート』(1月22日～)、『ひびひろしま』(1月下旬～)、『チラシ
ミュージアム』(1月29日～)、『広島県中小企業共済協同組合HP』(1月29日～)

カタログ内容

はじめに

総論 浮世絵にみる遊び心 藤澤紫

プロローグ 浮世絵と江戸文化

第1章 愛される子どもたち 江戸の暮らしと四季風俗

第2章 遊びと学び 子ども絵から知る江戸文化

第3章 子どもと人気のキャラクター ヒーロー・妖怪大集合

第4章 遊べる浮世絵 おもちゃ絵の楽しみ

絵師略伝

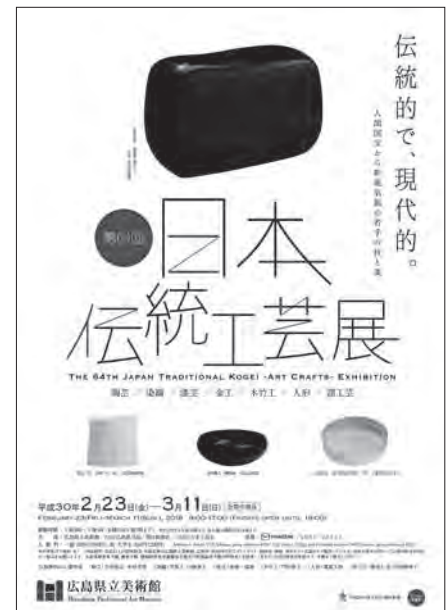
絵師年表

作品リスト



6 第64回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成30(2018)年2月23日(金)～3月11日(日)
主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会
講 演／文化庁
協 賛／マツダ、ヒロタニ、ヒロテック
入 館 料／一 般 700(500)円
高・大学生 400(200)円
中学生以下無料
※()内は前売・20名以上の団体料金
入館者数／8,155人(17日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設された。以来、その伝統をよく理解しながら一層技術を磨いて、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としている。

第64回となる本展の広島展では、人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門で、日本を代表する作家の作品311点を展示。広島県からは9名の作家の作品が入選した。

今回は、「工芸デー」や「謎解きイベント」など、多くのイベントを開催することで、多面的に伝統工芸に親しむ機会の提供に努めた。(本展担当者：神内 有理)

広島県在住入選者

陶 芸 今田 拓志《をる陶》、木村 芳郎《碧釉稜壺》
染 織 山城 直子《型絵染着物「物語」》、平 恵子《紬織着物「網代垣」》
漆 芸 金城一國齋《卵殻彫漆箱「波動」》
木竹工 門田 篁玉《千鳥編花籠「瀬戸」》
人 形 奥 富久枝《木芯桐塑布紙貼「しあわせの時」》
諸工芸 粟根 仁志《七宝箱「照華」》、宇田勢津子《有線七宝蓋物「新涼」》

関連事業

(1) 記念講演会

日 時：平成30年3月3日(土) 13:30～15:00
場 所：地階講堂
内 容：「超絶技巧の遺伝子－明治工芸から現代へ－」
講 師：山下裕二(明治学院大学教授)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：121名

(2) ギャラリートーク(作品解説)

日時：	講師(内容)：
平成30年2月24日(土) 11:00～	神内 有理(全般) 25名
2月24日(土) 15:00～	ワークショップ参加の子供(全般) 30名
2月25日(日) 11:00～	高月 國光(木工) 50名
3月3日(土) 13:30～	神内 有理(全般) 70名
3月4日(日) 11:00～	栗根 仁志(七宝) 35名
3月10日(土) 11:00～	今田 拓志(陶芸) 68名
3月11日(日) 11:00～	金城一國齋(漆芸) 86名

場所：3階企画展示室

(3) 制作実演

日時：	講師(内容)：
平成30年2月25日(日) 15:00～	高月 國光(木工) 42名
3月4日(日) 15:00～	栗根 仁志(七宝) 37名
3月10日(土) 15:00～	今田 拓志(陶芸) 62名
3月11日(日) 15:00～	金城一國齋(漆芸) 78名

場所：3階ロビー

(4) 子ども鑑賞コース 出張授業

平成30年2月5日(月)三原市立鷺浦小学校1-6年生(11名)田代昭夫(漆芸)
2月19日(月)広島市立段原小学校6年生(59名)菅坂安子(七宝)
3月7日(水)広島市立春日野小学校4年生(167名)金城一國齋(漆芸)

(5) 子ども鑑賞コース ワークショップ

内 容：「ギャラリートークに挑戦しよう！」

講 師：福田浩子(当館学芸課長)
神内有理(当館学芸員)

日 時：平成30年2月24日(土) 13:00～16:00

場 所：3階大会議室・3階企画展示室

参加者：7名

(6) 子ども鑑賞ガイドブック作成・配布

A5版16ページ、3,000部

(7) その他関連イベント

(ア) 茶話会

日時：	講師(内容)：
2月25日(日) 13:00～	高月 國光(木工) 10名
3月4日(日) 13:00～	栗根 仁志(七宝) 11名
3月10日(土) 13:00～	今田 拓志(陶芸) 13名
3月11日(日) 13:00～	金城一國齋(漆芸) 12名

場所：縮景園茶室 清風館

(イ) ウェブレポーター

日 時：平成30年2月23日(金) 17:00～18:30

場 所：3階企画展示室

参加者：2名

(ウ) 謎解きワークショップ

日時： 講師：
平成30年2月23日(金) 10:30～ 神内 有理・隅川 明宏 約45名
2月24日(土) 16:00～ 神内 有理・隅川 明宏 約20名
3月4日(日) 10:00～ 神内 有理・隅川 明宏 約40名
場所：3階企画展示室

(エ) 制作工程動画の作成・上映・SNS発信

「門田篁玉101歳－竹の仕事」、約10分、英訳字幕付

マスメディアによる報道・広報

(1) 朝日新聞

(記事)

平成29年9月7日 「世界を魅了、紺碧の陶芸 日本伝統工芸展入選、木村芳郎さん」
平成30年1月7日 「I展覧会 イベントAsahi2018【大阪】」
2月7日 「漆塗り、マイ箸づくりに挑む伝統工芸展前に田代さん授業三原・鴛浦小児童」
2月9日 「日本伝統工芸展、広島で23日から 作家と触れあう体験イベント」
2月17日 「新たな美へ、技の競演 第64回日本伝統工芸展」
2月20日 「児童60人、七宝焼の体験授業広島・南区、段原小で」
2月20日 社告
2月23日 県内入選作品解説記事 ①奥富久枝
2月24日 「迫力の美、春告げる 日本伝統工芸展が開幕県立美術館」
2月25日 県内入選作品解説記事 ②平恵子
2月26日 「作家手ほどき、おわん作り 木工体験イベント 日本伝統工芸展」
2月28日 県内入選作品解説記事 ③門田篁玉
3月2日 県内入選作品解説記事 ④宇田勢津子
3月2日 「怪盗狙う一品、当てよ 日本伝統工芸展で「謎解き」」
3月4日 「伝統工芸の技巧、大学教授が講演 県立美術館」
3月4日 県内入選作品解説記事 ⑤金城一国齋
3月5日 県内入選作品解説記事 ⑥今田拓志
3月7日 県内入選作品解説記事 ⑦木村芳郎
3月8日 金城一国齋さん「漆の技法」実演 春日野小で出張授業
3月8日 漆芸作家が実演、児童ら興味津々 広島・春日野小
3月9日 県内入選作品解説記事 ⑧粟根仁志
3月10日 県内入選作品解説記事 ⑨山城直子

(新聞広告)

・広島県版：平成30年2月22日(全5段)、2月23日(半5段)、24日(全7段／タイアップ)、3月1日(タイアップ)、3月1日(全4段)、3月3日(半5段)、3月5日(半5段)、3月7日(全5段／タイアップ)
・ビジネス朝日 平成30年2月号
・2月14日 折込チラシ

(2) その他新聞

平成30年1月27日 中国新聞

平成30年3月1日 中国新聞

(3) NHK

(テレビ)

平成30年2月6日「おはようひろしま」(総合/広島県内)

2月21日「日曜美術館 自然を活かす匠たち～第64回 日本伝統工芸展～」

(再放送Eテレ/広島県内)

2月21日「お好みワイドひろしま」(総合/広島県内)

2月26日「ひるまえ直送便」(総合/中国地方)

2月2日～3月11日 随時「30秒スポット」(総合・Eテレ/広島県内) 16回

(ラジオ)

平成30年2月21日「ひろしまコイらじ」(ラジオ第1/中国地方)

(データ放送)平成30年2月2日～3月12日

(ホームページ)平成30年2月2日～3月12日

(4) その他

平成30年2月19日 FM東広島

2月23日「Jステーション」(広島ホームテレビ)

その他の媒体

(1) 情報誌

- ・ホットペッパー 1月26日号
- ・to you 2月号
- ・ウェンディ 2月号
- ・Cue 2月9日号
- ・Cue備後 2月9日号
- ・いわみりびえーる 2月11日号
- ・旨い宮島広島 3～5月号
- ・ウインク 3月号
- ・リビングひろしま(お出かけ情報) 2月24日号
- ・県民だより 1月号
- ・県退職者広報誌 ふれあい1月号
- ・サンデー周南新聞

(2) 懸垂幕(美術館列柱間)

(3) インターネット

- ・広島県立美術館ホームページ、ツイッター、facebook
- ・まいぷれ広島/株式会社システムフレンド
- ・ぴあポイントサイト
- ・JRおでかけ
- ・じゃらんnet
- ・JR西日本
- ・チラシミュージアム
- ・タウン de ポン
- ・共済組合ホームページ

(4) 市内タクシー車内チラシ掲示
 補助タクシー・第一交通・広交タクシー

カタログ内容

主旨

出品目録

出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告

1. 「釉裏金彩」伝承者養成研修会

2. 「紬織」伝承者養成研修会

第64回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東京	平成29年9月20日(水)～10月2日(月)	日本橋三越本店
名古屋	10月4日(水)～10月9日(月・祝)	名古屋栄三越
京都	10月18日(水)～10月23日(月)	京都高島屋
金沢	10月27日(金)～11月5日(日)	石川県立美術館
岡山	11月16日(木)～12月3日(日)	岡山県立美術館
松江	12月6日(水)～12月24日(日)	島根県立美術館
高松	平成30年1月2日(火)～1月21日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	1月24日(水)～1月29日(月)	仙台三越
福岡	2月2日(金)～2月7日(水)	福岡三越
大阪	2月16日(金)～2月20日(火)	大阪高島屋



所蔵作品展

平成29年度からは、4期に分けて開催することが伝わりやすよう、春・夏・秋・冬の所蔵作品展と名付けてそれぞれ開催した。

あわせて鑑賞ガイドとして、児玉希望、インドの古更紗、六角紫水の作品を紹介するミニガイドブックを作製・配布した。

入場者数／84,954人(335日間)

春の所蔵作品展

小特集 小林和作 自然美の輝く風景画

平成29年4月19日(水)～7月2日(日)

前期：4月19日(水)～5月21日(日)

後期：5月23日(火)～7月2日(日)

彫刻展示スペース バーナード・リーチの仕事

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	バーナード・リーチ	1887-1979	蠟抜格子花文蓋付茶壺	1923(大正12)頃	高15.2 一辺9.6	陶器	1合		
2	バーナード・リーチ		染付山水文壺	1926(大正15)頃	高19.8 胴径21.2	陶器	1口		
3	バーナード・リーチ		鉄絵山樹文大壺	1950(昭和25)頃	高39.4 径29.2	陶器	1口		
4	バーナード・リーチ		灰釉櫛目文花瓶	1950(昭和25)頃	高34.3 径20.0	陶器	1口		
5	バーナード・リーチ		染付蕪文盒子	1957-1960(昭和32~35)	高4.9 径7.6	陶器	1合		
6	バーナード・リーチ		鉄絵魚文花瓶	1960(昭和35)頃	高31.5 幅14.8	陶器	1口		
7	バーナード・リーチ		鉄絵紅角扁壺	1960(昭和35)	高19.0	陶器	1口		
8	バーナード・リーチ		灰釉櫛描扁壺	1960(昭和35)	高28.2	陶器	1口		
9	バーナード・リーチ		鉄釉柳文扁壺	1965(昭和40)	高28.2	陶器	1口		
10	河井寛次郎	1890-1966	黄釉流描き皿		高7.7 34.2×29.2	陶器	1枚		
11	浜田 庄司	1894-1978	ガレナ釉搔落文蓋壺	1922(大正11)頃	高15.2 径9.6	陶器	1合		
12	浜田 庄司		黒釉鎔流描大鉢	昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1口		

第1室 シュルレアリスムと抽象美術の時代 ダリが描いた夢の世界

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
13	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

英国の前衛芸術家グループ「ユニット・ワン」

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
14	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
15	バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネスティング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		
16	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8×10.7×5.7	ブロンズ・弦	1点		

戦間期の美術を中心に

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
17	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
18	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンピトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
19	アレクサンダー・カノルト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1面		
20	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
21	トーマス・ハート・ベントン	1889-1975	禁酒法の取締り	1925頃	40.6×45.7	油彩・画布	1面		
22	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
23	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	61.0×61.0	油彩・画布	1面		
24	マン・レイ	1890-1976	ランプのあるセルフポートレート／ソラリゼーション	1934	28.5×20.9	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
25	マン・レイ		写真機のあるセルフポートレート	1932	29.7×20.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
26	マン・レイ		黒と白	1924	20.7×28.9	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
27	マン・レイ		理性への回帰	1923	28.4×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
28	マン・レイ		覚めて見る夢の会	1924	20.6×28.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
29	マン・レイ		アングルのヴァイオリン	1924	30.8×23.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
30	マックス・エルンスト	1891-1976	オイディプス I	1934(1992鑄造)	高62.0	ブロンズ	1点		
31	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992鑄造)	高66.0	ブロンズ	1点		
32	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		

パウハウスの版画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
33	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第4集 コンポジション	1924	27.9×24.4	リトグラフ・紙	1面		前期
34	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	パウハウス宣言書表紙	1919	30.5×18.5	木版・紙	1面		前期
35	ライオネル・ファイニンガー		パウハウス版 新ヨーロッパ版 画集 第1集 散歩をする人	1921	48.3×34.7	木版・紙	1面		後期
36	パウウル・クレー	1879-1940	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 内なる光に照らされた聖人	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		前期
37	パウウル・クレー		パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 ホフマンの舞台	1921	35.5×26.0	リトグラフ・紙	1面		後期
38	ナタリア・ゴンチャロヴァ	1881-1962	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第4集 婦人半身像	1924	36.4×25.1	リトグラフ・紙	1面		後期
39	マルク・シャガール	1887-1985	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第4集 散歩2(夫人のいる自画像)	1924	17.4×14.6	エッチング・ドライポイント・紙	1面		前期
40	オスカー・シュレンマー	1888-1943	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 人物H2	1921	48.0×34.0	リトグラフ・紙	1面		前期
41	オスカー・シュレンマー		パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 人物集合像K1	1921	48.8×33.8	リトグラフ・紙	1面		後期
42	ジョルジョ・デ・キリコ	1888-1978	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第4集 オレステスとピュラデス	1924	28.9×20.0	リトグラフ・紙	1面		後期

第2室 小林和作－自然美の輝く風景画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
43	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
44	小林 千古		母ワキ肖像	1899(明治32)	68.0×51	油彩・画布	1面		
45	小林 千古		婦人座像	1904(明治37)	61.0×49.0	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
46	小林 千古		習作		145.5×107.5	油彩・画布	1面		
47	南 薫造	1883-1950	小童	1909(明治42)	60.5×49.8	油彩・画布	1面		
48	南 薫造		石割り	1911(明治44)	60.5×45.5	油彩・画布	1面	第6回文展	
49	南 薫造		娘の横顔	1915(大正4)	60.5×45.5	油彩・画布	1面		
50	南 薫造		麦刈り	1947(昭和22)	53.0×72.8	油彩・画布	1面		
51	小林 和作	1888-1974	梨の花	1935(昭和10)	30.4×72.7	油彩・画布	1面		
52	小林 和作		秋山	1956(昭和31)	52.0×100.0	油彩・画布	1面		
53	小林 和作		春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
54	小林 和作		隠岐白鳥	1968(昭和43)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
55	小林 和作		山湖の秋		52.0×100.0	油彩・画布	1面	第38回独立展	
56	小林 和作		海		52.0×100.0	油彩・画布	1面		
57	小林 和作		伯耆大山の秋		52.0×100.0	油彩・画布	1面		
58	小林 和作		山湖の秋		80.3×100.0	油彩・画布	1面		
59	小林 和作		白馬山下の春		72.7×100.0	油彩・画布	1面		
60	小林 和作		紀州の海		80.3×100.0	油彩・画布	1面		
61	小林 和作		阿波の海		80.3×100.0	油彩・画布	1面		
62	小林 和作		畑薙湖		32.0×47.1	淡彩・紙	1面		
63	小林 和作		大山		26.0×38.5	淡彩・紙	1面		
64	小林 和作		隠岐白鳥付近		29.6×37.6	淡彩・紙	1面		
65	小林 和作		伯耆大山		14.0×31.1	淡彩・紙	1面		
66	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
67	巖 光		女	1934(昭和9)	27.0×15.0	グワッシュ・墨・紙	1面		
68	巖 光		畠山ウタ氏の像	1942(昭和17)	52.8×40.8	油彩・画布	1面		
69	菅井 汲	1919-1996	LE FLIRT A 45 (男女45度の戯れ)	1982(昭和57)	200.2×562.0	アクリル・画布	1面		

第3室 小林和作特集に寄せて

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
70	横山 大観	1868-1958	井筒	1897(明治30)	135.6×83.5	絹本彩色	1幅		前期
71	丸木 スマ	1875-1956	動物	1952(昭和27)	90.0×94.0	紙本彩色	1幅	童画展	前期
72	丸木 スマ		きのこ	1953(昭和28)	108.0×77.5	紙本彩色	1幅	第38回院展	後期
73	甲斐庄楠音	1894-1978	横櫛	1918(大正7)	165.0×72.0	絹本彩色	1面	第1回国画創作協会展	後期
74	竹内 栖鳳	1864-1942	寒林帰牧図	1900(明治33)頃	各166.7×370.8	絹本墨画淡彩	6曲1双		前期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
75	土田 麦僊	1887-1936	早春図	1913(大正2)頃	114.5×36.5	絹本彩色	1幅		前期
76	土田 麦僊		雨後図	1916(大正5)	128.9×42.8	絹本彩色	1幅		後期
77	村上 華岳	1888-1939	菩薩図	1924(大正13)頃	58.2×50.6	絹本彩色	1幅		前期
78	村上 華岳		観音仏座像	1937(昭和12)頃	26.4×24.2	紙本墨画金泥	1幅		後期
79	小野 竹喬	1889-1979	松江の武家屋敷	1971(昭和46)	47.7×62.8	絹本彩色	1面	「日本美を描く」展	
80	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色	1面	第2回新文展	
81	大村 廣陽	1891-1983	藤の花かけ	1926(大正15)	196.8×345.2	絹本彩色	4曲1隻	第7回帝展	
82	金島 桂華	1892-1974	芭蕉孔雀図	1912(明治45)	各168.0×375.5	絹本彩色	6曲1双	第12回美術会絵画展覧会	後期
83	猪原 大華	1897-1980	果樹	1927(昭和2)	160.3×120.8	絹本彩色	1面	第6回国画創作協会展	
84	片山 牧羊	1900-1937	おぼろ	1927(昭和2)	244.8×173.0	絹本彩色	1面	第8回帝展	
85	児玉 希望	1898-1971	浅春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面		
86	児玉 希望		烟雨	1954(昭和29)	132.0×173.0	絹本彩色	1面	第10回日展	
87	塩出 英雄	1912-2001	草庵	1964(昭和39)	178.2×223.0	紙本彩色	1面	第49回院展	
88	塩出 英雄		春山	1969(昭和44)	176.0×242.0	紙本彩色	1面	第54回院展	
89	奥田 元宋	1912-2003	室戸	1952(昭和27)	100.0×181.5	紙本彩色	1面	第8回日展	
90	平山 郁夫	1930-2009	内海の春	1954(昭和29)	145.0×208.0	紙本彩色	1面	第39回院展	
91	平山 郁夫		石仏(炳靈寺石窟)	1979(昭和54)	40.0×32.0	彩色・紙	1面		
92	平山 郁夫		タイ族の娘(中国昆明)	1979(昭和54)	49.0×33.0	彩色・紙	1面		

第4室 赤の工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
93			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
94			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
95			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
96	河井寛次郎	1890-1966	赤盒子		高4.2 径5.8	磁器	1合		
97	河井寛次郎		辰砂筒描扁壺		高15.9 12.0×19.6	陶器	1口		
98	河井寛次郎		呉州三色碗		高7.7 口径15.4	陶器	1口		
99	加藤土師萌	1900-1968	倣明嘉靖黄地紅彩菊牡丹文角鉢	1954(昭和29)	高4.8 18.9×18.7	磁器・色絵	1口		
100	加守田章二	1933-1983	彩色壺	1975(昭和50)	高33.0 径19.0	陶器	1口		
101	宗廣 力三	1912-1989	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1985(昭和60)	桁65.5 丈173.0	絹・紬	1領		
102	森口 邦彦	1941-	友禅着物「薔園」	1981(昭和56)	桁61.8 丈170.5	絹・友禅染	1領		
103	山下 了是	1946-	釣山涼々	1979(昭和54)	180.0×170.0	染・額装	1面		
104			堆朱合子	「大明永楽年製」銘	高7.7 径22.0	漆・堆朱	1合		
105	二十代堆朱楊成	1880-1952	唐華紋彫漆基筒		高12.3 径15.4	漆・堆漆・彫漆	1対		
106	音丸 耕堂	1898-1997	堆黒玉簪香盆	1930(昭和5)	径37.2	漆・堆漆・彫漆	1枚		
107	山崎覚太郎	1899-1984	奔瑞小屏風		61.0×188.2	木・竹・漆・漆絵	2曲1隻		
108	黒田 辰秋	1904-1982	朱沃地大名錦飾篋	1982(昭和57)	高22.5 17.0×33.5	木・漆・螺鈿	1合		
109	ブスケント		刺繍布(スザニ)	19世紀末	245.0×210.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
110	プハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀中期	224.0×148.0	麻・絹糸・刺繍	1枚		
111	ヨムート族トルクメン人		女性用外衣	19世紀	丈50.5	木綿	1領		
112	ヨムート族トルクメン人		女性用外衣	19世紀	丈95.9	木綿	1領		
113	ウズベク人		男性用外衣(チャパン)	19世紀末	129.6×207.7	経：絹・緯：絹・経緋・裏にプリント木綿・見返し経緋	1領		
114	ヨムート族トルクメン人		男性用上衣	1900頃	66.1×155.7	絹	1領		
115	ヨムート族トルクメン人		女性用上衣(コイネク)	1930以前	丈122.5	絹	1領		
116	エルサリ族または北ヨムート族トルクメン人		頭飾り(シンシレ)	19世紀前半	高27.0(下げ飾り除く)	銀・カーネリアン	1点		
117	西ヨムート族トルクメン人		頭飾り(サンジャリク)	19世紀前半	幅42.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
118	エルサリ族トルクメン人		頭飾り(イルディルジチュ)	19世紀中期	幅28.0	銀	1連		
119	西ヨムート族トルクメン人		頭飾り(サンジャリク)	19世紀中期	幅40.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
120	テケ族トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	18世紀	長20.0	銀	1対		
121	テケ族トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	19世紀中期	長26.0	銀	1対		
122	北ヨムート族またはテケ族トルクメン人		首胸飾り(ブカウ)	18世紀	幅15.0	銀	1組		
123	ヨムート族トルクメン人		首胸飾り(ブカウ)	19世紀前半	幅11.5	銀・鍍金・カーネリアン・色ガラス	1点		
124	北ヨムート族トルクメン人		背飾り(アシク)	18-19世紀	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
125	サルイク族トルクメン人		護符入れ(ボズベント)	1854/55 (ヒジュラ暦1271)	径6.5	銀・カーネリアン	1点		
126	ヨムート族トルクメン人		背飾り(アシク)	1903/04 (ヒジュラ暦1321)	高23.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
127	ヨムート族トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1906/07 (ヒジュラ暦1324)	高7.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
128	テケ族トルクメン人		背飾り(ゴシヤ・アシク)	1907/08 (ヒジュラ暦1325)	高15.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		

夏の所蔵作品展

サマーミュージアム 動物たちをさがそう

平成29年7月5日(水)～9月10日(日)

前期：7月5日(水)～8月20日(日)

後期：8月22日(火)～9月10日(日)

彫刻展示スペース

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	圓鏝 勝三	1905-2003	途上	1941(昭和16) 铸造 1994(平成6)	高169×82×51.5	ブロンズ	1体		
2	圓鏝 勝三		こかげ	1974(昭和49)	高123.5×77×48	ブロンズ	1体	第6回改組日展	
3	圓鏝 勝三		月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1体	第17回改組日展	
4	三沢 厚彦	1961-	Animal 2003-06	2003(平成15)	高70×37×162	木・彩色	1体		
5	三沢 厚彦		Animal 2006-05	2006(平成18)	高40×29×41	木・彩色	1体		
6	三沢 厚彦		Animal 2008-04	2008(平成20)	高48×45×80	木・彩色	1体		
7	三沢 厚彦		Dog 2009-02	2009(平成21)	高42.8×14.5×42	木・彩色	1体		

第1室 描かれた動物

夢の世界と奇妙な生物

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
8	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

両大戦間期の美術を中心に

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
9	ライオネル・フィンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
10	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
11	アレクサンダー・コルネ	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1面		
12	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
13	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
14	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	61.0×61.0	油彩・画布	1面		
15	アレクサンダー・コルネ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		

描かれた動物たち

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
16	アリスティード・マイヨール	1861-1944	ウェルギリウスの農耕歌	1937-1944	33.7×25.3	紙・インク・木版	144点組のうち12面		
17	パウル・クレール	1879-1940	何で走っているのだろう	1932	23.8×29.9	エッチング・紙	1面		
18	ゲルハルト・マルクス	1889-1981	バウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 猫	1921	38.0×55.0	木版・紙	1面		
19	ゲルハルト・マルクス		バウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 ふくろう	1921	38.0×28.1	木版・紙	1面		
20	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0	コロタイプ・紙	34点組のうち2面		
21	ゲオルグ・ムッハ	1895-1987	バウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 動物の頭	1921	30.0×20.0	エッチング・紙	1面		
22	マリノ・マリーニ	1901-1980	二人の軽業師と馬	1951	64×47	エッチング・紙	1面		
23	マリノ・マリーニ		黄色の縁取りのある3頭の馬	1954	64×44	リトグラフ・紙	1面		
24	バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		

第2室 洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
25	小林 千古	1870-1911	佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	24.2×31.5	油彩・画布	1面		
26	南 薫造	1883-1950	水辺		30.1×23.9	水彩・紙	1面		
27	南 薫造		ウインザー	1909(明治42)	35.5×25.3	水彩・紙	1面		
28	南 薫造		羊	1909(明治42)	16.5×23.9	水彩・紙	1面		
29	南 薫造		羊飼	1909(明治42)	30.0×45.5	水彩・紙	1面		
30	南 薫造		木影(カルカッタ)	1916(大正5)	25.2×35.5	水彩・紙	1面		
31	南 薫造		馬	1925(大正14)	31.0×40.8	油彩・板	1面		
32	小林徳三郎	1884-1949	金魚を見る子供	1929(昭和4)	45.6×53.0	油彩・画布	1面		
33	須田国太郎	1891-1961	るりみつどり	1956(昭和31)	65.0×91.0	油彩・画布	1面	第24回独立展	
34	山路 商	1903-1944	犬とかたつむり	1937(昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
35	松井 正	1906-1993	「マチーソン」への道	1975(昭和50)	162.1×112.1	油彩・画布	1面	安井賞展奨励賞	
36	巖 光	1907-1946	牛	1941(昭和16)	15.4×28.3	鉛筆・紙	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
37	巖 光		牛	1941(昭和16)頃	18.5×24.0	墨・紙	1面		
38	巖 光		かぶと虫	1942(昭和17)頃	18.0×71.0	紙本墨画	1面		
39	太田 忠	1908-1971	池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
40	寺田 政明	1912-1989	生と死の凝視	1950(昭和25)	91.3×116.5	油彩・画布	1面	第14回自由美術展	
41	寺田 政明		二つの道	1954(昭和29)	116.9×91.2	油彩・画布	1面	第18回自由美術展	
42	水船 六洲	1912-1980	かもめとランプ		59.5×45.7	木版・紙	1面		
43	水船 六洲		鳥の椅子(Bird Chair)	1966(昭和41)	41.0×32.5	木版・紙	1面		
44	桂 ゆき	1913-1991	土	1939(昭和14)	61.0×50.0	油彩・画布	1面		
45	菅井 汲	1919-1996	星座Ⅰ(牡羊座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
46	菅井 汲		星座Ⅱ(牡牛座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
47	菅井 汲		星座Ⅲ(双子座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
48	菅井 汲		星座Ⅳ(蟹座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
49	菅井 汲		星座Ⅴ(獅子座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
50	菅井 汲		星座Ⅵ(乙女座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
51	菅井 汲		星座Ⅶ(天秤座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
52	菅井 汲		星座Ⅷ(さそり座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
53	菅井 汲		星座Ⅸ(射手座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
54	菅井 汲		星座Ⅹ(山羊座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
55	菅井 汲		星座Ⅺ(水瓶座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
56	菅井 汲		星座ⅩⅡ(魚座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	紙・シルクスクリーン	1面		
57	吉原 英雄	1931-2007	版画集「ベットショップ」より ガラスの向う側	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクリル・メゾチント・紙	1面		
58	吉原 英雄		版画集「ベットショップ」より プチベット	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクリル・メゾチント・紙	1面		
59	吉原 英雄		版画集「ベットショップ」より 蝶の観察	1979(昭和54)	22.2×36.5	メゾチント・エッチング・紙	1面		
60	吉原 英雄		版画集「ベットショップ」より デューラーの虎	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1面		

第3室 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
61	望月 玉蟾	1692-1755	松下猛虎図		117.0×55.2	絹本墨画	1幅		前期
62	橋本 雅邦	1835-1908	竜虎争気		各126.0×50.0	絹本墨画淡彩	2幅		前期
63	東 東洋	1755-1839	十六羅漢図	1785(天明5)	111.6×55.3	紙本墨画	1幅		後期
64	曾我 蕭白	1730-1781	伯顔図	1767(明和4)頃	133.2×57.0	紙本墨画	1幅		後期
65	里見 雲嶺	1849-1928	紀貫之蟻通社之図		106.0×39.5	絹本彩色	1幅		後期
66	大村 廣陽	1891-1983	南苑	1928(昭和3)	212.0×158.0	絹本彩色	1面	第9回帝展	
67	和高 節二	1898-1990	ひなた	1955(昭和30)	83.0×96.4	紙本彩色	1面	第7回広島県美術展	
68	川崎 小虎	1886-1977	仔鹿の秋	1973(昭和48)	111.0×88.0	紙本彩色	1面	第5回改組日展	
69	和高 節二	1898-1990	秋日和	1938(昭和13)	155.5×171.0	紙本彩色	2曲1隻	第1回現代美術展	
70	和高 節二		仔牛誕生	1970(昭和45)	158.3×263.2	紙本彩色	4曲1隻		
71	不詳		花鳥図	17世紀(江戸時代)	151.0×348.0	紙本彩色	6曲1隻		
72	望月 玉蟾	1692-1755	維摩居士之図		106.0×44.0	絹本墨画	1幅		前期
73	宋 紫石	1715-1786	柳下白鷄図	1769(明和6)	112.6×44.5	絹本彩色	1幅		後期
74	岡 岷山	1734-1806	仏法僧図	1766(明和3)	99.0×39.0	絹本彩色	1幅		後期
75	望月 玉川	1794-1852	芦雁図		73.7×44.0	絹本墨画淡彩	1幅		前期
76	児玉 希望	1898-1971	黎明	1934(昭和9)	191.0×178.0	絹本彩色	1面	第15回帝展	
77	児玉 希望		空山春生	1940(昭和15)	69.0×83.0	絹本彩色	1面	本山幽篁堂当代画跡竹器木刻展	
78	児玉 希望		ひるさがり	1942(昭和17)	75.0×85.0	絹本彩色	1面	第6回児玉画塾展	
79	和高 節二	1898-1990	鳥を聴く		67.2×48.3	紙本彩色	1幅		
80	和高 節二		雌鳥		36.1×44.5	紙本彩色	1面		
81	丸木 スマ	1875-1956	椿のころ	1954(昭和29)	106.0×136.3	紙本彩色	1幅		
82	塩出 英雄	1912-2001	双鳩	1936(昭和11)	168.5×186.5	紙本彩色	2曲1隻		
83	児玉 希望	1898-1971	鷺	1958(昭和33)頃	65.5×71.5	絹本墨画	1面		
84	丸木 位里	1901-1995	雨乞	1939(昭和14)	172.0×140.0	紙本彩色	1面	第1回丸木位里・松田玉珊画展	
85	奥田 元宋	1912-2003	柳鷺	1940(昭和15)	175.7×175.7	絹本彩色	1面	第4回児玉希望画塾展	
86	平山 郁夫	1930-2009	波斯黄堂旧址	1974(昭和49)	166.7×367.4	紙本彩色	6曲1隻	第59回院展	後期
87	平山 郁夫		広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	6曲1隻	第64回院展	前期

第4室 工芸

特別陳列－伊万里柿右衛門様式

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
88			重要文化財 伊万里色絵花弁文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
89			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
90			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		

生きものたちが憩う楽園

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
91	シャフリシャブス		刺繍布(スザニ)	1870頃	240.0×166.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
92	スラタ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	214.0×148.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
93	六角 紫水	1867-1950	花を弄ぶ人 婦人用二重文箱	1932(昭和7年)	高8.1 22.2×14.5	漆・金・銀・平文・彫刻・蒔絵・螺鈿	1合	第13回帝展	

狩猟・遊牧騎馬民族

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
94	ホラーサーン地方		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径19.5	鑄造・彫金	1合		
95	サルイク族トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀前半	幅17.5	銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	1点		
96	西ヨムート族トルクメン人		男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀後半	幅13.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
97	テケ族トルクメン人		男児用背飾り	19世紀	幅14.5	銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石	1点		
98	サルイク族トルクメン人		馬具一式(アラガイシユ)	18世紀		銀	1式		
99	北ヨムート族トルクメン人		馬用額飾り	18-19世紀	幅27.0	銀	1点		
100	インド西部		茜地狩猟文更紗	17-18世紀	429.3×90.8	木綿・木版媒染	1枚		

動物を探そう

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
101	ホラーサーン地方		青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5 径70.5	青銅・銀鑄造	1口		
102	テケ族トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
103	西ヨムート族トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀	1点		
104	西ヨムート族トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀中期	幅12.5	銀	1点		
105	ヨムート族トルクメン人		首胸飾り(ブカウ)	19世紀中期	高31.5 幅26.0	銀	1点		
106	ウズベク人		刺繍靴	20世紀初頭	19.3×14.8	刺繍	1点		
107	エルサリ族トルクメン人		刺繍靴	19世紀中期	20.4×13.5	木綿布・絹刺繍・金糸刺繍・裏にプリント木綿	1点		
108	ウズベク人、ラカイ		刺繍靴	20世紀初頭	17.1×12.5	刺繍	1点		
109	ウズベク人、ラカイ		刺繍靴	20世紀初頭	21.0×14.5	刺繍	1点		
110	ウズベク人、ラカイ		刺繍靴	19世紀中頃	18.0×14.8	刺繍	1点		

空想の動物

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
111	加藤土師萌	1900-1968	磁器香炉「瑞鳳」	1933(昭和8)	高21.5 幅32.4	磁器・色絵	1合	第14回帝展	
112	清水 南山	1875-1948	波に龍文水瓶	1937(昭和12)	高33.0 径13.0	銀・彫金	1合	第1回新文展	
113	三代金城一國斎	1829-1915	獅子牡丹高盛絵菓子器	1886(明治19)	総高16.5 19.0×19.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		

鳥

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
114	藤本 能道	1919-1992	草白釉釉描加彩月下木乃葉づく陶管	1991(平成3)	高13.3 32.4×32.4	磁器・色絵	1合		
115	西ヨムート族トルクメン人		耳飾り(グラク・ハルカ)	18世紀	径6.1	銀	1対		

昆虫

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
116	三代金城一國斎	1829-1915	ホタル高盛絵線香入		長18.3 径2.2	漆・高盛絵	1点		
117	鯉城 政廣		高塗果蟲菓子盆		高2.5 径34.2	木・漆・高盛絵	1枚		

生命を育む水辺

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
118	藤田 喬平	1921-2004	飾宮「湖上の花」	1989(昭和64/平成1)	高26.5 23.2×23.2	ガラス	1合		

魚貝類

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
119	今井 政之	1930-	「禅鯰」壺	1977(昭和52)	高45.0 胴径39.5	陶器	1口		
120	黒田 辰秋	1904-1982	耀貝螺鈿細篋	1981(昭和56)	高19.0 15.5×30.5	木・漆螺鈿	1合		

爬虫類(?)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
121	加守田章二	1933-1983	彩色壺	1971(昭和46)	高14.0 径27.0	陶器	1口		
122	鯉江 良二	1938-	韓国手壺	1996(平成8)	25.5×25.0×25.5	陶器	1口		
123	ジャファバイ・ヨムーン ト族トルクメン人		耳飾り(グラク・ハルカ)	19-20世紀	高8.0 9.5	銀	1点		

季節と生きもの

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
124	植松 抱民	1845-1899	萩に雁研出蒔絵 文台		高12.5 35.6×61.2	木・漆・金・銀・蒔絵	1基		
125	植松 抱民		桜に燕研出蒔絵 硯箱		高4.3 4.0×21.0	木・漆・金・銀・蒔絵	1合		

どんな生きものかな?

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
126	鈴木 治	1926-2001	神経質な鳥	1975(昭和50)	高18.7 20.0×12.6	青白磁・(台)木	1点		

人間の友達-猫

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
127	清水 南山	1875-1948	猫金具付 小児用手提	1939(昭和14)	(猫)高4.7 幅7.8	銀・彫金・布	1点	第3回新文展	

秋の所蔵作品展

小特集 児玉希望 伝統と革新の日本画

平成29年 9月13日(水)～12月24日(日)

前期：9月13日(水)～10月29日(日)

後期：10月31日(火)～12月24日(日)

彫刻展示スペース カタチに託された“こころ”をもとめて

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	圓鏝 勝三	1905-2003	星羅	1960(昭和35)	高223×140×78	木・彩色	1体	第3回新日展	
2	圓鏝 勝三		白い花	1982(昭和57)	高120×38×32	木・銅板・彩色	1体	第12回日影展	
3	水船 六洲	1912-1980	はつ雁抄	1980(昭和55)	高155×57×51.5	木・彩色	1体	第4回改組日展	
4	峯田 敏郎	1939-	人間のためのモニュメント	1969(昭和44)	高230×80×57	木(桂)	1体	第43回国展会友優作賞	
5	平櫛 田中	1872-1979	西山逍遥			木・彩色	1体		
6	山本 常一	1910-1994	夜の標	1975(昭和50)	高43×20.8×21.4	ブロンズ	1体	第39回新制作協会展	
7	芥川 永	1915-1998	たき火する人 (かえる人/たき火) (石膏原型)	1977(昭和52)	高83×40×41	石膏	1体		
8	芥川 永		たき火する人 (かえる人/たき火)	1977(昭和52)	高84×42×23	ブロンズ	1体	第41回新制作協会展	

第1室 1920-30年代の芸術運動

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
9	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界	1922	35.6×28.0他	紙・木版・リトグラフ・ ドライポイント	12面のうち3面		前期 後期
10	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
11	カジミール・マレーヴィチ	1878-1935	シュプレマティズムの素描(二つの正方形)	1916-17	16.2×11.0	鉛筆・紙	1面		前期
12	カジミール・マレーヴィチ		2点の素描-人物と教会堂	1929	17.0×18.5	鉛筆・紙	1面		後期
13	パウル・クレー	1879-1940	ある音楽家のための楽譜	1924	25.7×31.1	インク・水彩・紙	1面		
14	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘	1937	31.8×42.3	エッチング・シュガーア クアチント・紙	2面		前期
15	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Iの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガーア クアチント・紙	1面		後期
16	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガーア クアチント・紙	1面		後期
17	マックス・ベックマン	1884-1950	ヤールマルクト	1921	56.5×41.3	紙・インク・ドライポイ ント・版画集	10面のうち3面		前期 後期
18	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938(1983铸造)	高47.5×24×23	ブロンズ	1点		
19	クルト・シュヴィッターズ	1887-1948	メルツ 394、ピナコテーク	1922	17.9×14.3	紙・コラージュ	1面		前期
20	エル・リシツキー	1890-1941	プロウソ：第1ケストナー版画集	1923	60.5×43.5	リトグラフ・紙	6面のうち3面		前期 後期
21	マン・レイ	1890-1976	埃の培養	1920	21.1×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
22	マン・レイ		贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
23	マン・レイ		カサッティ侯爵夫人/わが魂の肖像	1922	29.2×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
24	マン・レイ		偽りの涙	1930-32	22.0×29.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
25	マックス・エルンスト	1891-1976	流行に榮あれ、芸術よ墜ちろ	1919	45.5×33.0	紙・リトグラフ	8面のうち4面		前期
26	ジョージ・グロス	1893-1959	群盗	1922	70.0×51.0	リトグラフ・紙	9面のうち5面		後期
27	ジョアン・ミロ	1893-1983	スペインを救え	1937	31.0×24.5	ステンシル・紙	1面		後期
28	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
29	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
30	アレクサンダー・コルダー	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
31	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8×10.7×5.7	ブロンズ・弦	1点		
32	ヘンリー・ムーア		ティルベリー・シェルター	1941	40.0×56.0	板・グワッシュ・クレヨン	1面		前期
33	バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		
34	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

第2室 所蔵品でたどる日本の洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
35	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
36	小林 千古		母ワキ肖像	1899(明治32)	68.0×51.0	油彩・画布	1面		
37	小林 千古		やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
38	南 薫造	1883-1950	白壁の農家	1908(明治41)	75.5×101.0	水彩・紙	1面		
39	南 薫造		坐せる女	1909(明治42)	35.5×25.3	水彩・紙	1面		
40	南 薫造		犬吠岬	1909(明治42)	16.5×23.9	水彩・紙	1面		
41	藤田 嗣治	1886-1968	婦人像(リオ)	1932(昭和7)	81.2×65	油彩・画布	1面		
42	長谷川利行	1891-1940	田端変電所	1923(大正12)	23.8×32.6	油彩・板	1面	第4回新光洋画会展	
43	田中 万吉	1895-1945	サントロッセの漁港	1924-27(大正13~昭和2)頃	65.0×81.0	油彩・画布	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
44	岡田 謙三	1902-1982	北市場	1942(昭和17)	104.2×87.0	油彩・画布	1面	第29回二科展	
45	山路 商	1903-1944	ピエロ		33.8×24.6	油彩・紙	1面		
46	檜山 武夫	1906-1932	陸橋	1931(昭和6)	91.0×91.0	油彩・画布	1面		
47	鬨 光	1907-1946	花園の虫	1942(昭和17)頃	26.7×34.8	油彩・板	1面		
48	鬨 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
49	鬨 光		風景	1944(昭和19)	41.0×52.5	油彩・画布	1面		
50	塚本 張夫	1907-1990	ロシアの少女(マガ嬢)	1936(昭和6)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
51	太田 忠	1908-1971	雪景	1965(昭和40)	173.3×130.3	油彩・画布	1面	第29回新制作協会展	
52	池田 快造	1911-1944	運河	1940(昭和15)	181.8×227.3	油彩・画布	1面	第27回光風会展特賞	
53	松本 竣介	1912-1948	車庫近く	1942(昭和17)	33.4×45.5	油彩・画布	1面		
54	寺田 政明	1912-1989	月光によりて	1943(昭和18)	31.8×40.9	油彩・板	1面	新人画会第2回展	
55	岡部 繁夫	1912-1969	作品NR	1963(昭和38)	181.8×227.5	油彩・画布	1面		
56	菅井 汲	1919-1996	DIABLE PARTANT POUR LA LUNE(月へ旅立つ鬼)	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
57	菅井 汲		NATIONAL ROUTE(ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		
58	金光 松美	1922-1992	FRAGMENT	1958(昭和33)	152.8×152.8	油彩・画布	1面		
59	高橋 秀	1930-	かにかのある静物	1960(昭和35)	110.0×134.0	油彩・画布	1面		
60	入野 忠芳	1939-2013	裂鱗(れっか) 75-6	1975(昭和50)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	第11回現代日本美術展大賞	

第3室 小特集 児玉希望 伝統と革新の日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
61	児玉 希望	1898-1971	晩春	1925(大正14)	122.5×433.0	絹本彩色	8曲1隻	第6回帝展	
62	児玉 希望		雨後	1930(昭和5)頃	72.0×86.0	絹本墨画彩色	1幅		
63	児玉 希望		暮春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面	第11回帝展	
64	児玉 希望		荆軻	1939(昭和14)	各153.5×69.0	絹本彩色	2面	第10回戊辰会展	前期
65	児玉 希望		忠貞双絶	1941(昭和16)	各149.5×68.0	絹本彩色	2面	第5回児玉画塾展	後期
66	児玉 希望		溪谷の秋	1943(昭和18)	153.5×69.0	絹本彩色	1面	第7回児玉画塾展	
67	児玉 希望		室内	1952(昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色	1面	第8回日展	
68	児玉 希望		静物(卓上のりんご)	1952(昭和27)	58.0×51.0	絹本彩色	1面		
69	児玉 希望		春のバンガロー	1954(昭和29)	65.0×87.0	絹本彩色	1面	第5回日月社展	
70	児玉 希望		松林	1957(昭和32)頃	各153.0×354.0	紙本墨画	6曲1双		
71	児玉 希望		モンブラン	1957(昭和32)頃	104.7×117.0	絹本彩色	1面		
72	児玉 希望		山	1960(昭和35)	97.0×134.5	絹本彩色	1面	第3回新日展	
73	児玉 希望		新水墨画十二題 梵唄	1959(昭和34)	43.0×73.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
74	児玉 希望		新水墨画十二題 海禾	1959(昭和34)	57.0×67.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
75	児玉 希望		新水墨画十二題 緑塊	1959(昭和34)	55.0×72.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
76	児玉 希望		新水墨画十二題 白崖	1959(昭和34)	68.5×58.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
77	児玉 希望		新水墨画十二題 雲似	1959(昭和34)	59.0×69.5	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
78	児玉 希望		新水墨画十二題 滴律	1959(昭和34)	67.0×64.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
79	児玉 希望		新水墨画十二題 地紋	1959(昭和34)	60.0×63.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	後期
80	児玉 希望		新水墨画十二題 徑	1959(昭和34)	59.0×72.5	絹本墨画	1面	新水墨画展	後期
81	児玉 希望		新水墨画十二題 銀漾	1959(昭和34)	46.0×50.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	後期
82	児玉 希望		新水墨画十二題 日午	1959(昭和34)	40.0×56.0	絹本・金泥墨画	1面	新水墨画展	後期
83	児玉 希望		新水墨画十二題 金漾	1959(昭和34)	60.0×49.0	絹本・墨画金泥	1面	新水墨画展	後期
84	児玉 希望		新水墨画十二題 円鎖	1959(昭和34)	54.5×66.0	絹本・墨画金泥	1面	新水墨画展	後期
85	児玉 希望		涅槃	1963(昭和38)	156.0×150.5	絹本彩色	1面	第6回新日展	
86	児玉 希望		瀾	1964(昭和39)	156.0×135.5	絹本彩色	1面	第7回新日展	
87	児玉 希望		降魔	1969(昭和44)	200.5×167.0	絹本彩色	1面	第1回改組日展	
88	児玉 希望		フォロ・ロマーノ1	1957(昭和32)	24.5×17.0	彩色・紙	1枚		前期
89	児玉 希望		ルブンベル連峯	1957(昭和32)	23.0×63.5	彩色・紙	2枚続		前期
90	児玉 希望		霧のベニスにて	1957(昭和32)	23.0×31.5	彩色・紙	1枚		前期
91	児玉 希望		コモ1	1957(昭和32)	17.0×24.5	彩色・紙	1枚		後期
92	児玉 希望		モンブラン	1957(昭和32)	20.5×93.0	彩色・紙	3枚続		後期
93	児玉 希望		マルセイユ1	1957(昭和32)	22.5×30.0	彩色・紙	1枚		後期
94	奥田 元宋	1912-2003	秋巒真如	1977(昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第9回改組日展	
95	平山 郁夫	1930-2009	受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1面	第47回院展	

第4室 インドの古更紗

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
96			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
97			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
98			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
99	インド、グジャラート		藍地人物文更紗	15-16世紀	106.2×562.2	木綿・手描媒染・防染	1枚	インドネシア渡り	
100	インド		藍地葉文更紗	15-16世紀	254.4×93.0	木綿・手描防染	1枚	インドネシア渡り	
101	インド、コロマンデル海岸		茜地花入格子文更紗	17-18世紀	266.5×110.4	木綿・手描媒染・防染	1枚	インドネシア渡り	
102	インド、コロマンデル海岸		菱形染分パッチワーク文更紗	17-18世紀	324.8×231.4	木綿・手描媒染・防染	1枚	インドネシア渡り	
103	インド西部		白地花入蜀江文更紗	17-18世紀	191.8×150.0	木綿・木版媒染	1枚		
104	インド南部		茜地変格子文金更紗	20世紀初頭	237.5×113.0	木綿・木版媒染・印金	1枚	インドネシア、スマトラで印金	
105	インド、デカン		紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗	18世紀	172.0×136.8	木綿・描繪金更紗	1枚		
106	インド東海岸、マテリバトナム		クリシュナ神・ゴビ文金更紗	18世紀	179.0×106.8	木綿・手描染に金箔媒染防染	1枚		
107	インド、デカン		紺地聖牛文金更紗	18世紀	110.0×111.2	木綿・描繪金更紗	1枚		
108	インド、デカン		印金聖牛文裝飾布	19世紀初頭	161.5×144.8	絹・金箔置	1枚		
109	インド、ラジャスタン		赤地ゴビ聖牛文更紗	19世紀末	247.6×140.4	木綿・銅版捺染	1枚		

冬の所蔵作品展

小特集 六角紫水 広島から飛翔した漆工のパイオニア

新収蔵品紹介

平成30年1月2日(火)～4月15日(日)

前期：1月2日(火)～2月25日(日)

後期：2月27日(火)～4月15日(日)

彫刻展示スペース 菅井汲－創作の秘密

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	菅井 汲	1919-1996	オブジェ(筆)	1957(昭和32)	高25.0×6.0×2.0	油彩・筆	1体		
2	菅井 汲		オブジェ(筆)	1960(昭和35)	高35.0×10.0×5.0	油彩・筆	1体		
3	菅井 汲		オブジェ(筆)	1960(昭和35)	高35.0×10.0×5.0	油彩・筆	1体		
4	菅井 汲		雲(試刷)	1961(昭和36)	76.5×57.0	石版・紙	1面		
5	菅井 汲		小さな雲(試刷)	1963(昭和38)	45.5×38.0	石版・紙	1面		
6	菅井 汲		黒	1964(昭和39)	高34×17×17.8	ブロンズ	1体		
7	菅井 汲		大都会の夜(試刷)	1966(昭和41)	57.5×40.0	石版・紙	1面		
8	菅井 汲		出発前に	1966(昭和41)	22.3×12.3×5.5	ニッケル	1体		
9	菅井 汲		無題	1966(昭和41)	36.0×27.0×10.0	シルクスクリーン・アク リルブロック	1体		
10	菅井 汲		無題	1970(昭和45)頃	36.0×27.0×10.0	シルクスクリーン・アク リルブロック	1体		
11	菅井 汲		出発前に	1970(昭和45)頃	42.5×31.1	石版・紙	1面		
12	菅井 汲		男	1971(昭和46)	高35.0×40.0×18.0	ブロンズ	1体		
13	菅井 汲		ランプ	1972(昭和47)	8.7×6.2	オフセット印刷・紙	1組		
14	菅井 汲		空間C	1984(昭和59)	76.5×56.7	石版・紙	1面		
15	菅井 汲		LOVERS E	1988(昭和63)	81.0×60.0	石版・紙	1面		
16	菅井 汲		S 10月	1989(昭和64/平成1)	81.2×59.8	石版・紙	1面		
17	菅井 汲		方向転換	1991(平成3)	89.6×60.3	石版・紙	1面		
18	菅井 汲		カドミウム・レッド11、12	1992(平成4)	250.0×264.0	アクリル・画布	1面		
19	菅井 汲		Sのマーケットなど36件一括の内 標識S	1996(平成8)	高32.0×7.7×7.7	木・塗料	1体		
20	菅井 汲		無題(モビール)		高40.0×29.0	木・糸	1体		
21	菅井 汲		無題(モビール)		高68.0×54.0	木・糸	1体		
22	菅井 汲		椅子3脚一括の内 椅子		高49.0×34.0×33.0	木	1脚		
23	菅井 汲		椅子3脚一括の内 椅子		高44.0×39.0×36.0	木	1脚		
24	菅井 汲		椅子3脚一括の内 椅子		高45.0×35.5×34.5	木	1脚		
25	菅井 汲		オブジェ(絵具の塔)		高85.5×23.5×11.0	木・チューブ	1体		
26	菅井 汲		オブジェ(赤い椅子)		高79.0×34.0×34.0	絵具・椅子	1体		
27	菅井 汲		S		高88.0×42.0	塗料・木・ホース	1体		
28	菅井 汲		S		高148.0×57.0×37.0	ミクスト・メディア	1体		
29	菅井 汲		S		高113.0×72.0× 55.0h113.0×72.0×55.0	ミクスト・メディア	1体		
30	菅井 汲		U字型立体		高14.0×20.0×13.0	ミクスト・メディア	1体		
31	菅井 汲		U字型立体		高14.0×20.0×13.0	ミクスト・メディア	1体		
32	菅井 汲		黄と赤		120.0×100.0	アクリル・画布	1面		

第1室 西洋美術に見る人物表現

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
33	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
34	ジョルジュ・ルオー	1871-1958	受難(パッション)	1935-1936(1939発刊)	45.5×34.5	アクアチント・紙	17面のうち8面		前期 後期
35	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1点		
36	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 I	1936	24.0×12.0	インク・パステル・紙	1面		前期
37	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 II	1936	25.0×15.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		前期
38	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 III	1936-38	22.0×14.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		前期
39	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 IV	1937	21.0×16.0	インク・鉛筆・紙	1面		後期
40	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作 I	1937	33.0×24.0	インク・鉛筆・紙	1面		後期
41	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作 II	1937	31.0×22.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		後期
42	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンピトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
43	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
44	トーマス・ハート・ベントン	1889-1975	禁酒法の取締り	1925頃	40.6×45.7	油彩・画布	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
45	エル・リツッキー	1890-1941	太陽の征服	1922	53.2×45.5	リトグラフ・紙	10面のうち5面		前期後期
46	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
47	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
48	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	61.0×61.0	油彩・画布	1面		
49	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
50	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983~84铸造)	高125.7	ブロンズ	1点		
51	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

第2室

戦後日本画の断面

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
52	川崎 小虎	1886-1977	四季草花野菜絵巻(冬)	1946(昭和21)頃	39.4×442.4	紙本彩色	1巻		場面替
53	川崎 小虎		七面鳥	1954(昭和29)	112.0×104.0	紙本彩色	1面		
54	金島 桂華	1892-1974	水の月	1950(昭和25)	88.0×124.0	紙本彩色	1面	第6回日展	
55	猪原 大華	1897-1980	梅	1957(昭和32)	187.5×128.5	紙本彩色	1面	第13回日展	
56	猪原 大華		白梅	1968(昭和43)	203.2×134.7	紙本彩色	1面	第11回新日展	
57	児玉 希望	1898-1971	山下橋付近	1956(昭和31)	60.0×72.5	紙本金泥墨画	1面	第7回日月社展	
58	和高 節二	1898-1990	崖	1951(昭和26)	139.6×117.2	紙本彩色	1面	第7回日展	
59	黒光 茂樹	1909-1993	青桐	1953(昭和28)	206.0×168.0	紙本彩色	1面	第9回日展	
60	船田 玉樹	1912-1991	残照	1956(昭和31)	236.0×206.0	紙本彩色	1面	第41回院展	
61	塩出 英雄	1912-2001	婦女図	1946(昭和21)	各170.5×169.0	紙本彩色	2曲1双	第31回院展	
62	塩出 英雄		石組	1967(昭和42)	61.0×81.0	紙本彩色	1面	第5回巧友会展	
63	奥田 元宋	1912-2003	夕映	1947(昭和22)	153.0×169.0	絹本彩色	2曲1隻	第3回日展	
64	奥田 元宋		筒石	1957(昭和32)	123.0×47.0	画布彩色	1面	第10回日本美術協会展	
65	奥田 元宋		嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色	1面	第2回新日展	
66	山中 雪人	1920-2003	裸婦	1956(昭和31)	89.0×59.0	紙本彩色	1面	第11回春の院展	
67	山中 雪人		七曜日	1958(昭和33)	各26.5×24.0	紙本彩色	7面		
68	山中 雪人		座	1962(昭和37)	89.0×63.5	紙本彩色	1面	第17回春の院展	
69	水谷 愛子	1924-2005	濤声	1955(昭和30)	138.0×181.0	紙本彩色	1面	第40回院展	
70	平山 郁夫	1930-2009	群像	1957(昭和32)	202.0×158.0	紙本彩色	1面	第42回院展	

日本洋画－小林千古・鬘光－

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
71	小林 千古	1870-1911	静物	1900-01(明治33-34)頃	23.3×32.5	油彩・板	1面		
72	小林 千古		茶器と梅花	1903(明治36)	18.5×65.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
73	鬘 光	1907-1946	静物	1942(昭和17)	45.1×37.6	油彩・画布	1面		
74	鬘 光		窓辺の花(百合)	1944(昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1面		

第3室 新収蔵品紹介

日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
75	南 薫造	1883-1950	水辺2	1902-07(明治35-40)頃	25.5×20.2	水彩・紙	1面		
76	南 薫造		自画像3	1902-07(明治35-40)頃	33.2×24.7	油彩・画布	1面		
77	南 薫造		赤衣の男	1907(明治40)頃	74.3×60.6	油彩・画布	1面		
78	南 薫造		モルトン村	1908(明治41)	25.3×17.6	水彩・紙	1面		
79	南 薫造		ロンドンにて	1908(明治41)	35.5×25.3	水彩・紙	1面		
80	南 薫造		風景3	1907-10(明治40-43)頃	36.3×53.1	水彩・紙	1面		
81	南 薫造		公園	1909(明治42)	34.9×24.9	水彩・紙	1面		
82	南 薫造		マドラス	1916(大正5)	24.5×15.8	水彩・紙	1面		
83	南 薫造		ダーズリン2	1916(大正5)	25.3×35.5	水彩・紙	1面		
84	南 薫造		アグラ2	1916(大正5)	33.1×23.8	水彩・紙	1面		
85	南 薫造		ファテプール・シクリ	1916(大正5)	17.8×25.4	水彩・紙	1面		
86	南 薫造		印度民家図	1916(大正5)頃	48.8×69.0	墨・紙(軸装)	1面		
87	南 薫造		火を囲む人々		63.4×87.7	水彩・紙	1面		
88	南 薫造		元安川		25.0×18.3	水彩・紙	1面		
89	南 薫造		印度ベナーレス郊外景	1920(大正9)	58.7×68.7	墨・紙(軸装)	1面		
90	南 薫造		農村風景2		45.3×60.5	油彩・画布	1面		
91	南 薫造		震災風景2	1923(大正12)	24.1×32.7	水彩・紙	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
92	南 薫造		海水浴	1924(大正13)	24.2×32.6	水彩・紙	1面		
93	南 薫造		林本源邸	1930(昭和5)	23.3×31.5	水彩・紙	1面		
94	南 薫造		台湾風景	1930(昭和5)	32.0×48.2	水彩・紙	1面		
95	南 薫造		テニスコート		50.2×60.7	油彩・画布	1面		
96	南 薫造		岸辺1		34.0×51.1	水彩・紙	1面		
97	南 薫造		岸辺2		32.3×48.8	水彩・紙	1面		
98	南 薫造		少女3		33.3×24.1	油彩・板	1面		
99	南 薫造		アトリエからの眺め		27.0×21.7	油彩・板	1面		
100	南 薫造		軽井沢	1938(昭和13)頃	21.3×27.1	油彩・板	1面		
101	南 薫造		西湖 白堤	1939(昭和14)	24.2×32.6	水彩・紙	1面		
102	南 薫造		杭州 西湖	1939(昭和14)	28.8×39.0	水彩・紙	1面		
103	南 薫造		水辺2		37.5×45.8	油彩・板	1面		
104	南 薫造		船倉内の演芸会を覗く	1939(昭和14)	38.8×28.7	水彩・紙	1面		
105	南 薫造		鄱陽湖畔	1939(昭和14)	39.7×52.8	水彩・紙	1面		
106	南 薫造		山寺1	1942(昭和17)	32.7×48.3	水彩・紙	1面		
107	南 薫造		雪の日	1947(昭和22)	28.3×38.5	水彩・紙	1面		
108	南 薫造		瀬戸内風景		23.8×33.3	油彩・板	1面		
109	小早川篤四郎	1893-1959	裸婦		97.0×130.4	油彩・画布	1面		
110	国盛 義篤	1897-1951	曇日の水辺	1932(昭和7)	72.8×60.3	油彩・画布	1面	第10回春陽会展	
111	山路 商	1903-1944	たまねぎ	1933(昭和8)頃	23.8×33.0	油彩・板	1面		
112	山路 商		れもん	1943(昭和18)	15.5×21.9	油彩・板	1面		

工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
113			西王母図大徳利	明治時代	高63.5 径21.0	陶器	1口		
114	鯉城 政廣		堆彩漆菓子鉢 付取箸		(菓子鉢)高30 径23.8 (取箸)長26.5	木・漆・堆彩漆	1枚・膳		
115	高中 惣六	1899-1974	乾漆根来輪花盛器		径32.2×高11.8	乾漆・髹漆	1口		
116	高中 惣六		乾漆青貝平鉢		径40.5×高3.8	乾漆・螺鈿	1口		
117	高中 惣六		ネジ梅蒔絵中棗		径6.75×高6.3	漆・金・蒔絵	1合		
118	高中 惣六		むさし野中棗		径6.9×高6.9	漆・金・蒔絵	1合		
119	高中 惣六		宝珠形秋草蒔絵香合		径6.0×高2.0	漆・金・貝・蒔絵	1合		
120	高中 隆司	1926-2012	乾漆菊形盛器		径35.8×高7.0	乾漆・髹漆	1口		
121	高中 隆司		乾漆果物盛器	1949(昭和24)	径33.2×高12.2	乾漆・螺鈿	1口	第1回広島県美術展 広島県知事賞	
122	高中 隆司		中棗 春の山		径7.8×高7.8	漆・金・蒔絵・漆絵	1合		
123	高中 隆司		乾漆盛器		径41.5~42.0	乾漆・漆絵・金箔	1口		

第4室 小特集 六角紫水 広島から飛翔した漆工のパイオニア

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
124	六角 紫水	1867-1950	蒔絵草花図菓子銘々盆	1911(明治44)	(各)高1.0 13.5×14.6	漆・蒔絵・螺鈿	10枚		
125	六角 紫水		螺鈿入梨子地蒔絵会席家具	1919(大正8)	(本膳) 36.7×36.6×18.2ほか	漆・蒔絵・螺鈿	1式		
126	六角 紫水		煙草盆	1919(大正8)	高1.0 20.5×29	漆・螺鈿・蒔絵	1口		
127	六角 紫水		国宝富麻寺蔵 俱利伽羅龍蒔絵経箱(模写)	1922(大正11)	高17.0 31.0×18.7	漆・蒔絵	1合		
128	六角 紫水		国宝厳島神社蔵 松喰鶴蒔絵小唐櫃(模写)	1922(大正11)	高23.2 25.0×32.0	漆・蒔絵	1対		
129	六角 紫水		梅蒔絵手箱付属小箱	1924(大正13)	高2.7 7.9×6.1	漆・蒔絵・平文	5合		
130	六角 紫水		末金鏤蓬菜硯筥		高5.0 24.3×21.1	漆・蒔絵・練描き	1合		
131	六角 紫水		線のすさび忍冬図香盆	1924(大正13)	高1.9 径25.5	漆・漆絵・彫刻	1枚		
132	六角 紫水		螺鈿宝石小箱	1925(大正14)	高4.0 10.5×8.7	漆・螺鈿・彫刻	1合		
133	六角 紫水		刀筆文線の行通ひ香盆(双鳥之図丸盆)	1927(昭和2)	高1.9 径25.5	漆・漆絵・彫刻	1枚		
134	六角 紫水		線のすさび麒麟文香盆	1927(昭和2)	高1.9 径25.5	漆・漆絵・彫刻	1枚		
135	六角 紫水		線のすさび松島図香盆	1927(昭和2)	高1.9 径25.2	漆・漆絵・彫刻	1枚		
136	六角 紫水		線のすさび鳥と波文香盆	1927(昭和2)	高1.9 径25.5	漆・漆絵・彫刻	1枚		
137	六角 紫水		刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	漆・漆絵・彫刻	1枚	第8回帝展	
138	六角 紫水		銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱	1927(昭和2)	高10.2 27.2×15.2	漆・銀平文・蒔絵 漆絵・彫刻・螺鈿	1合	第9回帝展	
139	六角 紫水		理想界の図蒔絵手箱	1929(昭和4)	高9.5 35.1×26.0	漆・金・銀平文・蒔絵 平文・螺鈿	1合	第10回帝展	
140	六角 紫水		刀筆銀文叢竹の図硯箱	1929(昭和4)	高4.8 24.2×18.5	漆・銀・平文	1合	第10回帝展	
141	六角 紫水		暁天獅子吼号の図蒔絵手箱	1930(昭和5)	高8.8 31.5×24.0	漆・蒔絵・彫刻	1合	第11回帝展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
142	六角紫水		刀筆春日野軸盆	1930(昭和5)	高2.1 34.0×15.9	漆・蒔絵・彫刻	1枚	第12回帝展	
143	六角紫水		花を弄ぶ人 婦人用二重文具箱	1932(昭和7)	高8.1 22.2×14.5	漆・金・銀・平文 彫刻・蒔絵・螺鈿	1合	第13回帝展	
144	六角紫水		海辺と湖辺の図小衝立	1933(昭和8)	82.2×69.5	漆・蒔絵・彫刻・鉛	1基	第14回帝展	
145	六角紫水		大空と洋海の驚異手箱	1934(昭和9)	高15.3 30.2×23.3	漆・蒔絵・平文	1合	第15回帝展	
146	六角紫水		日支戦況の図額面	1940(昭和15)	56.1×97.4	漆・アルミニウム	1面	紀元二千六百年奉祝展	
147	六角紫水		銀平文香合「秋津洲」		高1.8 径7.0	漆・銀・平文	1合		
148	六角紫水		福槌		6.3×4.2×8.7	漆・螺鈿	1点		
149	六角紫水		刀筆銀文額 松に鳥		17.3×23.4(額23.3×29.4)	漆・銀・刀筆	1面		
150	六角紫水		漆絵鉢 万両		高4 径28	漆・漆絵	1口		
151	六角紫水		刀筆アルマイド文初秋之橋畔香合		高1.4 径6.5	漆・アルミニウム蒔絵	1合		
152	六角紫水		吉祥図硯箱		高3.0 20.8×16.2	漆・アルミニウム平文	1合		
153	六角紫水		虎図板		27.2×24.1×0.7	漆・アルミニウム平文	1面		
154	六角紫水		菊図	1915(大正4)	120.1×28.0	紙本彩色	1幅		
155	六角紫水		神苑之朝図	1938(昭和13)	123.3×34.8	紙本墨画淡彩	1幅		
156	六角紫水		新撰模様乃志を李(上・下)	1896(明治31)	24.3×17.3	紙・多色刷	2冊		
157	東京帝国大学文学部		楽浪	1930(昭和5)	35.5×28	紙・多色刷	1冊		

Ⅲ 普及活動

1 第5回新県美展(第69回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。平成25年度には、より広く県民が参加できる美術展をめざして、新たに映像系部門を加え、また、入館者人気大賞を実施するなどの見直しを行い、「新県美展」としてリニューアルした。

本年度は、応募点数1,094点のうち490点が入選。うち、受賞作品56点(大賞7点、優秀賞13点、奨励賞36点)。これら入選作品に加え、第5回広島県ジュニア美術展大賞受賞者8名の作品や、県内における制作指導や美術文化の発展に貢献した招待作家20名の作品を展示した。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞7点が選定された。

主催

広島県

共催

三次市教育委員会、竹原市教育委員会、府中市教育委員会、福山市、世羅町教育委員会、庄原市教育委員会、三原市教育委員会、江田島市教育委員会、中国新聞社

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会場	会期	観覧者数
広島市(中央展)	広島県立美術館	6月24日(土)～7月9日(日)	6,168人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月19日(水)～7月23日(日)	262人
竹原市	たけはら美術館	7月26日(水)～7月30日(日)	326人
府中市	府中市生涯学習センター	8月16日(水)～8月20日(日)	446人
福山市	ふくやま美術館	8月23日(水)～8月27日(日)	1,025人
世羅町	世羅町せらにシタウンセンター	8月30日(水)～9月3日(日)	210人
庄原市	庄原市田園文化センター	9月6日(水)～9月10日(日)	318人
三原市	三原リージョンプラザ	9月13日(水)～9月17日(日)	503人
江田島市	中町公民館	11月3日(金)～11月5日(日)	454人

合計 9,712人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎坪島 輝明 ○土居充希央 佐々木 博 安道 隆之	◎渡辺 百樹 小野 平治 藤田 克美 三好千世子	○石井スヅ江 宮澤 孝恵 田村 末人 広川ツヤコ	○加藤 宣也 大橋 福子 常光 知美	○池田 睦代 石原 詠子 大澤 正夫
彫塑系	◎的場 由樹	○林田 真弓	佐々木一則		
工芸系	◎高瀬 安芸 久保田寛子 ◎林 琴鳳 藤本 青楓 傳 五美	○唐川 昌己 岡本詩穂里 ○芦田 良子 八谷 香雪	○松本 千里 ○藤井 峯子 横田 豊泉	村上 武司 徳永 桜仙 景山 雪心	永田 雅治 片山 翠江 児玉 裕美
写真系	◎井出端修司 坂井 勝三 山田 興亜	○鍵本 裕次 今田 淳	○三上 哲弘 田辺 秀樹	家本 薫一 有田 文恵	生信 守之 竹本 照美
デザイン系	◎藤原 茂美	○中久保 涼	山崎佐知子	松浦 真菜	
映像系	○笠井 美里	戸倉 才徳			

2 第6回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催している。このたびの第6回展では、応募作品3,334点のうち883点が入選。うち、受賞作品140点(大賞8点、優秀賞28点、奨励賞104点)。また、共同制作には10点の出品があった。

主催

広島県

共催

広島県教育委員会、中国新聞社

助成

公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

会場

広島県立美術館 地階県民ギャラリー

会期

平成29(2017)年12月16日(土)～12月24日(日)

入館料

無料

観覧者数

5,144人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎伊藤 佑斗	◎宮崎 龍斗	◎中本 帆香	◎湯浅 和花	○森川楓羽歌
	○山田 直輝	○寺谷 好晴	○松井智紗都	○西川 京冶	○橋垣 幸弥
	○濱田 明莉	○吉田 麻紗	○赤繁 咲多	○伊藤 勇人	○酒井璃梨杏
	○茶谷 真帆	○土井 主税	○田頭 矢絵	原田 椋大朗	原山 豪
	藤田 紗那	出来 楓真	樋口 千寧	黒飛 葵	角甲 智範
	中村 柚杏	大和 観月	南 璃音	前原 由佳	松葉 聖音
	福井 皐月	伊坂虎之伸	河口 華蓮	高崎鈴桜風	倉岡 海凜
	原 悠梨	菊池愛衣奈	栢 大晴	木建 咲志	黒川 祐聖
	崎前 陸	大歳 佳穂	平木 陽向	柳田 歩実	馬場 直人
	尾形 悠翔	小川 充貴	上野さえら	宮本 英凜	煤賀 彩実
	竹口 歩夢	赤繁 咲耶	手島 菜月	榎本 陸斗	村上 綸
	藤本康太朗	兒玉 夏実	世羅結愛乃	中常 瑛太	新田 晟
	氏見 清美	野村菜々美	賀上 巧真	宗岡 美來	田頭 詩織
	眞子 遥翔	小川 恭加	木村 有希		

彫刻系	◎新庄光太郎 吉田綾香	○小田原月子 神戸日向子	○藤川翼希	出水彩菜	中原侑大
工芸(工作)系	◎伊藤勇人 ○有末晟 久保豪士 伊藤佑斗 原琉旺	○升屋嘉人 岡田龍虎 市場海沙 甲斐暉一 瀬戸大輝	○藤田向陽 片島未結 升谷大香 福本龍 辰巳歩夢 橋本侑弥	○馬場直人 樽本龍空 岡田優生 林青空 西村美桜 樋川沙希	○辰巳琳乃助 山本ほのか 松川煌紀 坂村渉太 神田優作
写真系 デザイン系	◎田中舞雪 ◎佐藤時雨 ○宮地桜 平岡はるな 豊島拓明 平野寛治 山本悠愛星 黒田美月 松本那由花	○横宮まつり ○小池広恵 ○森本結菜 黒田梨央 田村有莉咲 枝吉遥仁 亘望花 久保田愛美	○市場海沙 小池仙恵 三浦理沙 松村妃那 藏田彩加 豊田華野 藤井あかり	○田井優希 梶田孝道 片田倫平 茂津目こころ 高野智聖 大村まい 吉田こころ	○井上梨央 川崎理子 中井翔太 埜井菜津実 岩下紘大 山根沙采 岩田仙利

3 復活 そして未来へーいのちを守るために私たちにできること

本展は、広島を拠点に活動を続ける書家・刻字作家の安達春汀(1948-)が、地震からの復興を祈念する刻字作品《復活》等を熊本県へ寄贈するのを契機に、広島県が推進する「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の広報事業として開催された。

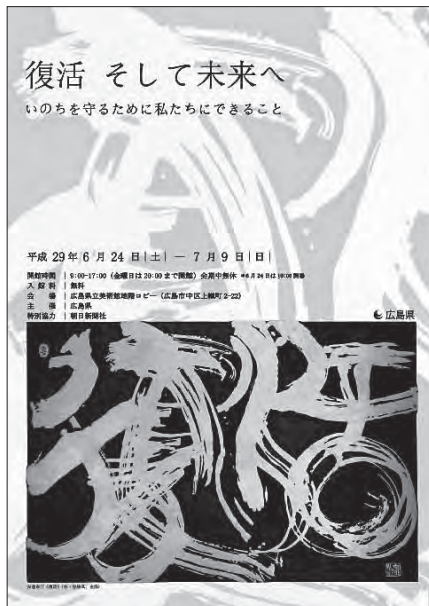
熊本に寄贈される3点の作品を含む14点の刻字作品と、熊本地震の記録写真(朝日新聞社撮影)、さらに防災グッズや啓発パネルなどを鑑賞してもらうことで、来館者に未来に向けて命について考え、それを守るための想像力の重要性を訴えた。(本展担当者：神内 有理)

主 催／広島県

特別協力／朝日新聞社

入 館 料／無料

会 期／平成29(2017)年6月24日(土)～7月9日(日)



4 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月17日(木)	9:30～10:30	開講あいさつ・講座①「美術館と学芸活動」
	10:30～11:00	オリエンテーション
	11:00～12:30	講座②「縮景園について」(講話と見学)
	13:30～14:00	ミニ企画展実習①(概論)
	14:00～15:00	展覧会见学①「所蔵作品展」
8月18日(金)	9:30～12:00	作品取扱い実習・調書作成①(絵画)
	13:00～15:00	作品取扱い実習・調書作成②(工芸)
	15:00～16:00	講座③「美術館の展示環境」
8月19日(土)	9:30～10:30	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)
	10:30～12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00～14:00	ミニ企画展実習②(企画-討議)
	14:00～16:00	ミニ企画展実習③(企画-立案)
8月20日(月)	9:00～9:30	所蔵作品展展示替え見学
	9:30～12:00	ミニ企画展実習④(企画-集約)
	13:00～16:00	ミニ企画展実習⑤(企画-制作)
8月21日(火)	9:30～12:00	ミニ企画展実習⑥(企画-発表準備)
	13:00～14:30	ミニ企画展実習⑦(発表)
	15:00～16:00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

尾道市立大学、安田女子大学、滋賀県立大学、県立広島大学、大谷大学、比治山大学、高知大学、広島市立大学、広島大学、金沢美術工芸大学(申込順、計15名)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、仮想の展覧会を企画することにより、美術館業務を体験することをねらいとする。受講生は4班に分かれ、グループワークにより、今回は、当館に隣接する国の名勝・縮景園と関連づけて双方の魅力を相乗させる展覧会を、当館所蔵作品5点程度により企画・構成し、あわせて、広報イメージ・子ども向けワークシート・関連イベント等を考案し、プレゼンテーションを行うという課題にとりくんだ。各班から提案された展覧会タイトル及び展示作品は次のとおり。

①	庭園散歩 -うつろう季節- 児玉希望《晩春》、塩出英雄《双鳩》、丸木位里《竹林》、奥田玄宋《秋巒真如》、奥田元宋《柳鷺》
②	花・橋・門・庵(か・きょう・もん・あん) -縮景園からみる所蔵作品展- 金島桂華《牡丹》、植松抱民《桜に燕研出蒔絵硯箱》、南薫造《白い橋》、《四川漢代画像碑拓本 擊鼓》、塩出英雄《草庵》
③	Shu Hiroshima -朱 広島- 和高節二《秋日和》、北田和広《巖島 86神無月》、今井政之《泥彩魚紋壺》、奥田元宋《秋巒真如》、中村徳守《火まつり》、宮本竹逕《紅葉》
④	水の美術館 -形ないもの美しさ- 狩野派《西湖》、奥田元宋《待月》、宮永利吉《水中花》、木村芳郎《碧釉躍窺文鉢》

(本研修担当者：宮本真希子)

5 学校・地域との連携事業 「美術作品鑑賞授業・出張講座」

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進する。

(1) 美術作品鑑賞授業

当館の所蔵作品を学校に持ちこみ、教師・学芸員が連携して鑑賞授業を行うことにより、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高める機会を提供する。なお、この実施校の決定には、県内の各学校に問合せを行ない、近隣に美術館がなく、日頃美術作品に触れる機会の少ない学校を優先するなど、地域や校種のバランス、過去の開催実績を考慮した。

実施日程

① 広島県立東城高等学校

実施月日：平成29年12月18日(月) 11:45~12:35、13:35~14:25

目標：多様な作品から、作者の意図、表現の工夫を感じとる。

内容：ワークシートを用いた個人鑑賞のあと、全体で作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあった。制作背景を知った上で、自身が作品についてどう思うか、どの作品が好きかを再考した。

進行：隅川明宏、森万由子(当館学芸員)

鑑賞作品：平山郁夫《みのり》、児玉希望《梵唄(新水墨画十二題)》《滴律(新水墨画十二題)》、高橋秀《海》、熊倉順吉《曲面のレコード・ラック》

参加人数：計38名(1年生、3年生)

② 呉市立荘山田小学校

実施月日：平成30年2月5日(月) 10:45~11:30

目標：多様な作品から、作者の意図、表現の工夫を感じとる。

内容：ワークシートを用いた個人鑑賞のあと、全体で作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあった。制作背景を知った上で、自身が作品についてどう思うか、どの作品が好きかを再考した。

進行：隅川明宏、森万由子(当館学芸員)

鑑賞作品：平山郁夫《みのり》、松井正《瓦焼風景》、高橋秀《海》、佐藤敏《レッドマスク》、八木一夫《先導者》

参加人数：計62名(6年生)

(2) 出張講座

本講座は、県立美術館の学芸職員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の2つのコースを設定した。

A コレクション・トーク 当館所蔵作品や地域文化などをテーマに行う講座(17講座)

B 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を紹介する講座(3講座)

平成29年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	開催日	会場	講師	講座タイトル	参加(人)
1	8月19日(土)	広島市大塚公民館	角田	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展	30
2	10月12日(木)	広島市三入公民館	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	60
3	10月28日(土)	広島市船越公民館	福田	ブータン～しあわせに生きるためのヒント展のみどころとブータンのティータイム	24
4	11月12日(日)	広島市中央公民館	福田	ブータン～しあわせに生きるためのヒント展のみどころとブータンのティータイム	30
5	11月23日(木)	大柿地区歴史資料館・江田島市灘尾記念文庫	宮本	漆芸家・六角紫水	40
6	11月27日(月)	広島市東野公民館	福田	ブータン～しあわせに生きるためのヒント展のみどころとブータンのティータイム	20
7	12月5日(火)	広島県立広島中央特別支援学校	福田	文化体験 シルクロードのパラオを作って食べよう！	6
8	3月17日(土)	広島市八幡公民館	福田	文化体験 シルクロードのパラオを作って食べよう！	15

(全8会場／参加合計225人)

6 新規作成ワークシート・リスト

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。

平成29年度は新たに8種類のワークシートを作成し、合わせて323種となった。

No.	所蔵品番号	作者名・制作地	作品名	制作年	材質・技法
1	O-525	山路 商	男(眠れる)	不詳	油彩・画布
2	O-813	山路 商	たまねぎ	1933(昭和8)頃	油彩・板
3	W-276	南 薫造	元安川	不詳	水彩・紙
4	O-789	南 薫造	自画像	1902~1907頃	油彩・画布
5	HD-071	高中 惣六	乾漆根来輪花盛器	不詳	乾漆・髹漆
6	HD-072	高中 惣六	乾漆青貝平鉢	1961(昭和36)頃	乾漆・螺鈿
7	HD-077	高中 惣六	乾漆果物盛器	1949(昭和24)	乾漆・螺鈿
8	HD-078	高中 惣六	中棗 春の山	1970(昭和45)頃	漆・蒔絵・漆絵

ワークシート作例

たまねぎ
1933(昭和8)年頃
油彩・板



山路 商 1900(明治33)年~1944(昭和19)年
新潟県に生まれ、広島市で活躍しました。新しい描き方を探しつつながら、自分や世の中をしっかりとめることを大切にして描きました。

広島県立美術館
Hirosaki Museum of Art

身近な野菜のたまねぎが主役のご作品。作者はよく見て、大切なところほどくに丁寧に描いています。

例えば、たまねぎの皮や葉。さわった感じが伝わってきませんか。

どのような手ざわりか、想像してみましょう。

※例1：白い、黒い、まっ黒な部分、黒い、しわつた、乾いた、葉いなど
※例2：アツアツ、コンコン、カタカタ、サクサク、ウルウルなど

「まはせむきかー」 | 160 | 感じたと書こう
「葉はせむきかー」 | 162 | 感じたと書こう

たまねぎのそばには濃い影が落ちています。明るい光が当たって、皮のツヤや透明感も感じられそう。

白と黒のリズミカルな模様を背景に、仲良く話をしているようなたまねぎの顔を見せや。元氣よく伸びた葉などが、生き生きとした印象を写し取る作品です。

元安川
水彩・紙



南 薫造 1883(明治15)年~1950(昭和25)年
現在の呉市安浦町に生まれ、イギリスに留学しました。ヨーロッパの絵を見て勉強し、作品を描きました。

広島県立美術館
Hirosaki Museum of Art

乾漆果物盛器
昭和24(1949)年
乾漆・螺鈿



高中 陸司 1896(大正15)年~2012(平成24)年
広島市で生まれました。第二次世界大戦から復員後、21歳の時から父・惣六のもとで漬物を学びました。父の志と技術を受け継いで、三原市で漬物師として活動し、広島に漬物文化を普及する上で大きく貢献しました。

広島県立美術館
Hirosaki Museum of Art

7 学校等による利用状況

No.	団体名	住所	利用年月日	生徒	その他(引率・ガイドなど)	計
1	広島県立大学	広島市南区宇品東1丁目1-71	平成29年4月16日	14	1	15
2	島根県立矢上高等学校	島根県邑智郡邑南町矢上3921	4月18日	76	7	83
3	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	4月20日	24	4	28
4	広島市立長東小学校	広島市安佐南区長東4-15-1	4月28日	93	4	97
5	岡山市立高松中学校	岡山市北区高松原古才30番地	4月28日	18	2	20
6	岩国市立川下中学校	山口県岩国市中津町2-22-25	5月10日	30	0	30
7	鹿児島県いちき串木野町立串木野中学校	鹿児島県いちき串木野市日出町700	5月10日	54	0	54
8	岡山県矢掛町立矢掛中学校	岡山県小田郡矢掛町矢掛2957番地	5月11日	71	0	71
9	岡山県赤磐市立磐梨中学校	岡山県赤磐市沢原149	5月11日	54	0	54
10	防府市立小野小学校	山口県防府市大字奈美633-1	5月11日	29	4	33
11	浅口市立金光中学校	岡山県浅口市金光町占見61-1	5月11日	17	0	17
12	県立広島大学 庄原キャンパス(生命・環境学部)	広島県庄原市七塚町5562番地	5月12日	55	7	62
13	岡山県赤磐市立高陽中学校	岡山県赤磐市上市51番地	5月19日	6	1	7
14	岡山県笠岡市立笠岡東中学校	岡山県笠岡市西大島新田15-3	5月19日	20	1	21
15	広島修道大学経済科学部	広島市安佐南区大塚東1-1-1	5月20日	12	1	13
16	岡山大学 教育学部	岡山市北区津島中3丁目1番1号	5月20日	33	6	39
17	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目10-33	5月25日	15	0	15
18	岩国市立灘中学校	山口県岩国市藤生町2-25-1	5月25日	28	0	28
19	美浜町立美浜中学校	福井県三方郡美浜町麻生38-10	5月25日	15	2	17
20	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2丁目5-80	5月26日	79	1	80
21	兵庫県赤石市立大観小学校	兵庫県明石市大明石町2丁目8番30号	6月1日	4	0	4
22	岐阜県笠松中学校	岐阜県羽島郡笠松町弥生町1	6月1日	25	0	25
23	県立広島学園	東広島市八本松町原10844	6月1日	10	0	10
24	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	6月14日	17	2	19
25	明石市立二見西小学校	兵庫県明石市二見町西二見383-34	6月15日	25	0	25
26	岡山県真庭市立蒜山中学校	岡山県真庭市蒜山下福田468	6月16日	12	0	12
27	広島市立国泰寺中学校	広島市中区国泰寺町1-1-41	7月7日	2	2	4
28	呉市立仁方中学校	呉市仁方棧橋通16-8	7月14日	5	1	6
29	学校法人三幸学園 飛鳥未来高等学校 広島キャンパス	三原市中之町2丁目14-1	7月19日	22	1	23
30	広島修道大学	広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1	7月21日	30	0	30
31	岩国市立麻理布中学校	山口県岩国市室の木町2-7-11	7月25日	15	1	16
32	熊野町立熊野東中学校	広島県安芸郡熊野町萩原1丁目23-1	7月28日	15	2	17
33	廿日市中学校美術部	広島県廿日市市桜尾3丁目9-1	7月29日	21	0	21
34	三原市立第二中学校	三原市中之町2丁目14-1	7月31日	13	2	15
35	竹原市立竹原中学校	竹原市下野町2230番地	8月1日	14	1	15
36	三原市立第三中学校	三原市宮沖3丁目15-2	8月1日	13	2	15
37	安田女子大学	広島市安佐南区安東6丁目13番1号	8月1日	35	0	35
38	広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東一丁目14-1	8月2日	20	0	20
39	広島市立五日市南中学校	広島市佐伯区海老園4丁目2-21	8月2日	13	1	14
40	田布施町立田布施中学校	山口県熊毛郡田布施町下田布施1050番地4	8月21日	34	2	36
41	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	8月25日	18	3	21
42	佐賀吉田中学校	佐賀県嬉野市嬉野町大字吉田3016	9月6日	10	0	10
43	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	9月8日	5	1	6

No.	団体名	住所	利用年月日	生徒	その他(引率・ガイドなど)	計
44	広島市立伴小学校(10:30～)	広島市安佐南区伴中央1丁目7-2	9月11日	97	3	100
45	広島市立伴小学校(13:30～)	広島市安佐南区伴中央1丁目7-2	9月11日	99	3	102
46	府中市立栗生小学校	広島県府中市栗柄町3056	9月15日	42	3	45
47	光市立大和中学校	山口県光市大字塩田3333-1	9月16日	7	2	9
48	香川大学写真部	香川県高松市幸町1番1号	9月22日	27	0	27
49	如水館中学校	広島県三原市深町1183	9月28日	35	2	37
50	名張市立名張中学校	三重県名張市丸之内15	9月28日	17	0	17
51	名古屋市立緑高等学校	愛知県名古屋市緑区旭出1丁目1104番地	10月5日	23	1	24
52	名古屋市立緑高等学校	愛知県名古屋市緑区旭出1丁目1104番地	10月6日	38	1	39
53	北広島町立大朝中学校	山県郡北広島町大朝4683-1	10月11日	19	3	22
54	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	10月11日	31	2	33
55	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	10月13日	33	2	35
56	千代田公民館(教育委員会)	広島県山県郡北広島町有田1220-1	10月15日	12	2	14
57	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	10月16日	30	2	32
58	石田あさきトータルファッション専門学校	広島市中区八丁堀8-4	10月17日	12	0	12
59	広島大学附属小学校	広島市南区翠1丁目1-1	10月17日	62	4	66
60	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	10月20日	21	2	23
61	尾道市立大学	広島県尾道市久山田町1600番地2	10月21日	40	0	40
62	岡山県里庄町立里庄中学校	岡山県浅口郡里庄町大字里見2535番地	10月27日	44	0	44
63	穴吹デザイン専門学校	広島市南区松川町2-24	11月10日	42	0	42
64	東京都立大泉桜高等学校	東京都練馬区大泉町3-5-7	11月14日	37	2	39
65	島根県立益田翔陽高等学校総合学科	島根県益田市高津3-21-1	11月16日	38	3	41
66	浜松学芸高校	静岡県浜松市中区下池川町34-3	11月22日	27	1	28
67	広島市立口田小学校	広島市安佐北区口田南2丁目7-2	11月22日	8	4	12
68	広島市立亀山小学校	広島市安佐北区亀山5丁目11-1	11月27日	142	6	148
69	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4丁目9-1	11月28日	102	4	106
70	広島市立三田小学校	広島市安佐北区白木町大字三田2649	11月29日	13	1	14
71	広島市立井原小学校	広島市安佐北区白木町井原825	11月29日	11	2	13
72	石田あさきトータルファッション専門学校	広島市中区八丁堀8-4	12月15日	9	2	11
73	広島修道大学人文学部	広島市安佐南区大塚東1丁目1-1	12月16日	8	0	8
74	広島市立仁保中学校	広島市南区仁保一丁目56-1	12月17日	13	1	14
75	広島市立段原小学校	広島市南区的場町2丁目4-19	12月21日	62	2	64
76	中川学園広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	平成30年1月16日	8	1	9
77	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	1月26日	10	1	11
78	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	1月29日	23	2	25
79	小井出ファッションビューティー専門学校 高校課程	広島市南区金屋町1-20	3月8日	67	7	74
80	呉市立音戸中学校	広島県呉市音戸町南隠渡4丁目15-1	3月15日	12	0	12
計				2,442	133	2,575

8 県民ギャラリー利用状況

平成29年4月3日～平成30年4月2日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	8団体	48日	38,983人
入場無料の場合	89団体	541日	82,274人
計	97団体	589日	121,257人

平成29年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第80回 自由美術展	4/3～4/10	1 2 3 4 5	絵画	105点	無料	716
田坂仁志こと 塵芥時路展	4/10～4/17	1	絵画、他(小説、詩)	62点	無料	246
広島国際芸術交流展	4/10～4/17	2	絵画、工芸、書	105点	無料	771
“公募2017” 第38回 関西総美会展	4/10～4/17	3 4 5	絵画、彫刻、工芸、書、写真	121点	無料	1,131
2017・日本伝統工芸手描・型友禅・日本刺繍 作品展	4/17～4/24	1 2	工芸、他(テーブル飾り)	280点	無料	695
第20回 墨韻会展	4/17～4/24	3 4	絵画、書	62点	無料	654
第13回 新展国際公募展	4/17～4/24	5	絵画、工芸、写真	32点	無料	564
第20回 全陶展 広島支部展	4/24～5/1	1	工芸	32点	無料	507
第49回 黄人展	4/24～5/1	2 3	絵画、彫塑	70点	無料	856
第3回 広島一水会展・第37回 路展	4/24～5/1	4 5	絵画	92点	無料	1,008
第29回 アートグループ「滴」展	5/1～5/8	1	絵画	30点	無料	617
第40回記念 グループ「集」展	5/1～5/8	2	絵画	33点	無料	1,100
第57回 新制作広島グループ展	5/1～5/8	3 4 5	絵画、彫塑	55点	無料	1,017
第59回 新協展	5/8～5/15	1 2 3 4 5	絵画、工芸	131点	一般 600円 高大 500円 中学生以下無料	2,493
第65回 光陽展 広島準本展	5/15～5/22	1 2 3 4 5	絵画	107点	一般 600円 高校生以下無料	1,290
日本画五人展	5/22～5/29	1	絵画	30点	無料	933
第56回 大調和会 広島巡回展	5/22～5/29	2 3	絵画	81点	無料	2,376
第52回 広島県写真連盟展	5/22～5/29	4 5	写真	252点	無料	1,443
第103回 光風会展	5/29～6/5	1 2 3 4 5	絵画、工芸	176点	当日一般 600円 当日高大 500円 中学生以下無料	9,051
第25回 グループ宙遊展	6/5～6/12	1	絵画	35点	無料	618
第20回 広島県伝統工芸能面展	6/5～6/12	2	工芸	41点	無料	364
第24回 ROSÉ 野ばら会作品展	6/5～6/12	3 4	絵画	102点	無料	695
沼本秀昭×才田博之 作品展	6/5～6/12	5	絵画、他	32点	無料	349
第26回 波の会展	6/12～6/19	1 2 3 4 5	絵画、工芸	223点	無料	1,952
第57回 日本版画会展(広島会場)	7/17～7/24	1 2 3	絵画	148点	無料	1,392
守長グループ絵画展	7/17～7/24	4 5	絵画	84点	無料	576
第83回 東光展	7/24～7/31	1 2 3 4 5	絵画	157点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	4,251
第46回 MUSABI展	7/31～8/7	1	絵画、工芸、デザイン、他	17点	無料	609
第6回 新構造広島巡回展	7/31～8/7	2 3 4	絵画、工芸、写真、他	80点	無料	1,430
第107回 北翔展	7/31～8/7	5	絵画	51点	無料	654

展 覧 会 名	会期	展 示 室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
Image photograph 2017 写真展	8/7～8/14	1	写真、他(屏風)	43点	無料	413
第20回 水墨画・書道合同作品展	8/7～8/14	2 3	絵画、書	69点	無料	495
「ヒロシマ・被爆画家の見た風景、戦後生まれの画家の見た風景」展	8/7～8/14	4 5	絵画	33点	無料	657
平成29年度 広島県特別支援学校美術・工芸展	8/14～8/21	1 2	絵画、彫塑、工芸	635点	無料	551
ボーダレスアート展	8/14～8/21	3	絵画、彫塑、他(切り絵、立体)	49点	無料	848
鬼頭純平 二十歳の絵画展-明日も、いい日に-	8/14～8/21	4	絵画、書	46点	無料	1,112
第14回 むいち会展	8/14～8/21	5	絵画	43点	無料	698
第69回 毎日書道展中国展	8/21～8/28	1 2 3 4 5	書	882点	一般 600円 高校生以下無料	6,095
第31回 日洋展 広島会場	8/28～9/4	1 2 3 4 5	絵画	130点	一般当日 600円 一般前売 500円 大学生以下無料	2,784
第60回 広島県児童画連盟展	9/4～9/11	1 2	絵画、工芸、写真、他(造形)	501点	無料	1,252
第29回 クロッキー同好会 人物素描展	9/4～9/11	3	絵画	55点	無料	856
第48回 広島県日本画協会展	9/4～9/11	4 5	絵画	68点	無料	1,360
第21回 グループ「Z」水彩展	9/11～9/18	1	絵画	17点	無料	489
第63回 職美展	9/11～9/18	2 3 4	絵画、写真、書、他	208点	無料	1,071
第53回 広島形象派展	9/11～9/18	5	絵画	57点	無料	479
第45回 広島彫刻会展	9/18～9/25	1	彫塑	24点	無料	389
第38回 廣陽カメラクラブ写真展	9/18～9/25	2 3	写真	156点	無料	1,203
第36回 互の会日本画展	9/18～9/25	4	絵画	64点	無料	890
第16回 凜の会展	9/18～9/25	5	絵画	25点	無料	668
第33回 一般社団法人新興美術院広島支部展	9/25～10/2	1	絵画	18点	無料	757
第36回 中国七宝協会展と公募展	9/25～10/2	2	工芸	59点	無料	475
第51回 みのん展	9/25～10/2	3	絵画	76点	無料	473
シボリコミュニティ 第21回 合同展	9/25～10/2	4 5	工芸	59点	無料	1,018
草津絵画研究会展	10/2～10/9	1	絵画	60点	無料	675
広島から世界へ -移住の歴史と日系人の暮らし-	10/2～10/16	2	写真他(標本文書・標本・教材・DVD)	121点	無料	943
第9回 広島県水墨画作家協会展	10/2～10/9	3	書	30点	無料	1,091
第52回 グループいしがき展	10/2～10/9	4 5	絵画	108点	無料	914
第27回 風の会写真展「四季賛歌」	10/9～10/16	1	写真	52点	無料	750
第61回 三師会展	10/9～10/16	3	絵画	43点	無料	550
広島YMCA学園 2017生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	10/9～10/16	4 5	絵画、他(立体)	396点	無料	854
第31回 NOA写真展	10/16～10/23	1	写真、他(案内板)	61点	無料	826
第39回 一般社団法人二科会写真部 広島支部公募展 一般公募写真展	10/16～10/23	2 3 4 5	写真	417点	無料	1,632
第6回「木絆会」版画展	10/23～10/30	1	版画	41点	無料	498
第26回(2017年)ぐるーぶNAN作品展	10/23～10/30	2	絵画	55点	無料	513
京都造形芸術大学 通信教育部広島 学習会 第13回歩展	10/23～10/30	3	絵画	35点	無料	328
第13回 手織適塾SAORI 広島展	10/23～10/30	4	工芸	80点	無料	390
第47回 渦展	10/23～10/30	5	絵画	35点	無料	459
あいサポートアート展	10/30～11/6	1 2 3 4 5	絵画、工芸、書、他(版画、立体造形、陶芸)	402点	無料	1,491
第41回 全国高等学校総合文化祭 第49回 広島県高等学校総合文化祭書道展	11/6～11/13	1 2 3 4 5	書	280点	無料	666

展 覧 会 名	会期	展 示 室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第41回 全国高等学校総合文化祭 第49回 広島県高等学校美術・工芸展(中央展)	11/13～11/20	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン)	502点	無料	748
第34回 産経国際書展 瀬戸内展	11/20～11/27	1 2 3 4 5	書	299点	無料	1,018
第35回 ARG展	11/27～12/4	1	絵画	33点	無料	596
第48回 元陽展 広島会場	11/27～12/4	2 3 4	絵画	97点	無料	2,945
第14回 フォルマーレ展	11/27～12/4	5	絵画、彫塑	41点	無料	481
第70回 広島県児童生徒書道展	12/4～12/11	1 2 3 4 5	書	3,500点	無料	6,775
第102回 二科展(第62回 広島巡回展)	1/8～1/15	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、他(デザイン)	578点	一般 600円 高大生 400円 中学生以下無料	6,386
比治山大学短期大学部美術科 第50回 卒業制作展・第16回 修了制作展	1/15～1/22	1 2 3 4 5	絵画、工芸、他(デザイン、マンガ、映像)	112点	無料	656
第26回 広島県シルバー作品展	1/22～1/29	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	256点	無料	1,614
第71回 二紀展 第47回 広島巡回展	1/29～2/5	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	136点	一般 600円 前売団体 500円 高大生以下無料	6,633
第49回 安田女子大学書道学科 卒業制作展(併催)安田女子大学 書道学科展(1・2・3年生) 安田学園小・中・高等学校書道展	2/5～2/12	1 2 3 4 5	書	280点	無料	893
平成29年度 広島県立熊野高等学校 芸術類型 美術コース・書道コース 卒業作品展	2/12～2/19	1 2	絵画、工芸、書、他(デザイン、パネル、ポートフォリオ)	91点	無料	2,267
第9回 広島国展(絵画・工芸・版画・彫刻)	2/12～2/19	3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(版画)	67点	無料	698
ニコールクラブ広島支部 写真展	2/19～2/26	1	写真	35点	無料	555
第56回 広島大学 大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修・教育学部 造形芸術系コース修了・卒業制作展/ 論文発表会	2/19～2/26	2 3	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、論文パネル、卒業論文)	68点	無料	727
第46回 合同美術展	2/19～2/26	4 5	絵画、工芸、書、他(水墨画、つまみ絵)	120点	無料	608
第66回 書の友 全国書道展覧会	2/26～3/5	1 2 3 4 5	書	3,216点	無料	2,455
キャノンフォトクラブ広島 第7回写真展	3/5～3/12	1	写真、他(挨拶)	47点	無料	583
50周年記念 福原匠一展	3/5～3/12	2 3 4 5	絵画	90点	無料	1,359
穴吹デザイン専門学校 卒業・修了制作展 2018	3/12～3/19	1 2 3	他(デザイン)	300点	無料	627
第52回 ひろしま美術研究所展	3/12～3/19	4 5	絵画、工芸、他(立体)	240点	無料	417
第41回 広島県工芸美術作家協会展	3/19～3/26	1	工芸	19点	無料	290
太陽社45周年記念展	3/19～3/26	2 3 4	書、他(立体)	61点	無料	1,017
シード展 シード美術研究所 2017年度在籍生徒作品展	3/19～3/26	5	絵画	220点	無料	300
第5回 はんが女子展	3/26～4/2	1	絵画	50点	無料	601
第36回 彩友会展	3/26～4/2	2 3	絵画	67点	無料	858
第46回 月陽会水彩画展	3/26～4/2	4	絵画	41点	無料	666
越川道江 個展	3/26～4/2	5	絵画	31点	無料	513
合 計						121,257

9 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。そして、平成29年度は創立20年をふまえ、記念事業を施行した。

会員数 853人(個人603人 家族231人 学生8人 賛助10人 特別賛助1人)

1. 会報

発行 79号、80号、81号、82号

配布先 会員、全国の主な美術館他

2. 美術情報及び友の会ニュースの発行

・美術情報 108号、109号、110号、111号

・友の会ニュース 147号～154号

3. 所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施
特別展開催中の月曜日開館時は、14時から実施

・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施

・ギャラリーガイド実績

定時 816名(ガイド延人員 436名)

臨時(団体) 11件(鑑賞者 254名、ガイド人員 22名)

4. ボランティア・ギャラリーガイド研修

◆所蔵作品展研修(美術館と共催・展示替えの時期)

平成29年6月17日(土) 23名、8月19日(土) 20名、12月2日(土) 23名、
平成30年3月17日(土) 21名

◆研修会

◇彫刻 平成29年4月30日(日)「野外彫刻めぐり」

場所：広島中央公園及び周辺 参加者：13名

◇版画 平成29年9月9日(土)「版画－シルクスクリーン制作実習」

場所：広島市立大学芸術学部 版画工房

講師：釣谷 幸輝(広島市立大学芸術学部 講師) 参加者：17名

◇工芸 平成29年10月14日(土)「吹きガラス制作実習」

場所：ガラスの里工房

講師：ガラスの里工房スタッフ 参加者：11名

◇美術館鑑賞 平成29年11月11日(土)「有田・柿右衛門窯等見学」

場所：泉山磁石場・有田陶磁美術館・今右衛門陶磁展示場・
柿右衛門古陶磁参考館・佐賀県立九州陶磁文化館

参加者：8名

5. 第64回日本伝統工芸展広島展こども鑑賞コース「出張授業」の支援

平成30年2月19日(月)広島市立段原小学校



『色絵馬』No.79



『色絵馬』No.80



『色絵馬』No.81



『色絵馬』No.82

講師：菅坂 安子(七宝)

参加児童：59名、支援人員：3名

6. 特別展関連・講演会（美術館と共催）

◆平成29年5月13日(土)「英国 ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」

演題：「技法を読み解く－ターナーからモネへ－」

講師：森 直義(森絵画保存修復工房 代表)

参加者：102名

◆平成29年10月1日(日)「レオナルド・ダ・ヴィンチと『アンギアーリの戦い』展

演題：「タヴォラ・ドーリアとの対話」

講師：五木田 聡(東京富士美術館 館長)

参加者：191名

◆平成29年11月5日(日)「ブータン しあわせに生きるためのヒント」

演題：「ブータンと50年」

講師：西岡 里子

参加者：90名

◆平成30年1月5日(金)「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展」

演題：「遊べる浮世絵－こんなに楽しい江戸文化－」

講師：藤澤 紫(國學院大学 教授)

参加者：110名

◆平成30年3月3日(土)「第64回日本伝統工芸展」

演題：「超絶技巧の遺伝子－明治工芸から現代へ－」

講師：山下 裕二(明治学院大学 教授)

参加者：121名

7. 「もっと知ろうシリーズ」(美術館と共催)

◆第45回 平成29年5月23日(火)

演題：「小林和作の絵画技法 ～スケッチと油絵」

講師：角田 新(広島県立美術館 主任学芸員)

参加者：32名

◆第46回 平成29年10月21日(土)

演題：「1920～30年代の西洋美術と広島県立美術館のコレクション」

講師：河本 真理(日本女子大学 教授)

参加者：46名

◆第47回 平成29年11月25日(土)

演題：「甲斐庄楠音の『横櫛』をめぐる」

講師：倉橋 清方(元呉市立美術館 館長)

参加者：31名

8. 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇ひろしま美術館「ヴラマンク展－絵画と言葉で紡ぐ人生－」

平成29年12月9日(土)

ギャラリートーク：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)

参加者：53名

◇はつかいち美術ギャラリー「-新見美術館所蔵-『華麗なる日本画コレクション』」

平成30年3月4日(日)

ギャラリートーク：山田 博規(はつかいち美術ギャラリー学芸員)

参加者：41名

◆日帰り美術鑑賞旅行

◇なかた美術館「フランスの画家たち」

新居浜市美術館「東京富士美術館コレクション 美の東西」

・1班 平成29年5月19日(金) 参加者：39名

・2班 平成29年5月21日(日) 参加者：30名

◇兵庫県立美術館「エルミタージュ美術館展」

平成29年10月6日(金) 参加者：32名

◇ふくやま美術館「日本画モダニスト 堂本印象と門下の精鋭たち」

呉市立美術館「開館35周年記念 呉市立美術館のあゆみ展」

はつかいち美術ギャラリー「くらべてみよう ウッドワンコレクション展」

平成30年2月2日(金) 参加者：33名

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇「京阪神の美術鑑賞と国立文楽劇場」 1泊2日

平成29年6月13日(火)～6月14日(水)

訪問美術館：あべのハルカス美術館、京都国立博物館、河井寛次郎記念館

参加者：44名

9. 広島県立美術館友の会 20周年記念事業

◆広島県立美術館コレクションガイド

(1) 広島県立美術館の協力を得て、平成30年3月「広島県立美術館コレクションガイド」を上梓し、友の会会員に配布した。

(2) 今後、広島県立美術館において県民の皆様を対象に、代表的な所蔵作品の紹介・解説などに活用して頂くために、「広島県立美術館コレクションガイド」500冊と印刷に関わる資料を贈呈した。

(3) 贈呈式 平成30年2月23日(金)

広島県立美術館から千足館長以下4人の館員、友の会から竹内会長と理事・監事たち10人が出席して贈呈式が行われた。

◆広島県立美術館友の会20年誌

「広島県立美術館友の会20年誌～美術館とともに歩んだ20年」を刊行した。



あかがねミュージアム



IV 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 311,757名		
所蔵作品展 入館者数 84,954名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920～30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
特別展 入館者数 226,803名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
英国 ウェールズ国立美術館所蔵ターナーからモネへ 入館者数 25,435名	ウェールズ国立美術館のコレクションより、19～20世紀初頭にかけて英仏で活躍した画家たちによる珠玉の作品70点余りを展観した。	平成29年4月1日～5月28日
広島県主催事業 第5回新県美展 (第69回広島県美術展) 入館者数 6,168名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,094点 大賞 7点、優秀賞 13点、奨励賞 36点 入選数 490点	平成29年6月24日～7月9日
アードマン・アニメーションズ設立40周年記念 ひつじのショー展 入館者数 59,940名	イギリスのアードマン・アニメーションズが制作したクレイ・アニメーション「ひつじのショー」。牧場を舞台に活躍するショーと仲間たちを描いたユーモアあふれる本作をはじめ、同社が手がけた作品を、巨大なセットやパペット、映像やカラースケッチなどで紹介した。	平成29年7月15日～8月27日
レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 入館者数 91,163名	後の芸術家に大きな影響を与えたレオナルド・ダ・ヴィンチの大壁画《アンギアーリの戦い》。この壁画の中心部を16世紀に模写した《タヴォラ・ドーリア》(日本初公開)を中心に、模写や派生作品、レオナルドにまつわる資料を展示した。	平成29年9月5日～10月22日
ブータン しあわせに生きるためのヒント 入館者数 17,989名	幸せの国」として知られる、ヒマラヤ山脈南側に位置するブータン王国。日本・ブータン外交関係樹立30周年を記念し、ブータン王国から日本初公開の美術作品・文化資料約140点を通じ、ブータンの伝統や文化、その世界観や価値観を紹介した。	平成29年11月2日～12月24日
広島県主催事業 第6回広島県ジュニア美術展 入館者数 5,144名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成29年12月16日～12月24日
くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展 入館者数 12,809名	歌川国芳・歌川広重などの「子ども絵」や親子の情愛を描く風俗画・物語絵、「おもちゃ絵」などを紹介した。	平成30年1月5日～2月12日
第64回日本伝統工芸展広島展 入館者数 8,155名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品311点で紹介した。	平成30年2月23日～3月11日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 809名		
(195名)	「風景が輝く時：ターナーからモネへ」 講師：千足 伸行(本展監修者、当館館長)	平成29年4月1日(14:00～)
(102名)	「技法を読み解くーターナーからモネへー」 講師：森 直義(森絵画保存修復工房代表)	平成29年5月13日(13:30～)
(191名)	「タヴォラ・ドーリアとの対話」 講師：五木田 聡(東京富士美術館館長)	平成29年10月1日(13:30～)
(90名)	「ブータンと50年」 講師：西岡 里子	平成29年11月5日(13:30～)
(110名)	「遊べる浮世絵ーこんなに楽しい江戸文化ー」 講師：藤澤 紫(本展監修者、國學院大学教授、国際浮世絵学会常任理事)	平成30年1月5日(13:30～)
(121名)	「超絶技巧の遺伝子ー明治工芸から現代へ」 講師：山下 裕二(明治学院大学教授)	平成30年3月3日(13:30～)

事業名	事業内容	実施期間
平山郁夫連続セミナー 87名	「平山郁夫絵画の原点」をテーマにして連続セミナーを開催した。	
(50名)	「シルクロードでの35年」 講師：小島 康誉(佛教大学内ニヤ遺跡学術研究機構代表、新疆ウイグル自治区政府顧問、浄土宗僧侶)	平成29年9月30日 (13:30～)
(37名)	「敦煌よりみた東アジアの源流」 講師：荒見 泰史(広島大学大学院総合科学研究科教授、広島大学敦煌学プロジェクト研究センター代表)	平成29年10月7日 (13:30～)
ギャラリートーク 1,337名	特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
207名 (28名) (19名)	ターナーからモネへ展 当館学芸員 山下 寿水	平成29年4月7日 (11:00～) (18:00～) 4月28日
(38名) (11名)		(11:00～) (18:00～) 5月12日
(43名) (9名)		(11:00～) (18:00～) 5月26日
(38名) (21名)		(11:00～) (18:00～)
394名 (105名) (55名)	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 当館主任学芸員 角田 新 スライドトーク 会場：地階講堂	平成29年9月8日 (11:00～) (18:00～) 9月22日
(61名) (53名)	スライドトーク 会場：地階講堂	(11:00～) (18:00～) 10月6日
(60名)	スライドトーク 会場：地階講堂	(11:00～) 10月20日
(60名)	スライドトーク 会場：地階講堂	(11:00～)
218名 (20名) (10名) (50名) (5名) (32名) (8名) (32名) (13名) (18名) (30名)	ブータン展 当館学芸課長 福田 浩子、当館学芸員 隅川 明宏	平成29年11月3日 11月10日 11月17日 11月24日 12月1日 12月8日 12月15日 12月22日 12月23日 12月24日
124名 (18名)	遊べる浮世絵展 当館主任学芸員 藤崎 綾	平成30年1月12日 1月19日 (11:00～) (18:00～)
(40名) (20名) (28名) (8名) (10名)		1月26日 2月2日 2月9日

事業名	事業内容	実施期間
	334名 日本伝統工芸展	
	(25名) 神内 有理(当館学芸員)	平成30年2月24日
	(50名) 高月 國光(木工)	2月25日
	(70名) 神内 有理(当館学芸員)	3月3日
	(35名) 栗根 仁志(七宝)	3月4日
	(68名) 今田 拓志(陶芸)	3月10日
	(86名) 金城 一国齋(漆芸)	3月11日
	60名 新潟美展	
	- 中村 譲(絵画系)	平成29年6月24日
	- 斉藤 克幸(デザイン系)	6月24日
	- 一鍬田 徹(彫塑系)	6月24日
	- 藤村 満恵(書系)	6月24日
	- 倉内 啓(工芸)	6月24日
	103名 所蔵作品展	
	(15名) 角田 新(当館主任学芸員)	平成29年4月21日
	(25名) 山下 寿水(当館学芸員)	平成29年7月21日
	(33名) 神内 有理(当館学芸員)	平成29年10月13日
	(30名) 「小特集 六角紫水によせて」 講師：宮本 真希子(当館学芸員)	平成30年2月2日
美術講座	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
	377名	
	(73名) 「光の表現—ターナーからモネへ—」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成29年5月20日 (13：30～)
	(63名) 「マクロとミクロでみるブータンの工芸」 講師：福田 浩子(当館学芸課長)	平成29年11月23日 (13：30～)
	(100名) 「ブータンの片面縫取織の秘密」 講師：工藤 いづみ(手織作家)	平成29年12月2日 (10：00～)
	(141名) 「ブータンの民族衣装とヒマラヤの暮らし」 講師：久保 淳子(ヤクランド)	平成29年12月16日 (13：30～)
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
	178名	
	21名 ターナーからモネへ展	
	(21名) 「水辺の風景を描こう」 講師：難波 平人(広島大学名誉教授)	平成29年4月22日
	15名 ブータン展	
	(15名) 「ほほえみの花」 講師：松尾 真由美(美術家)	平成29年11月11日
	142名 日本伝統工芸展	
	(7名) 「ギャラリートークに挑戦しよう！」 講師：福田 浩子(当館学芸課長)、神内 有理(当館学芸員)	平成30年2月24日 (11：00～)
	(30名) (13：00～)	
(45名) 「謎解きワークショップ 怪盗64世あらわる」 講師：神内 有理(当館学芸員)、隅川 明宏(当館学芸員)	平成30年2月23日 平成30年2月24日	
(20名)		
(40名)	平成30年3月4日	

事業名	事業内容	実施期間
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
1,220名		
880名	ひつじのショーン展	
300名	ひつじのショーンとの握手会	平成29年7月22日
(50名)		(9:30~)
(50名)		(12:00~)
(50名)		(15:00~)
		7月23日
(50名)		(9:30~)
(50名)		(12:00~)
(50名)		(15:00~)
580名	上映会「映画ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～」	平成29年8月4日
(200名)		(11:00~)
(200名)		(13:30~)
(180名)		(16:00~)
265名	日本伝統工芸展	
52名	木工Day Wood work events	平成30年2月25日
(10名)	茶話会(焙じ茶) [縮景園茶室 清風館]	(13:00~)
(42名)	制作実演[3階ロビー]講師：高月 國光	(15:00~)
48名	七宝Day Enamel events	平成30年3月4日
(11名)	茶話会(珈琲)	(13:00~)
(37名)	制作実演 講師：粟根 仁志	(15:00~)
75名	陶芸Day Ceramic work events	平成30年3月10日
(13名)	茶話会(珈琲)	(13:00~)
(62名)	制作実演 講師：今田 拓志	(15:00~)
90名	漆芸Day Lacquer work events	平成30年3月11日
(12名)	茶話会(抹茶)	(13:00~)
(78名)	制作実演 講師：金城 一国斎	(15:00~)
75名	ウェブレポーター	
(22名)	ターナーからモネへ展	平成29年4月14日
(14名)	ひつじのショーン展	平成29年7月21日
(13名)	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展	平成29年9月8日
(16名)	ブータン展	平成29年11月3日
(8名)	遊べる浮世絵展	平成30年1月12日
(2名)	日本伝統工芸展	平成30年2月23日
コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
2,775名		
1,575名	ロビーコンサート	
(120名)	演奏者：竹本 直子、城本 朝子、河越 香織	平成29年5月20日
(105名)	演奏者：石原有希子 他	7月1日
(120名)	演奏者：エリザベト音楽大学	7月24日
(130名)	演奏者：広島文化学園大学	8月19日
(150名)	演奏者：佐崎 明宏、道田 伸久、道田 奈美	9月16日
(125名)	演奏者：エリザベト音楽大学	11月11日
(195名)	演奏者：三島 良子	11月25日
(120名)	演奏者：川東 陽華、岡野 志保	11月26日
(80名)	演奏者：広島文化学園大学	12月16日
(205名)	演奏者：若岡 史子、福島 由美、森岡 奏山	平成30年1月13日
(85名)	演奏者：広島文化学園大学	2月3日
(140名)	演奏者：エリザベト音楽大学	3月10日

事業名	事業内容	実施期間
430名	ターナーからモネへ展	
430名 (300名) (130名)	「さくらコンサート」 演奏：蔵川瑠美(バイオリン)マーティン・スタンツェライト(チェロ)、野村涼子(ピアノ)	平成29年4月1日 (12:30～) (18:00～)
350名 (350名)	伝統工芸展 「ひなまつりロビーコンサート」 出演：森本ケンタ	平成30年3月3日 (12:00～)
420名 (420名)	「大植英次プロデュース「威風堂々クラシックin Hiroshima」 演奏：保屋野 美和、尾崎 有飛、甲斐 史郎、末岡 修一郎 大植英 次(ピアノ)	平成29年11月18日
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 http://www.hpam.jp/	常時
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参) 100名	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
(38名)	広島県立東城高等学校(1年生、3年生)	平成29年12月18日
(62名)	呉市立荘山田小学校(6年生)	平成30年2月5日
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00～)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在323種)	
日本伝統工芸展出張授業 237名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(11名)	三原市立鷺浦小学校 講師：田代 昭夫(漆芸)	平成30年2月5日
(59名)	広島市立段原小学校 講師：菅坂 安子(七宝)	2月19日
(167名)	広島市立春日野小学校 講師：金城 一国斎(漆芸)	3月7日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成29年6月1日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 816名 (団体ガイド) 254名	火～金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 121,257名	県民ギャラリー 利用団体数 97団体、利用日数 589延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成29年4月3日 ～平成30年4月2日
利用者 11,317名	講堂 利用団体数 80団体、利用日数 101日	平成29年4月3日 ～平成30年4月2日

V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成29年度に行なった業務を報告する。

内容は、1 美術館内での業務等(館主体事業)、2 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3 調査・研究活動、4 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

福田 浩子(学芸課長、工芸)	角田 新(主任学芸員、日本洋画)
藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)	宮本真希子(学芸員、工芸)
神内 有理(学芸員、日本画)	山下 寿水(学芸員、西洋美術)
隅川 明宏(学芸員、日本画)	森 万由子(学芸員、西洋美術)

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・春の所蔵作品展「バーナード・リーチの仕事」、「赤の工芸」(彫刻展示スペース、第4室担当)
- ・秋の所蔵作品展「インドの古更紗」(第4室担当)
- ・特別展「ブータン しあわせに生きるためのヒント」(展覧会全体の企画)(副担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習講座「美術館と学芸活動」(8/17)
- ・職場体験対応(広島市立古田中学校)(1/23)
- ・第64回日本伝統工芸展子ども鑑賞コース こどもワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう」(2/24)
- ・出張講座「ブータン～しあわせに生きるためのヒント展のみどころとブータンのティータイム」10月28日広島市船越公民館、11月12日広島市中央公民館、11月27日広島市東野公民館
- ・出張講座「文化体験 シルクロードのパラオを作って食べよう！」12月5日広島県立広島中央特別支援学校、3月17日広島市八幡公民館
- ・「ブータン展の魅力と見どころ」TSS文化大学(10/24)
- ・「遠くて近いブータンの魅力～ブータン展鑑賞のヒント」JFEスチール中国鋼管会(11/2)
- ・「ブータンの文化と展覧会の見どころ」広島西南ロータリークラブ(11/28)
- ・ブータン展団体来館対応11/11、12/15、12/21
- ・「美術館の歩き方」11/23広島保険医協会
- ・ブータン展美術講座「マクロとミクロでみるブータンの工芸」11/23
- ・美術作品鑑賞授業作品取扱補助(2/5呉市立荘山田小学校)
- ・第64回日本伝統工芸展「門田篁玉101歳 竹の仕事」(約10分、英訳字幕付)制作工程動画の編集作成・上映・SNS発信

【研修・自己啓発】

- ・管理職研修(4/24)
- ・評価者研修(8/29)
- ・モチベーションマネジメント研修(9/4)
- ・広島県美術館ネットワーク研修会(12/17)
- ・Filemaker iOS講習会(1/19)

【広報活動】

- ・2月28日 第64回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事③門田篁玉
 - ・3月4日 第64回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑤金城一国斎
 - ・3月5日 第64回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑥今田拓志
- 広島県立美術館メールマガジン

- ・ 10月6日No. 498 次回特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[1]ブータンはどこにある？
- ・ 10月12日No. 499 次回特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[2]ブータンの国語は何？
- ・ 10月20日No. 500 広島県立美術館メールマガジンNo. 500記念 皆さまへ、次回特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[3]ブータンの王さまは何代目？
- ・ 10月27日No. 501 次回特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[4]ブータン料理は世界一辛い？
- ・ 11月2日No. 502 特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[5]ブータンの飲みものといえば？
- ・ 11月9日No. 503 特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[6] 11月11日は第4代国王のお誕生日
- ・ 11月16日No. 504 特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[7]マニ車ってどうやって使う？
- ・ 11月24日No. 508 特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[8] 12月14日は第5代国王即位日！、[9] 12月17日はブータン建国記念日！
- ・ 12月20日No. 509 特別展ブータン しあわせに生きるためのヒント○ブータンにまつわるトピックス[10]よくある質問：どうやって行くの？

2 美術館外での業務等

【その他】

- ・ 交わるいと「あいだ」をひらく術として展 着物作品展示手伝い(12/20) 広島市現代美術館

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・ 染織作品調査(6/20、2/1)
- ・ 陶磁作品調査(4/20)
- ・ 木工作品調査(5/19、6/30)
- ・ 漆工作品調査(6/20)
- ・ 作家調査(5/18、8/4、12/6)
- ・ 中央アジア工芸調査(自費、9/15-23)

【館内出版物への執筆】

- ・ 『広島県立美術館コレクションガイド』(平成30年2月発行)の作家作品解説(草花蒔絵螺鈿書見台、重要文化財伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)、伊万里柿右衛門様式色絵馬、三代金城一国斎、植松抱民、六角紫水、浜田庄司、松田権六、門田篁玉作、八木一夫、鈴木治、今井政之、加守田章二、青銅銀象嵌大水盤、胡銅円筒形灯籠、中央アジアの刺繍布、ウズベク人の女性用外衣、トルクメン人テケ族の女性用被衣、トルクメン人テケ族の背飾り、トルクメン人北ヨムート族の花嫁用頭飾り、トルクメン人テケ族の護符入れ、藍地葉文更紗、紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗、生命の樹文更紗、影絵人形文経緯緋肩掛)
- ・ 『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド③インドの古更紗』編集・原稿執筆(平成29年9月発行)

【館外出版物への執筆】

- ・ 「ブータン展特集記事」『神戸新聞』6/26日付
- ・ 「受け継がれる芸術の本質とは」『文化功労者 今井政之の芸術と今井家三代展-受け継がれる情熱-』9/7発行
- ・ 「関連年表」、「関連地図」編集、『ブリューゲル展 画家一族150年の系譜』図録 2018/1/23発行

4 社会貢献活動等

【審査委員等】

- ・ 平成29年度県民文化奨励賞推薦(ケンシン地域振興財団)

- ・平成29年度環境啓発ポスター・標語コンクール審査委員(広島県環境保健協会)
- ・広島グリーンアリーナ☆イルミネーション写真コンテスト審査員(広島県教育事業団)

【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

■角田 新

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「レオナルド・ダヴィンチと「アンギアーリの戦い」展(主担当)
- ・特別展「英国 ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ」(副担当)
- ・遊べる浮世絵展(副担当)
- ・春の所蔵作品展(日本洋画担当：小林和作特集)
- ・夏の所蔵作品展(彫刻スペース担当：三沢厚彦 アニマル)
- ・秋の所蔵作品展(日本洋画担当)
- ・第6回新県美展(次年度・主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/17・12/2)
- ・所蔵作品展・ギャラリートーク(4/21)・博物館実習(美術館の展示環境・作品取扱い)(8/17・18)
- ・アンギアーリ展・団体向け作品解説(9/6NHK文化センター、9/10NHK文化センター、9/13山口県報道関係者、9/20島根県報道関係者、9/21聖教新聞読者会、9/21広島県政記者クラブ、9/23美鈴が丘公民館、10/13広島市退職婦人会)

【広報活動】

アンギアーリ展

- ・『経済春秋』(2017年7月号)
- ・毎日新聞『毎日美術館』9/13
- ・『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 80
- ・広島テレビ『テレビ派』生中継(9/4)
- ・エフエムふくやま「すてきにティータイム」『レディオBINGO 77.7MH』(9/5)
- ・エフエムはつかいち『昼はまるごと! 761』(9/19)
- ・エフエムおのみち「よっちゃんのちょっといい話」『You Gotta Radio』(10/3)
- ・『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 82
- ・『経済春秋』(2017年9月号)

所蔵作品展

- ・『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 79
- ・『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 81

2 美術館外での業務等

- ・アンギアーリ展・出張授業(8/19大塚公民館)
- ・「レオナルド・ダヴィンチが試みた視覚の革命」『ちゅーピーカレッジ』

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- 郷土作家・作品調査：南薫造・小林和作(5/11)

【館内出版物への執筆】

- 『広島県立美術館コレクションガイド』(日本洋画及び日本彫刻：作家・作品解説)

【館外出版物への執筆・発表】

- 「works」『美術ひろしま』(広島市域在住作家作品紹介)

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・ 環境ポスター審査員(4/7)
- ・ Aコープ児童画コンクール審査員(6/15)
- ・ 献血ポスター審査員(6/21)
- ・ 『美術ひろしま』編集委員(広島市文化財団)

■ 藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・ ひつじのショーン展(主担当)
- ・ 遊べる浮世絵展(主担当)
- ・ 所蔵作品展(統括)
- ・ 夏の所蔵作品展(日本洋画担当)
- ・ 冬の所蔵作品展(新収蔵品紹介担当)
- ・ パリジェヌ展(次年度・副担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/17・12/2)
- ・ ひつじのショーン展・団体向け作品解説(8/1下高自治振興区)
- ・ 博物館実習(ひつじのショーン展・夏の所蔵作品展・作品取扱い)(8/17・18)
- ・ 浮世絵展ギャラリートーク(1/12・1/19・1/26・2/2・2/9)
- ・ 浮世絵展・団体向け作品解説(1/29広島インターナショナルスクール、2/3広島YMCAチャイルドケアセンター)

【広報活動】

ひつじのショーン展

- ・ 『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 80
- ・ 『経済春秋』(2017年7月号)
- ・ エフエムふくやま「すてきにティータイム」『おはようときめきタイム』(6/26)
- ・ エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(7/19)
- ・ 広島ホームテレビ「あっちゃんのフライデー」『ぼるぼるLIVE』(8/4)
- ・ 広島エフエム放送『柏村武昭のだんRUNラジオ』(8/11)

遊べる浮世絵展

- ・ 『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) no. 82
- ・ 『経済春秋』(2018年1月号)
- ・ エフエムふくやま「すてきにティータイム」『おはようときめきタイム』(1/1)
- ・ エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(1/17)
- ・ 広島エフエム『SOLATO あした、どこ行く?』(1/19)
- ・ 広島ホームテレビ「あっちゃんのフライデーNO. 1」『ぼるぼるLIVE』(1/26)

所蔵作品展

- ・ (夏の所蔵作品展)『NHKニュース』(朝・昼・夕方放映)(7/12)

2 美術館外での業務等

「『遊べる浮世絵展』の見どころについて」スライドトーク(1/6 蔦屋書店)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

郷土作家・作品調査：南薫造・小林和作(5/11)

【館内出版物への執筆】

『広島県立美術館コレクションガイド』(日本洋画：作家・作品解説)

【館外出版物への執筆・発表】

「地域美術研究部会」(部会報告)『ZENBI』(全国美術館会議機関誌)13号

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・ 全国美術館会議 地域美術研究部会(5/26、11/30-12/1 部会出席)
- ・ 公益社団法人青少年育成広島県民会議・図画審査(10/9)

■宮本真希子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」(副担当)
- ・ 所蔵作品展4室「夏の所蔵作品展 サマーミュージアム 動物たちを探そう」(主担当)、「冬の所蔵作品展 小特集 六角紫水 広島から飛翔した漆工のパイオニア」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 「所蔵作品展」ギャラリートーク(小特集 六角紫水、2/2、参加約30名)
- 「第64回日本伝統工芸展」ギャラリートーク(2/24、参加約30名)

【研修・自己啓発】

- ・ せとうち美術館ネットワーク特別講演会(兵庫県立美術館、12/17)
- ・ 第32回全国美術館会議学芸員研修会(国立新美術館、3/19-20)

【広報活動】

- ・ 新聞・雑誌寄稿
- 「近現代芸術再発見6 六角紫水」『碧い風』VOL. 90(中国電力株式会社、7月)
- 「第64回日本伝統工芸展 作品解説 宇田勢津子《有線七宝蓋物「新涼」》」『朝日新聞』(2/28)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・ 生誕150周年記念 六角紫水展(江田島市、11/23~12/3)展示指導
- ・ 生誕150周年記念 六角紫水展開催記念講座(江田島市、11/23、参加約80名)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・ 高中惣六・隆二(漆芸家)に関する調査研究(遺族宅、所蔵者宅、三原市教育委員会、広島県立公文書館、東京藝術大学附属図書館、東京文化財研究所、宮内公文書館ほか)

【館内出版物への執筆】

- ・ 所蔵作品ミニガイド③「六角紫水 近代漆芸の風雲児」執筆・編集(1月)
- ・ 「研究レポート 高中惣六・隆二 父子〜「地方で活躍することを決意」した漆芸家」『広島県立美術館研究紀要 第21号』(広島県立美術館、3月)

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・ 日本漆工史学会
- ・ 全国美術館会議教育普及部会
- ・ 第38回伝統文化ポラ賞推薦

■神内 有理

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・ 特別展「復活 そして未来へーいのちを守るために私たちにできること」(主担当)
- ・ 特別展「ひつじのショーン展」(副担当)
- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」(主担当)
- ・ 所蔵作品展第1期「春の所蔵作品展 【小特集】小林和作 自然美の輝く風景画」(第3室主担当)
- ・ 所蔵作品展第3期「秋の所蔵作品展 【小特集】児玉希望 伝統と革新の日本画」(第3室主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」ギャラリートーク(2/24、3/3)
- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」謎解きワークショップ(2/23、2/24、3/4)
- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」こども鑑賞コース出張授業(アシスタント)
2/5三原市立鷺浦小学校
2/19広島市立段原小学校
3/7広島市立春日野小学校
- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展」こどもワークショップ(アシスタント)
2/24「ギャラリートークに挑戦しよう！」
- ・ 所蔵作品展ギャラリートーク(10/13)
- ・ 友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/19)
- ・ 「第1期(次年度)」(3/17)

【広報活動】

- ・ 第64回日本伝統工芸展
県内入選作品解説記事①奥富久枝(2/23、朝日新聞)
県内入選作品解説記事②平恵子(2/25、朝日新聞)
県内入選作品解説記事⑦木村芳郎(3/7、朝日新聞)
県内入選作品解説記事⑧栗根仁志(3/9、朝日新聞)
県内入選作品解説記事⑨山城直子(3/10、朝日新聞)
展覧会紹介『ビジネス朝日』平成30年2月号
「美術館あれこれ」『経済春秋』平成30年2月号
- ・ テレビ出演「Jステーション」(広島ホームテレビ)2/23
- ・ ラジオ出演「ひろしまコイらじ」(ラジオ第1/中国地方)2/21

2 美術館外での業務等

- ・ 京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師(博物館生涯学習概論担当)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・ 広島県内作家の調査：安達春汀(4/8・4/27)、児玉希望(11/2・10/18・10/19)、門田篁玉(12/6)、平恵子(11/22)、奥富久枝(11/28)

【館内出版物への執筆】

- ・ 『広島県立美術館コレクションガイド』(平成30年2月発行)の作家作品解説(竹内栖鳳、横山大観、菱田春草、丸木スマ、村上華岳、森谷南人子、金島桂華、速水御舟、甲斐庄楠音、福田恵一、児玉希望作品)
- ・ 『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド 児玉希望 伝統と革新の日本画』編集・原稿執筆(平成29年9月発行)

【館外出版物への執筆】

- ・ 「回覧雑誌『朱欒』の青春－大正期の「坂の上の雲」『朱欒』(愛媛新聞社、平成29年9月)
- ・ 「所蔵作品紹介：児玉希望」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第81号(平成29年10月発行)
- ・ 「日本の名画(横山大観《霊峰不二》解説)」『中国化薬社内報ふれあい』秋号No. 74
- ・ 「第63回日本伝統工芸展 広島会場 報告」『日本工芸会中国支部会報』第23号

■山下 寿水

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・ 特別展「英国 ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ」(主担当)
- ・ 特別展「第5回新県美展(第69回広島県美術展)」(主担当)
- ・ 特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展」(副担当)
- ・ 特別展「第6回広島県ジュニア美術展」(副担当)
- ・ 特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」(主担当、次年度開催)
- ・ 特別展「印象派への旅 海運王の夢 バレルコレクション」(主担当、次々年度開催)
- ・ 所蔵作品展1期・2期・3期・4期(西洋美術)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 予算要求、決算事務の調整に関すること
- ・ 美術図書の収集と整備に関すること
- ・ 美術館友の会の育成・支援に関すること
- ・ 「ターナーからモネへ」ギャラリートーク(一般向け)：4/7、4/28、5/12、5/26
- ・ 「ターナーからモネへ」ギャラリートーク(団体向け)：4/15、5/20、5/23、5/25、5/28
- ・ 「ターナーからモネへ」美術講座「光の表現-ターナーからモネへ」：5/20
- ・ 中国新聞文化センター講座「光と大気を描いた画家-ターナーからモネへ」：4/10
- ・ 「アンギアーリの戦い展」ギャラリートーク(団体向け)：9/9、9/20、9/26
- ・ 友の会ギャラリーガイドレクチャー：6/17、8/19、12/2
- ・ 所蔵作品展トーク「両大戦間における人間と動物」：7/21

【広報活動】

- ・ 「ターナーからモネへ」テレビ・ラジオ出演：4/13、4/26
- ・ 「ターナーからモネへ」寄稿(中国新聞)：4/26
- ・ 「ターナーからモネへ」寄稿(毎日新聞備後版)：4/27
- ・ 広島県立美術館メールマガジン執筆(「県美展」関連)：5/31

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・ 「岡部昌生 港千尋 わたしたちの過去に、未来はあるのか ヴェネチア・ビエンナーレからの10年」展(まいにちギャラリートーク岡部昌生×広島人)：11/17

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

新即物主義関連：9/14-15、11/13-14

全国美術館会議 第32回学芸員研修会：3/19-20、国立新美術館

【館内出版物への執筆】

- ・ 『広島県立美術館コレクションガイド』(広島県立美術館・広島県立美術館友の会、2017)「地域の誇りとなるコレクションを目指して」共同執筆、作品解説執筆
(アレクサンダー・カーノルト《静物》、エーリッヒ・ヘッケル《木彫りのある静物》、
ベン・シャーン《強制収容所》、パブロ・ピカソ《フランコの夢と嘘》、
パウル・クレー《ある音楽家のための楽譜》、フランシス・ピカビア《アンピトリテ》
イサム・ノグチ《追想》、バーバラ・ヘップワース《ネスティング・ストーンズ》)

【館外出版物への執筆】

- ・ 「広島芸術学会 芸術展示《制作と思考》第10回展「不在の存在論」(報告)」『広島芸術学会年報第30号 芸術研究2017』
- ・ 「ドイツのアートシーン」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』81号

- ・「作品紹介 ジュリオ・ゴンザレス」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』82号
- ・「ドイツ アート紀行」『中国新聞』〈緑地帯〉：12/13～16、19～22(8回連載)
- ・展覧会図録『ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ』(ホワイトインターナショナル、2017)章解説、作家解説執筆、作品解説翻訳
- ・展覧会図録『ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち』(NHK・NHKプロモーション、2017)年表翻訳、コラム「レギーナ・レラングー第二次世界大戦前後のファッション写真」執筆

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・ 広島芸術学会 委員

■ 隅川 明宏

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・ 特別展「ブータン しあわせに生きるためのヒント」(主担当)
- ・ 所蔵作品展「第2期」、「第4期」(日本画主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 特別展「ブータン」ギャラリートーク(11/3・10・17・24、12/1・8・15)
- ・ 〃 臨時ギャラリートーク(12/22)
- ・ 〃 団体解説(11/21、12/8・17・21)
- ・ 所蔵作品展「第2期」友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/17)
- ・ 〃 広島大学教育学部連携ワークショップ(8/13・20)
- ・ 〃 「第3期」団体解説(10/17)
- ・ 〃 「第4期」友の会ギャラリーガイドレクチャー(12/2)
- ・ 出張講座「美術作品鑑賞授業」(12/18県立東城高等学校、2/5呉市立荘山田小学校)
- ・ 〃 「名勝縮景園の歴史と美意識」(10/12)

【研修・自己啓発】

- ・ 文化庁文化財部美術学芸課公開承認施設担当者会議(7/25)
- ・ 〃 文化財防災・防犯対策研修会(7/26)
- ・ 日本博物館協会中国支部総会(5/31-6/1)
- ・ 〃 研修会「博物館と大学等教育・研究機関の連携」(11/9)
- ・ 広島県美術館ネットワーク研修会「フランスの美術館における先進的な教育普及について」(12/17)
- ・ 広島県環境県民局人権問題職場研修会「インターネットと人権—プライバシーの概念を中心に」(11/24)
- ・ 広島県自治総合研修センター中堅I研修(6/14-16)

【広報活動】

- ・ 特別展「ブータン」テレビ・ラジオ出演(10/23、11/7、11/10、11/24)
- ・ 〃 新聞・雑誌寄稿(『毎日新聞備後版』11/30付「毎日美術館」、『色絵馬』第81号、『月刊 経済春秋』11月号、『広島交響楽団定期演奏会プログラム』第374回)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・ 広島芸術学会総会シンポジウム「広島の地域性と美術」：「近世広島画壇と浅野家」担当(7/16)
- ・ 広島県教育センター専門研修講座・図画工作科、美術科、芸術科(美術)「行ってみよう！やってみよう！美術館連携」講座：「美術作品鑑賞の視点と方法」担当(12/8)
- ・ 広島大学教育学研究科・教育学部「学習方法開発特講」「図画工作科学習指導論」：「美術館と学校教育との連携」担当(2/7)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・ 広島の近世・近代美術に関する調査研究
- ・ 広島藩主浅野家伝来の美術品に関する調査研究

【館内出版物への執筆】

- ・ 作品紹介「広島県立美術館所蔵『諸家書画帖』についての覚書」『広島県立美術館研究紀要』第21号(平成30年3月)
- ・ 作品解説『広島県立美術館コレクションガイド』(平成30年2月)

【館外出版物への執筆】

- ・ 作品紹介「広島に息づく近世の名品 第16回 宋紫石《柳下白鷄図》- 鷄に秘められた寓意を求めて -」『Grandeひろしま』第19号(平成29年12月)
- ・ 作品解説「和高節二《秋日和》」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第80号(平成29年7月)

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・ 文化史学会、広島芸術学会

■ 森 万由子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・ 特別展「第6回広島県ジュニア美術展」(副担当)
- ・ 特別展「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展」(副担当)
- ・ 特別展「第64回日本伝統工芸展広島展」(副担当)
- ・ 特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」(次年度・主担当)
- ・ 所蔵作品展「春の所蔵作品展 光と影の時代-1920~30年代の美術」(次年度・西洋美術担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 美術作品鑑賞授業(12/18県立東城高等学校、2/5呉市立荘山田小学校)

【研修・自己啓発】

- ・ 平成29年度広島県美術館ネットワーク研修会(12/17、ひろしま美術館)
- ・ 全国美術館会議 第32回学芸員研修会「社会状況の多様化に美術館はどう向き合うか」(3/19-20、国立新美術館)

【広報活動】

- 特別展「アンギアーリの戦い展」
- ・ 広島テレビ「街かど伝言板」『テレビ派』(9/5)
- 特別展「遊べる浮世絵展」
- ・ テレビ新広島『ひろしま満点ママ!!』(1/23)
- ・ 広島テレビ「街かど伝言板」『テレビ派』(1/30)

2 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

- ・ 『広島県立美術館コレクションガイド』(作家生没年表の作成)

【館外出版物への執筆・発表】

- ・ 「モーリス・ドニ作《バッカス祭》にみる家族の肖像とキリスト教主題」『WASEDA RILAS JOURNAL』No. 5 (2017年10月)
- ・ 展覧会図録『サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法』(練馬区立美術館・宇都宮美術館・三重県立美術館・兵庫県立美術館・広島県立美術館、2018年)見出し解説

3 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・ 美学会

Ⅵ 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		英国 ウェールズ 国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	第5回新県美展 (第69回広島美術展)	ひつじの ショー展	レオナルド・ダ・ ヴィンチと「アンギ アーリの戦い」展	ブータン しあわせに生き るためのヒント	
開催期日	H29. 4. 1 ～ H30. 3. 31	H29. 4. 1 ～ H29. 5. 28	H29. 6. 24 ～ H29. 7. 9	H29. 7. 15 ～ H29. 8. 27	H29. 9. 5 ～ H29. 10. 22	H29. 11. 2 ～ H29. 12. 24	
開催日数	335 日	58 日	16 日	44 日	48 日	53 日	
個人	一 般	1,842	6,936	2,814	13,276	9,033	6,415
	高・大学生	158	312	93	1,335	418	169
	小・中学生	—	249	93	5,221	540	236
	小 計	2,000	7,497	3,000	19,832	9,991	6,820
団体	一 般	3,936	12,730	737	18,024	69,787	7,240
	高・大学生	562	310	6	1,338	1,516	113
	小・中学生	—	267	17	6,594	3,506	124
	小 計	4,498	13,307	760	25,956	74,809	7,477
有料入館者数	6,498	20,804	3,760	45,788	84,800	14,297	
招待者等	78,456	4,631	2,408	14,152	6,363	3,692	
合計 (観覧者総数)	84,954	25,435	6,168	59,940	91,163	17,989	
一日あたり 観覧者数	254	439	386	1,362	1,899	339	

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第5回新県美展(第69回広島美術展)」、「第6回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「第64回日本伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名	特 別 展				合 計	総 計
	第6回広島県 ジュニア美術展	くもんのこども 浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	第64回日本伝統 工芸展			
開 催 期 日	H29. 12. 16 ～ H29. 12. 24	H30. 1. 5 ～ H30. 2. 12	H30. 2. 23 ～ H30. 3. 11			
開 催 日 数	9 日	39 日	17 日	284 日	619 日	
個 人	一 般	—	3,052	3,079	44,605	46,447
	高・大学生	—	146	147	2,620	2,778
	小・中学生	—	257	—	6,596	6,596
	小 計	0	3,455	3,226	53,821	55,821
団 体	一 般	—	5,428	2,852	116,798	120,734
	高・大学生	—	114	110	3,507	4,069
	小・中学生	—	381	—	10,889	10,889
	小 計	0	5,923	2,962	131,194	135,692
有料入館者数	0	9,378	6,188	185,015	191,513	
招 待 者 等	5,144	3,431	1,967	41,788	120,244	
合 計 (観 覧 者 総 数)	5,144	12,809	8,155	226,803	311,757	
一 日 あ た り 観 覧 者 数	572	328	480	799	504	

Ⅶ 美術品等収集状況

1 分野別収集美術品数一覧

(平成30年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	235 (3)	3	344 (3)	12
	油 彩 画	230	62	292	526 (8)	4	822 (8)	211 (2-0)
	水 彩 画	89	4	93	217	0	310	1
	素 描	44	20	64	294 (3)	0	358 (3)	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	332 (1)	0	565 (1)	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	70	0	101	6	
工 芸	112	1,184	1,296	307 (1)	4	1,607 (1)	5	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	669	0	673	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,802 (16)	12	5,024 (16)	257 (2-0)	

※()内は29年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

2 収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	油彩画	小林 和作	石廊崎		80.9×100.5	油彩・画布	寄附
2	油彩画	小林 和作	秋山	1959(昭和34)頃	60.5×73.0	油彩・画布	寄附
3	油彩画	小林 和作	安房峠		24.2×41.0	油彩・画布	寄附
4	油彩画	南 薫造	瀬戸内風景2	1940年代後半	49.8×60.5	油彩・画布	寄附
5	油彩画	殿敷 侃	川岸	1965(昭和40)	35.5×52.0	油彩・合板	寄附
6	油彩画	殿敷 侃	足	1966(昭和41)	34.0×24.2	油彩・画布	寄附
7	油彩画	殿敷 侃	自画像	1975(昭和50)頃	41.0×31.8	油彩・画布	寄附
8	版画	殿敷 侃	ケロイド(2)	1981(昭和56)	214.5×187.5	シルクスクリーン・画布	寄附
9	素描	殿敷 侃	線の集積	1983(昭和58)頃	109.0×78.5	ボールペン・紙	寄附
10	素描	殿敷 侃	点の集積	1983(昭和58)頃	109.0×79.0	フェルトペン・紙	寄附
11	素描	殿敷 侃	線の集積(大)	1984(昭和59)	138.0×102.0	鉛筆・紙	寄附
12	油彩画	名井 萬亀	破滅	1952(昭和27)	65.0×90.5	油彩・画布	寄附
13	日本画	村上 華岳	秋草之図	1927(昭和2)頃	37.6×42.5	絹本墨画彩色	寄附
14	日本画	橋本 関雪	緋桃白鷺図	1925(大正14)頃	60.9×86.0	絹本彩色	寄附
15	日本画	橋本 関雪	雨後新月図	1939(昭和14)頃	86.9×101.1	絹本墨画淡彩	寄附
16	漆工	五代金城一國齋	高盛絵鉄線花に蜂画香筒	1983(昭和58)	長34.0 径2.5	竹・漆・高盛絵(堆彩漆)	寄附
17	油彩画	若山 為三	塔のある風景	1924(大正13)	24.0×30.6	油彩・紙	受託
18	油彩画	若山 為三	丘の風景	1924(大正13)	26.0×32.1	油彩・紙	受託

3 新規収集美術品より

(1) 小林和作《石廊崎》、《秋山》、《安房峠》

小林和作(明治21年－昭和49年 1888－1974)は、山口県吉敷郡秋穂町出身。日本人の愛する風景、あるいは花鳥風月を油彩画で表現すること、日本の心を西洋の技術で表現することに情熱を傾けた作家といわれている。その背景には、京都絵画専門学校(現京都市立芸術大学)で日本画を学び、在学中から日本美術院展で賞を獲るほどの実力を持ちながら洋画に転向した和作の、表現に対する方向性が表れていると言えるかもしれない。



No. 3 《安房峠》

彼は、美は創り出すものではなく、最初から自然の中に存在していて、それを見つけ出すのが画家の仕事だ、といった意味のことを繰り返し語っており、実際写生を重視し、四季折々のスケッチ旅行を欠かさなかった。こうしたことも彼の作風の大きな特徴となっている。さらに、当館の開設時にあたってはコレクション充実等にも協力し、広島県立美術館の方向付けにも大きく貢献するなど、地域文化発展の牽引役としても大きな足跡を残している。また、作家でありながら海外留学を夢見る画家に費用を与えるなど、パトロンとしての側面もあり、広島の、特に尾道を中心とした県東部の文化を語る上では外すことのできない人物である。

《石廊崎》は、昭和34年春のスケッチ旅行での成果をもとに制作されたものと考えられる。この年は伊豆、房州、信越地方とスケッチに飛び回ったことが知られている。

《秋山》は、特徴的な山の構成などから当館所蔵の素描《安房峠2》と同一地を描いたものと思われるが秋山の背面には昭和35年開催の「第2回広島県在住代表美術家展」のラベルが貼付されていることから、それ以前の制作であると考えられ、石廊崎を描いたのと同じ昭和34年のスケッチによる可能性も少なくない。3点ともに和作らしさが見てとれる佳品である。

(2) 南 薫造《瀬戸内風景2》

南 薫造(明治16年－昭和25年 1883－1950)は、広島県呉市安浦町出身。東京美術学校を卒業後、イギリスやフランスに留学。帰国後は、滞欧作を発表した有島壬生馬(生馬)との二人展や文展で好評を博した後、温かな画風で郷里の風景を描いた作品で文展での受賞を重ね、若くして画壇での地位を築いた。官展や光風会展のほか、第1回展から日本水彩画展にも作品を発表するなど、水彩画家としても活躍。風景画を得意とし、日本の印象派を代表する画家の一人として知られている。



No. 4 《瀬戸内風景2》

1944年に東京から郷里に疎開した作者は、没するまでの5年余りを生家で過ごした。晩年は瀬戸内の海景や農村風景をよく描いたが、生涯好んだ画題でありながら戦時には描くことの出来なかった海辺の風景にとくに秀作が多い。本作では、柑橘類の樹木が並ぶ段々畑や島々の連なる瀬戸内らしい情景を、画風の特徴である温かな色彩と伸びやかなタッチを用いて、広がりのある海辺の風景として描き出している。

(3) 殿敷 侃の絵画作品《川岸》など7点

殿敷 侃(昭和17年－平成4年 1942－1992)は広島市大手町に生まれ、3歳の時、原爆で父を失った。その父を探して爆心地近くに入市した母親の背に負われていた殿敷もまた入市被曝した。約30年の活動期間中に彼の作風が目まぐるしく変化した背景として、当初は原爆症による健康状態の変化が大きく影響したと考えられるが、やがてさまざまな作家の影響を受け、独自の表現へと咀嚼する中で、一人の生活者として、新しい視点を提示するタイプの作品を手掛けるようになった。その創作活動の中では原爆や、原爆で亡くした父母をテーマに選んだ作品も多く、広島にとって重要な作家となっている。



No. 5《川岸》

《川岸》は戦後の広島でよく見られたバラックを描いたもの。被爆後の広島にとって、「復興から取り残されたものの象徴」ともいえる風景は、自分自身も「取り残されたもの」であるという想いを持ち、自らを「原爆孤児」と語っていた殿敷は、こうした風景を「自画像」だと語っている。画業初期の殿敷は、この《川岸》や《足》のように、自らを絵の中に埋め込むかのように重ねられた分厚いマチエールを特徴とした。その後もさまざまな作家や表現にふれながら、ほぼ独学で絵の勉強を続けた。1972年には山口県長門市に移住。《自画像》はこの頃の作品と考えられる。その間にもポップアート調の表現や細密な点描画など作風は変化を続けたが、テーマは一貫して原爆による死を追っていた。長門を足場に活動を続けるうち徐々に絵画以外へも活動の幅が広がり、1981年には構成劇に出演。数年前から版画を始めていた殿敷はこの劇の背景に火傷を負った被爆者の背中を描いた《ケロイド》を連貼りにした。《ケロイド》も同じ作品の12枚バージョンである。こうした作品からも既に集積や反復といった要素を見出すことはできるが、その後彼は、集積や反復によって作品を形作るという表現にたどり着く。すなわちボールペンや鉛筆を使って無数の線や点を描き画面を塗りつぶすのである。こうした時期の作品が《線の集積》や《点の集積》などにあたる。



No. 7《自画像》

(4) 名井萬亀《破滅》

名井萬亀(明治29年－昭和51年 1896－1976)は、広島市大須賀町に生まれ、独学で絵を学び昭和初期に渡仏。従来の画風を捨て個性のある画風の創作に努力した。帰国後の1936(昭和11)年、東京・上野にあった日本美術協会陳列館で開催した、独創的な作品約300点による展覧会は「日本美術界に新風を吹き込んだ」と報じられ、後々まで語り継がれる伝説となった。戦後、原爆と向きあう中で転機を迎え、読売アンデパンダン展等を舞台に活躍。ビキニでの水爆実験など人類の存続に対する危機感に根ざす作品を多数制作し、旺盛な発表活動を行った。晩年



No. 12《破滅》

は作品の発表が少なくなり美術界から忘れ去られた存在となったが、止まることなく変化し続けた名井独自の表現活動は多くの作家に影響を与えており、高く評価できるものである。

抽象傾向の強い半具象作品を多く描いた戦後の名井の活動の中で、本作品は、知られている唯一の写生的作品である。遺族によると、もともとは神社に奉納する絵馬として描いたが「街が復興しようという時に破滅とは何だ」と、突き返されたため、広島親族のもとにとどめられたものという。

ビキニでの水爆実験以降、核問題に関する作品を数多く発表したことから「原爆画家」とまで言われたという名井だが、意外なことに広島原爆をテーマに描いた作品は数えるほどしか残していない。

フランス留学中「今までの自分は捨てる」と、アカデミックな考え方や技法を一切捨てて以来、独自の表現を貫いてきた名井だけに、あえて本作を写實的に描いたことから、被爆直後に爆心地近くで被爆者の救助を行った経験を持つ名井ならではの強い思い入れがあったことを感じさせる。

(5) 村上華岳《秋草之図》

村上華岳(明治21年-昭和14年 1888-1939)は、大阪生まれ、1918(大正7)年に京都市立絵画専門学校同期であった土田麦僊、小野竹喬らと国画創作協会を結成、新様式の日本画を描いて活躍。官能性と崇高さが融合した仏画で独自の世界を確立した。1921(大正10)年ごろからは持病の喘息のため画壇から遠ざかったが、晩年は山水画に精神性の高い作品を残した。

本作品は、茅のような細長い葉の茂みを背景に野菊や撫子が淡墨で描かれている。色彩は抑えられているものの、琳派を思わせる主題と装飾的な構図が優美な作品となっている。落款印章から、昭和2年に京都から神戸花隈の養家に戻った時期のものと思われる。仏画や山水画で知られる華岳だが、水墨で描いた花の作品も折々に手がけており、画業において意義深い作品であるといえる。入江波光箱書。



No. 13 《秋草之図》

(6) 橋本関雪《緋桃白鷺図》、《雨後新月図》

橋本関雪(明治16年-昭和20年 1883-1945)は、兵庫県神戸市生まれ、大正・昭和期に文展・帝展を中心に活躍した日本画家。儒学者を父に持ち幼い頃から漢籍に親しんだ関雪は、四条派の写實的な画法を修める一方、中国古典への深い造詣を生かした南画で才能を発揮。また、鋭い観察眼によって描かれた動物画により、独自の画業を切り開いた。



No. 14 《緋桃白鷺図》



No. 15 《雨後新月図》

《緋桃白鷺図》は、満開を迎えた桃の樹下、水辺に佇む一羽の白い鷺鳥が描かれている。付け立による桜花の表現の大きさに対し、鷺鳥の眼の迫真性が印象的である。背景の岸辺を薄墨で塗り残して鷺鳥の尾が表現され、全体に透明感ある印象に仕上がっている。「関雪自撰三十題展」(1925年)出品作。

《雨後新月図》は、月を背景に松の木にとまる一羽のミミズクが描かれる。目を見開き、羽角を立て、警戒するかのような姿に臨場感がみなぎる。松の上に動物を配したモチーフは、関雪の代表作である《玄猿》(1933年／東京藝術大学蔵)など、1930年代以降の関雪の動物画にはしばしばみられる。

(7) 五代金城一国斎《高盛絵鉄線花に蜂画香筒》

五代金城一国斎(明治39年－平成3年 1906－1991)は、広島で高盛絵の全盛期を作り出した三代一国斎木下兼太郎の三男である四代一国斎池田亀吉の三男で、本名 池田勝人、号 自勝である。

1906(明治39)年に生まれ、広島県立広島工業学校建築科塗工分科卒業後、上京して赤塚自得門下に入り金蒔絵を習得した。1930(昭和5)年に帰広し、父亀吉(四代)に高盛絵を学んだ。1935(昭和10)年、商工省第22回工芸展覧会で褒状を受けている。1954(昭和29)年には四代とともに広島県無形文化財に認定され、1961(昭和36)年に父の四代が没して五代一国斎を襲名した。1979(昭和54)広島市文化功労者表彰、1980(昭和55)広島県文化功労者表彰、1983(昭和58)広島文化賞。1991(平成3)年没、享年85歳。

本作品は、曇竹に拭漆を施し、鉄線の花と蜂を高盛絵で装飾した香筒。蓋は朱漆塗り。「金城一国斎作」の朱漆銘。喜寿の制作である。

箱書「高盛絵鉄線花に蜂画香筒」「金城一国斎 自勝作(角印)廣陵 金城一国斎 喜寿」



No. 16 《高盛絵鉄線花に蜂画香筒》

Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
木竹工	山根 寛斎	玉椿空彩箱	岡山県立美術館 日本工芸会中国支部	日本工芸会中国支部創立 60周年記念「60年のあゆ み展」	29.05.24～06.25 (岡山県立美術館)
油彩画	丸木 スマ	ふるさと	一宮市三岸節子記念 美術館 原爆の図丸木美術館	丸木スマ展	29.07.01～08.13 (一宮市三岸節子記念美術館)
日本画	丸木 スマ	小鳥の滝			29.09.09～11.18 (原爆の図丸木美術館)
	丸木 スマ	蝶			※《小鳥の滝》、《蝶》、《巢》の 展示は、一宮市会場のみ
版 画	ワリアー・カディンスキー	小さな世界 I	ふくやま美術館	抽象アートと性格判断	29.06.28～09.10 (ふくやま美術館)
	ワリアー・カディンスキー	小さな世界 IV			
漆 芸	六角 紫水	銀嵌刀筆顶部奏楽の図 飾箱	江田島市教育委員会 大柿地区歴史資料館 (江田島市)	江田島市ふるさと再発見 事業 生誕150周年記念 「六角紫水展」	29.11.23～12.3 (大柿地区歴史資料館)
	六角 紫水	理想界の図蒔絵手箱			
	六角 紫水	海辺と湖辺の図小衝立			
	六角 紫水	日支戦況の図額面			
	六角 紫水	国宝當麻寺蔵 俱利伽羅 龍蒔絵経箱(模写)			
	六角 紫水	国宝巖島神社蔵 松喰鶴 蒔絵小唐櫃(模写)			
	六角 紫水	梅蒔絵手箱付属小箱			
	六角 紫水	線のすさび忍冬図香盆			
	六角 紫水	線のすさび麒麟文香盆			
	六角 紫水	螺鈿宝石小箱			
	六角 紫水	蒔絵草花図菓子銘々盆			
六角 紫水	末金鏤蓬菜硯管				
日本画	頼 山陽	寒林訪友図	頼山陽史跡資料館	頼山陽と酒～一杯一杯復 一杯～	29.10.13～11.26 (頼山陽史跡資料館)
パステ ル画	矢崎千代二	裸婦	目黒区美術館	日本パステル画事始め展	29.10.14～11.26 (目黒区美術館)
	小林 千古	パリ郊外			
	小林 千古	装飾画下絵			
素描	小林 千古	婦人像上半身			
	小林 千古	婦人像(横)			
陶磁	加守田章二	曲線彫文扁壺	備 前 市 立 備 前 焼 ミュージアム	加守田章二展	30.01.11～03.11 (備前市立備前焼ミュージアム)
	加守田章二	彩色壺			
	加守田章二	彩色筒			
ガラス	益田 芳徳	孤	富山市ガラス美術館	とめどないエネルギー ガラスをめぐる探求と表 現	29.11.23～30.02.04 (富山市ガラス美術館)
	益田 芳徳	風発A			
	益田 芳徳	記憶 I			
日本画	宋 紫石	柳下白鷄図	府中市美術館	リアル 最大の奇抜展	30.04.10～05.06 (府中市美術館)
	岡 岷山	仏法僧図			
	岸 竹堂	月下狸図			

Ⅸ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成28年10月12日

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

(業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 美術館の入館料の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

(利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

(展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

(入館料の納付等)

第11条 美術館の展示する美術品等を観覧する者は、別表第一に定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

(利用料金の納付等)

第12条 展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

(入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
 - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
 - (3) 療育手帳の交付を受けている者
 - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
 - (5) 六十五歳以上の者
 - (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
 - (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
 - (8) 祝日法第二条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
 - (9) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)と併せて観覧する者
 - (10) その他知事が別に定める者
- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、特別展に係る入館料を減免することができる。
- (1) 祝日法第二条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (2) 祝日法第二条に規定する文化の日に入館する者
 - (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成十三年広島県条例第四十号)第三条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (4) その他知事が別に定める者

(利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前条第一項第一号から第四号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
- (5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

(6) その他教育委員会が別に定める場合

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。
- (2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

(利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

- (1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。
- (2) 第九条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
- (4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

(遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- (3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。
- (6) 指定管理者の指示に従うこと。
- (7) その他教育委員会が定める事項

(禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他危険物等の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

(原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

(損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事とその徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

- 3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。
- 4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。
(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年10月12日条例第47号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

1 所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回310円	1人1回250円	1人1回250円
その他15歳以上の者 (中学校又は高等学校の生徒 及びこれに準ずる者を除く。)	1人1回510円	1人1回410円	1人1回410円

2 特別展の場合

1人1回 2,090円以内で知事が定める額

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
		1時間につき	1,750円以内	2,990円以内	2,990円以内	2,990円以内	3,190円以内
入場料有料の場合	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
入場料無料の場合	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
	電気設備を利用する場合	実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- 1 この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 2 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 3 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 4 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3(第12条関係)

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	410円以内 210円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員規則第1号

最終改正 平成29年3月23日教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認

める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号又は同条第二項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第十四条第一項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第一項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第二項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成二九年三月二三日教育委員会規則第一号)抄

(施行期日)

1 この教育委員会規則は、平成二十九年四月一日から施行する。

(広島県美術展開催運営規則の廃止)

2 広島県美術展開催運営規則(昭和五十二年広島県教育委員会規則第二号)は、廃止する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員

- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会の会議を総理する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
 - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
 - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
 - (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
 - (1) 絵画作品
 - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品

- 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
- 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
- (2) 工芸作品
 - 1) 東洋の伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式の作品
 - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
 - 3) 近代工芸確立期（1920年代）及び戦後昂揚期（1960年代）の作品
 - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品

1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品

 - 1) 欧米作家等の作品
 - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
 - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
 - (2) “手で見る彫刻”作品
 - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など

近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など

わが国とアジア各国の優れた工芸作品(陶磁、染色、漆芸など)を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など

現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

(管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

(寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

(寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

(一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

(返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

(受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

(寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

(寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めるときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

(寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

(貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

(借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

(貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

(報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

(補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

(設置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関する事
- (2) 美術館の事業計画の評価に関する事
- (3) 美術館の事業実績の評価に関する事
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関する事

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

X 名 簿

美術品等収集評価委員会

委員長	白石和己	前山梨県立美術館長
委員	井関和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	島田康寛	前神戸市立小磯記念美術館長
〃	菅村亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中林和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館副館長
〃	谷新	前宇都宮美術館長
〃	山梨俊夫	国立国際美術館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑豊	兵庫県立美術館長
委員	大小田博之	(一社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術家・就実短期大学教授
〃	竹内泰彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島相談役
〃	水沢勉	神奈川県立近代美術館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

職員

館長	千足伸行
副館長	山本泰之
プロジェクトマネージャー	前田恭正
総括企画監	横手克尚
総務課長	廣山浩一郎
主幹	高浦雅史
事業調整員	三浦緑
事業調整員	楯原聡子
学芸課長	福田浩子
主任学芸員	角田新
〃	藤崎綾
学芸員	神内有理
〃	山下寿水
〃	隅川明宏
〃	森万由子
学芸員(エリダースタッフ)	宮本真希子

平成29年度

広島県立美術館年報

平成30年12月21日発行

発行者 **広島県立美術館**
〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
電話 (082) 221-6246

印刷所 株式会社 タカトープリントメディア
〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30
電話 (082) 244-1110

(人名については、敬称略)